

1421

14. 21-717



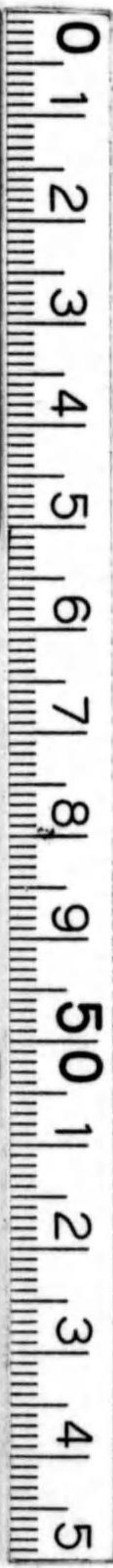
1200501163267

事改良資料 第八九

昭和九年三月

主要食糧農產物改良増殖獎勵事業要覽

農林省農務局



始



主要食糧農産物改良増殖奨励事業要覽正誤表

頁	行	欄	誤	正
八〇	上ヨリ四行	右ヨリ二欄	佐賀。	佐賀。
九五	上ヨリ五行	左ヨリ一欄	改良實行組合。	改良實行組
一〇四	下ヨリ三欄	野口・與太郎	一、二〇〇円	二、二〇〇円
一三七	上ヨリ三欄	野田・與太郎	野田・與太郎	野田・與太郎
一四〇	上ヨリ二行	右ヨリ一欄	琴似園藝地試験場。	琴似園藝地試験地。

目次

發行所寄贈本

第一 主要食糧農産物改良増殖奨励事業ノ概要……………二

第二 主要食糧農産物ノ新品種育成等ニ關スル事業……………二

一 農林省指定試験事業……………三

(一) 水稻新品種育成試験事業……………三

(二) 陸稻地方的試験事業……………一五

(三) 甘藷新品種育成試験事業……………二

(四) 雜穀、馬鈴薯改良増殖試験事業……………三

(五) 其ノ他ノ試験事業……………四〇

道府縣ニ於ケル試験事業……………四三

第三 主要食糧農産物ノ原種圃ニ關スル事業……………四三

一 農林省ニ於ケル奨励事業……………四六

原種圃設置ニ對スル奨励金ノ交付……………四六

道府縣ニ於ケル事業……………五〇

(一) 奨励金ノ交付ヲ受ケタル道府縣ノ原種圃設置豫算額……………五〇



(二) 獎勵品種普及計畫	五三
(三) 原種圃ノ面積及其ノ生産種苗配付數量	五六
(四) 獎勵品種名	七二

第四 主要食糧農產物ノ採種圃ニ關スル事業

一 農林省ニ於ケル獎勵事業	八〇
採種圃指導監督技術員設置ニ對スル獎勵金ノ交付	八一
二 道府縣ニ於ケル事業	八三
(一) 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル道府縣ノ採種圃指導監督技術員設置豫算額	八三
(二) 採種圃指導監督技術員設置狀況	八五
(三) 採種圃ノ經營狀況	八七

第五 主要食糧農產物改良増殖獎勵事務專任技術設置ニ關スル事業

一 農林省ニ於ケル獎勵事業	一〇一
專任技術員設置ニ對スル獎勵金ノ交付	一〇一
二 道府縣ニ於ケル事業	一〇三
(一) 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル道府縣ノ專任技術員設置豫算額	一〇四

(二) 專任技術員設置狀況

第六 主要食糧農產物改良増殖獎勵事業關係規程

一 主要食糧農產物改良増殖獎勵規則	一〇八
二 主要食糧農產物改良増殖獎勵規則施行ニ關スル件	一一〇
三 主要食糧農產物改良増殖獎勵事業計畫並ニ事業成績記載様式ニ關スル件	一一六
四 農事關係獎勵金交付取扱方ニ關スル件	一二〇
五 指定試験並ニ委託試験施行ニ關スル件	一二一
六 水稻及陸稻育成種配付ニ關スル件	一二九

第七 道府縣ニ於ケル主要食糧農產物改良増殖獎勵事業關係技術員ノ官職氏名

附 錄	一三四
一 本省、北海道及府縣立農事試驗場等ノ所在地	一三九
二 北海道及府縣立農事試驗場經費豫算額	折込

177 247
177 247
第一 主要食糧農產物改良増殖獎勵事業要覽

第一 主要食糧農產物改良増殖獎勵事業ノ概要

主要食糧農產物ノ改良増殖ヲ圖ル爲本省ニ於テハ大正五年度ヨリ米麥品種改良獎勵規則ヲ公布シ、約八萬圓ノ經費ヲ計上シテ道府縣ニ獎勵金ヲ交付シ、米麥原種圃ノ經營並ニ採種圃指導監督技術員ノ設置ヲ獎勵シツ、アリシガ其ノ後年ト共ニ本事業ノ重要性ヲ高メ來レルヲ以テ、大正八年度更ニ經費ヲ約二十一萬圓ニ増額シ、新ニ主要食糧農產物改良増殖獎勵規則ヲ公布シテ道府縣ニ於ケル米麥品種改良事業ノ規模ノ擴張ヲ獎勵スルト共ニ新ニ雜穀、甘藷、馬鈴薯原種圃ノ設置（昭和六年度限廢止）、米麥等ノ立毛共進會ノ開催（大正十三年度限廢止）、主要食糧農產物改良増殖獎勵事務擔當專任技術員ノ設置並ニ郡市町村農業技術員ノ養成（昭和五年度限廢止）等ヲ獎勵シ又本省ニ專任ノ職員ヲ設置シテ改良増殖獎勵ニ關スル諸般ノ事務ヲ行ヒ以テ主要食糧農產物ノ改良増殖ニ努メ來レリ。

而シテ一面、主要食糧農產物ノ改良増殖上之ガ根本ヲ爲ス優良品種ノ育成ハ其ノ必要極メテ大ナルモノアルニ鑑ミ、大正八年度ヨリ數度ニ亘リ本省及國立農事試驗場ニ於ケル之ガ事業ノ擴張ヲ行ヒ併テ雜穀、甘藷、馬鈴薯、小麥、水稻、陸稻ニ付夫々數道縣ヲ指定シ、試驗ニ要スル經費ノ全額ヲ交付シテ主トシテ人工交配ノ方法ニ依リ優良新品種ノ育成ヲ行ハシメツ、アリ。

以下其ノ各々ノ事業ニ付之ガ實施ノ概要ヲ記述セムトス。

二

第二 主要食糧農作物ノ新品種育成等ニ關スル事業

主要食糧農作物ノ新品種育成ハ古クヨリ篤農家其ノ他ニ依リ行ハレ來リシ處ナルガ、明治二十六年本省農事試驗場創立セラレ續イテ地方農事試驗場ノ設立セラル、モノ逐年多キヲ加フルニ及ビ、育種事業ハ漸次此種機關ニ依リ組織的ニ施行セラル、ニ至レリ。

當時ハ主トシテ在來品種ノ比較ニ依リテ優良品種ノ選定ヲ爲スニ止マリタリシガ、國立農事試驗場ニ於テハ明治三十六年頃ヨリ人工交配ニ依ル新品種育成ニ着手シ、更ニ明治四十三年頃ヨリ純系淘汰ニ依ル品種改良ヲ創始シ、之等ノ進歩セル品種改良法ハ其ノ成績極メテ顯著ニシテ各種作物ニ適應セラルベキコトノ一般ニ認識セラル、ニ及ビ、地方農事試驗場ニ於テモ之ヲ行フモノ漸次多キヲ加ヘタリ。

斯クテ大正五年本省ハ新ニ豫算ヲ計上シ、本省農事試驗場ニ於ケル米麥品種改良事業ヲ擴充スルト共ニ獎勵規則ヲ公布シテ道府縣ノ品種改良事業並ニ原種圃及採種圃事業ヲ助成シ、更ニ大正八年豫算ヲ増額シテ上記ノ施設ヲ擴張スルト共ニ新ニ雜穀、甘藷、馬鈴薯ニ對シテモ之ヲ及ボスニ至レリ。

然レ共時世ノ進運ハ此ノ方面ニ更ニ一段ノ革新ヲ要求スルニ至リタルヲ以テ、本省ハ新ニ豫算ヲ計上シテ昭和元年度小麥地方的試驗及甘藷新品種育成試驗ヲ、翌二年度水稻新品種育成試驗ヲ、

同四年度陸稻地方的試驗ヲ創始シ孰レモ數道縣ヲ指定シ當該農事試驗場ヲシテ後述ノ如キ組織ノ下ニ主トシテ人工交配ノ方法ニ依ル新品種育成試驗ヲ施行セシムルコト、セリ。

之等ノ事業中小麥地方的試驗ハ昭和七年度ヨリ更ニ之ガ規模ヲ擴充シ小麥増殖獎勵事業ノ一部ニ屬セシメテ繼續實施シ居リ其ノ成績見ルベキモノアリ、其ノ他水稻、陸稻ニ關スル試驗ニ在リテ

モ創始後日尙淺キニ不拘別記ノ如ク着々之ガ實績ヲ擧ゲツ、アリ。

尙本省ニ於テハ上記指定試驗以外ニ別途補助金ヲ交付シテ必要ニ應ジ小規模ナル新品種ノ育成試驗及栽培法改善ニ關スル試驗等ヲ行ハシメツ、アリ。

左ニ之等試驗事業ニ付記述セムトス

一 農林省指定試驗事業

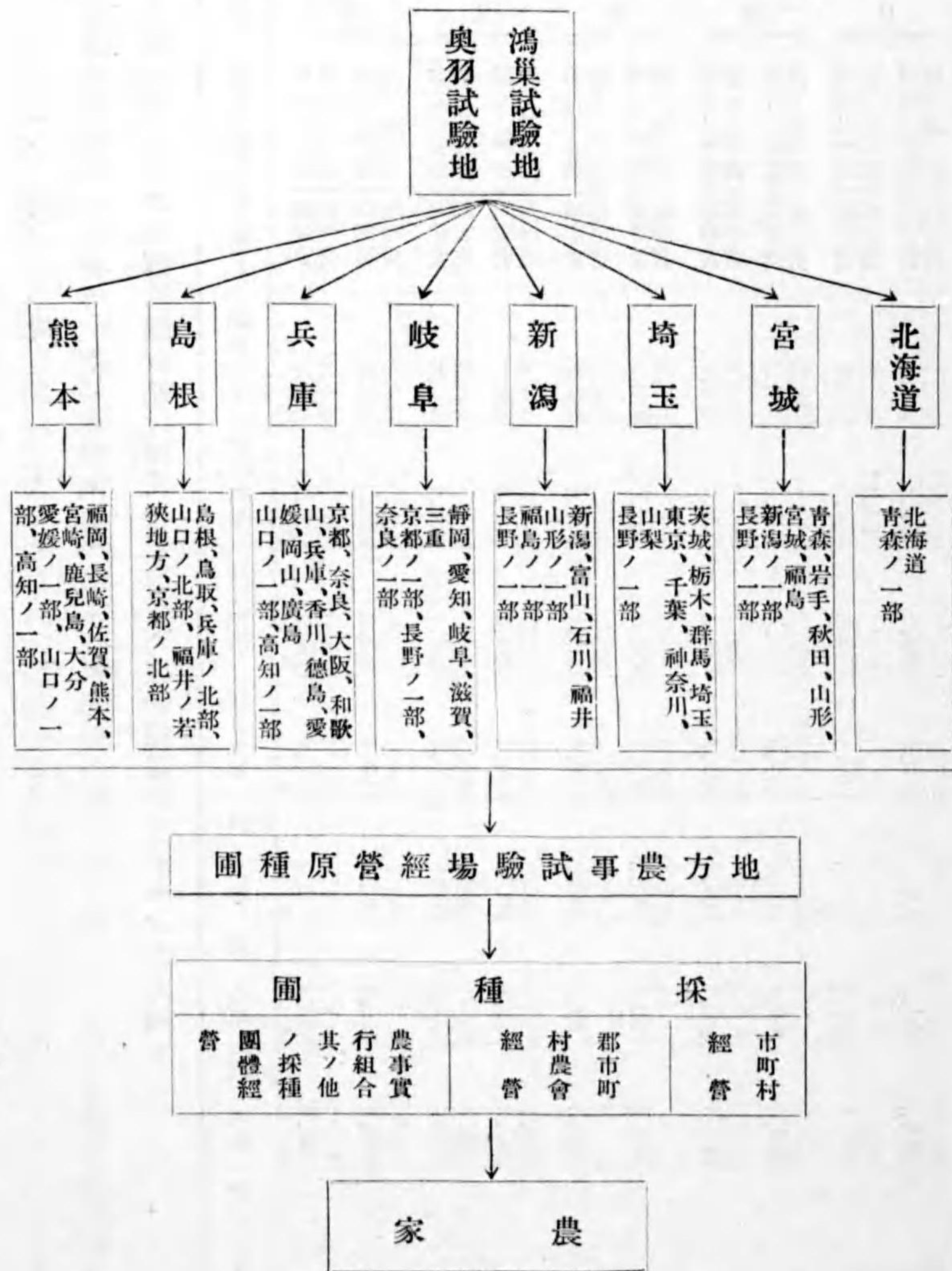
(一) 水稻新品種育成試驗事業

イ 沿革

水稻ノ優良新品種ヲ育成スル爲、農林省ハ昭和二年度ヨリ北海道、宮城、埼玉、新潟、岐阜、兵庫、島根、高知、熊本ノ一道八縣ヲ指定シ、試驗ニ要スル經費ノ全額ヲ交付シテ新品種育成ニ關スル試驗ヲ施行セシメツ、アリシガ經費ノ關係上昭和六年度限高知縣ニ於ケル試驗ヲ廢止シ爾來一道七縣ニ於テ專ラ之ガ研究ヲ行ヒツ、アリ。

三

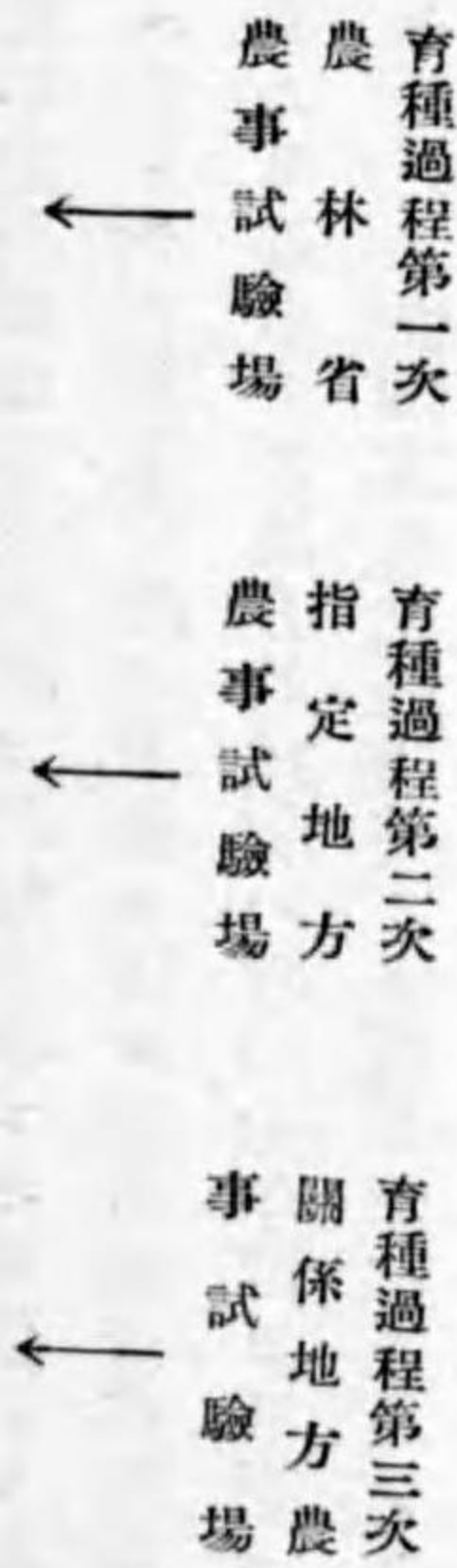
水稻育種之配子給組織圖



組織

人工交配ニ依ル新品種育成上最注意ヲ要スベキ雜種初期世代ニ於ケル處理ハ專ラ農林省農事試驗場及特定ノ指定試驗地ニ於テ之ヲ行ヒ地方の適應性ノ檢定ヲ必要トスル雜種第三代以後ノ處理ハ指定試驗地ニ於テ之ヲ行フコト、シ、全國ヲ氣候、風土、地理的關係等ニ依リテ八區ニ分チ各區ニ一ヶ所ノ指定試驗地(既記ノ一道七縣農事試驗場ヲ指定)ヲ設ケ各試驗地ニ於テ夫々未固定種ノ固定及之ガ適否ニ關スル試驗ヲ行ヒ、其ノ育成優良新品種ハ之ヲ關係府縣農事試驗場ニ配付シテ更ニ地方の適否ヲ確メ、成績ノ特ニ優良ナルモノニ付テハ「農林 號」ナル品種名ヲ附シテ夫々ノ好適地方ニ之ヲ普及セシムルモノトス。即チ之ヲ圖示スレバ次ノ如シ

育種組織



配給組織

既述ノ通りニシテ、指定地方農事試験場ニ於ケル昭和八年度ノ試験ノ種類別供用面積ヲ示セバ左ノ如シ

試験ノ種類	供用面積						
	北海道 (反歌歩) (三組)	宮城 反歌歩	埼玉 反歌歩	新潟 (反歌歩) (六組)	岐阜 反歌歩	兵庫 (反歌歩) (五組)	鳥根 反歌歩
交配操作							
雜種第一代養成							
雜種第二個體選抜試験	二五			一〇		一〇〇	二〇〇
標準栽培ニ依ルモノ				六、一〇		五、一〇	四、〇六
多肥栽培ニ依ルモノ				九、〇五		三、一六	四、〇六
用水不足地栽培ニ依ルモノ				七、〇〇			
排水不良地栽培ニ依ルモノ							
晩植栽培ニ依ルモノ							
含鹽地栽培ニ依ルモノ							
低溫地栽培ニ依ルモノ							
計	一五、〇〇			二二、三五		一五、一〇	一、一三五
雜種第三代系統及個體選抜試験							
標準栽培ニ依ルモノ		一八、二二		一三、〇八	一、七〇	一、六〇	一、六、一〇
多肥栽培ニ依ルモノ				二、一六	一、二〇	一、三〇	二、一〇
用水不足地栽培ニ依ルモノ				一、五二			
排水不良地栽培ニ依ルモノ							
晩植栽培ニ依ルモノ							
計		一八、二二		二二、三五	一、七〇	一、六〇	一、六、一〇
含鹽地栽培ニ依ルモノ							
低溫地栽培ニ依ルモノ							
計	二、二〇〇	一八、二二	二、三、二五	五、〇一〇	二、九、〇〇	三、八、二七	五、三、二二
雜種第四代以後系統育成試験							
標準栽培ニ依ルモノ							
多肥栽培ニ依ルモノ							
用水不足地栽培ニ依ルモノ							
排水不良地栽培ニ依ルモノ							
晩植栽培ニ依ルモノ							
含鹽地栽培ニ依ルモノ							
低溫地栽培ニ依ルモノ							
計	四、五、〇〇	七、二、一八	六、四、一三	三、二、四〇	四、〇、〇〇	四、六、一三	六、六、一七
未固定系統生産力檢定試験							
標準栽培ニ依ルモノ							
多肥栽培ニ依ルモノ							
用水不足地栽培ニ依ルモノ							
排水不良地栽培ニ依ルモノ							
晩植栽培ニ依ルモノ							
含鹽地栽培ニ依ルモノ							
低溫地栽培ニ依ルモノ							
計	一、五、〇〇	三、一、二五	一、六、二三	三、七、一〇	二、四、〇〇	三、二、〇〇	一、九、一〇
新品種決定試験							
計	一、五、〇〇	三、一、二五	一、六、二三	三、七、一〇	二、四、〇〇	三、二、〇〇	二、六、〇〇

試験ノ種類	供用面積						
	北海道 (反歌歩) (三組)	宮城 反歌歩	埼玉 反歌歩	新潟 (反歌歩) (六組)	岐阜 反歌歩	兵庫 (反歌歩) (五組)	鳥根 反歌歩
交配操作							
雜種第一代養成							
雜種第二個體選抜試験							
標準栽培ニ依ルモノ							
多肥栽培ニ依ルモノ							
用水不足地栽培ニ依ルモノ							
排水不良地栽培ニ依ルモノ							
晩植栽培ニ依ルモノ							
含鹽地栽培ニ依ルモノ							
低溫地栽培ニ依ルモノ							
計	四、五、〇〇	七、二、一八	六、四、一三	三、二、四〇	四、〇、〇〇	四、六、一三	六、六、一七
未固定系統生産力檢定試験							
標準栽培ニ依ルモノ							
多肥栽培ニ依ルモノ							
用水不足地栽培ニ依ルモノ							
排水不良地栽培ニ依ルモノ							
晩植栽培ニ依ルモノ							
含鹽地栽培ニ依ルモノ							
低溫地栽培ニ依ルモノ							
計	一、五、〇〇	三、一、二五	一、六、二三	三、七、一〇	二、四、〇〇	三、二、〇〇	一、九、一〇
新品種決定試験							
計	一、五、〇〇	三、一、二五	一、六、二三	三、七、一〇	二、四、〇〇	三、二、〇〇	二、六、〇〇

標準栽培ニ依ルモノ	1,270.5	7,000	1,000	1,500	7,100	11,100	5,100
多肥栽培ニ依ルモノ	1,000	4,100	1,000	1,000	7,100	1,100	1,100
用水不足地栽培ニ依ルモノ		4,000					
排水不良地栽培ニ依ルモノ		4,000					
晩植栽培ニ依ルモノ		9,100					
低温地栽培ニ依ルモノ	2,500						1,100
計	2,500	2,700	1,600	2,900	2,500	1,500	9,000
合	11,500	11,000	17,300	11,000	16,200	10,500	14,700

木成 績

(1) 育成種ノ配付

本事業創始以來昭和八年末迄ニ於テ育成シタルモノニシテ試作ノ目的ヲ以テ配付セル未固定系統ノ數ハ八五系統ノ多キニ達シ其ノ内成績特ニ優良ニシテ府縣ニ於テ既ニ獎勵品種ニ採用セル新品種ハ五種ニ及ベリ、今之ヲ表示スレバ

水稻育成種配付狀況

道 縣	新 品 種		未 固 定		配 付 未 固 定 系 統		配 付 未 固 定 系 統 數
	配付新品種ノ名稱	新品種名ヲ附シタル年度	配付未固定系統ノ名稱	配付未固定系統數	配付未固定系統數	配付未固定系統數	
北海道							昭和四年同 五年同 六年同 七年同 八年同 計

宮 城	埼 玉	新 潟	岐 阜	兵 庫	島 根	熊 本	計
水稻東北九號	水稻東北三號	水稻關東二號	水稻關東一號	水稻農林二號			
昭和八年	昭和八年	昭和六年	昭和八年	昭和八年			
水稻東北一號ヨリ東北二〇號	水稻關東一號ヨリ關東七號	水稻北陸一號ヨリ北陸一〇號	水稻東山一號ヨリ東山一七號	水稻近畿一號ヨリ近畿一四號	水稻山陰一號ヨリ山陰八號	水稻西海一號ヨリ西海九號	
一〇	二	三	三	二	一	一	一三
							一九
							二一
							一四
							一八
							八五

備考 一、本表ハ總テ曆年ニ依リ記載セリ
 二、北海道ニ於テ育成ノ未固定系統ハ之ヲ道内ノ各支場、試驗地、試作場等ニ配付シ道外ニ配付セルモノナキヲ以テ本表ニハ之ヲ掲ゲズ
 三、未固定系統ハ配付先ニ於テ試驗ヲ繼續スル限リ毎年其ノ種子ヲ育成縣ヨリ配付スルモ本表ニハ單ニ初年度ニ配付セル系統數ノミヲ示セリ

(2) 育成新品種ノ來歴、特性及成績

(A) 水稻農林一號

「水稻農林一號」ハ大正十一年元農商務省農事試驗場陸羽支場ニ於テ「森田早稻」ヲ母トシ「陸羽一三二號」ヲ父トシテ人工交配ヲ行ヒ、昭和二年其ノ第五代種子ヲ新潟縣立農事試驗場ニ於ケル農林省指定水稻新品種育成試驗供試材料トシテ配付シ、爾來同場ニ於テ選抜固定ヲ圖リ育成シタル新品種ニシテ昭和六年三月「水稻農林一號」ト命名セルモノナリ。本品種ハ左表ニ示スガ如ク短稈、多蘖、多收、良質ナル特性ヲ有シ北陸地方ニ於ケル極早生ノ重要品種タル千葉錦、小田珍光ニ

代ルベキ優良品種トス

品 種 名	出 穂 期	成 熟 期	稈 長	一 株 穂 數	玄 米 千 粒 重 量	品 質	反 當 收 量
水稻農林一號 千葉錦石一號 比田較標珍 小較標珍 比田較標珍 比田較標珍	七、二九日 七、二九日 七、二六日	九、三日 九、一二日 九、三日	七、七 八、三 七、六	二、一 一、四 二、一	二、〇 二、四 一、九	上ノ下 中 中	二、四〇五 二、三二〇 二、一五〇

備考 本表ハ新潟縣立農事試驗場ニ於ケル農林省指定水稻新品種育成試驗地ノ昭和四年及同五年二ヶ年平均成績トス

(B) 水稻農林二號

「水稻農林二號」ハ大正十一年元農商務省農事試驗場畿内支場ニ於テ「新關取」ヲ母トシ「畿内一八八號」ヲ父トシテ人工交配ヲ行ヒ、大正十四年其ノ第三代種子ヲ佐賀縣立農事試驗場ニ配付シ同場ニ於テ選抜セル雜種第五代種子ヲ昭和二年更ニ兵庫縣立農事試驗場ニ於ケル農林省指定水稻新品種育成試驗供試材料トシテ配付シ、爾來同場ニ於テ選抜固定ヲ圖リ育成シタル新品種ニシテ昭和八年二月「水稻農林二號」ト命名セルモノナリ。本品種ハ左表ニ示スガ如ク多蘖、多收、良質ナル特性ヲ有シ近畿、四國地方ニ適スル優良品種ナリトス

品 種 名	出 穂 期	成 熟 期	稈 長	一 株 穂 數	玄 米 千 粒 重 量	品 質	反 當 收 量	
							普通肥栽培	多肥栽培
水稻農林二號	九、九日	一一、一〇日	九〇釐	二、三	二、三、八	上ノ下	三、〇五	三、三〇

品 種 名	出 穂 期	成 熟 期	稈 長	一 株 穂 數	玄 米 千 粒 重 量	品 質	反 當 收 量	
							普通肥栽培	多肥栽培
水稻農林三號	九、一一日	一一、一三日	九二釐	二、〇	二、五、〇	中ノ中	三、一八	三、二七
(朝比) 較三標準	九、一二日	一一、一五日	八五釐	二、四	二、六、五	中ノ下	三、〇〇	三、一七

備考 本表ハ兵庫縣立農事試驗場ニ於ケル農林省指定水稻新品種育成試驗地ノ自昭和五年至同七年三ヶ年平均成績トス

(C) 水稻農林三號

「水稻農林三號」ハ大正十二年元農商務省農事試驗場ニ於テ「撰一」ヲ母トシ「竹成」ヲ父トシテ人工交配ヲ行ヒ、昭和二年其ノ第四代種子ヲ埼玉縣立農事試驗場ニ於ケル農林省指定水稻新品種育成試驗供試材料トシテ配付シ、爾來同場ニ於テ選抜固定ヲ圖リ育成シタル新品種ニシテ昭和八年三月「水稻農林三號」ト命名セルモノナリ。本品種ハ左表ニ示スガ如ク短稈、多收、良質ナル特性ヲ有シ關東平坦部地方ニ好適スル優良品種ナリトス

品 種 名	出 穂 期	成 熟 期	稈 長	一 株 穂 數	玄 米 千 粒 重 量	品 質	反 當 收 量
水稻農林三號	九、四日	一一、四日	八二釐	一、四	二、〇、九	中ノ上	二、九二四
(關取) 較一三號	九、三日	一一、二七日	九一釐	一、五	一、九、二	中ノ上	二、五二二

備考 本表ハ埼玉縣立農事試驗場ニ於ケル農林省指定水稻新品種育成試驗地ノ自昭和五年至同七年三ヶ年平均成績トス

(D) 水稻關東二號

「水稻關東二號」ハ大正十二年元農商務省農事試驗場ニ於テ「撰一」ヲ母トシ「竹成」ヲ父トシテ人工

交配ヲ行ヒ、昭和二年其ノ第四代種子ヲ埼玉縣立農事試驗場ニ於ケル農林省指定水稻新品種育成
 試驗供試材料トシテ配付シ、爾來同場ニ於テ選抜固定ヲ圖リ育成シタル新品種ニシテ昭和六年
 四月「水稻關東二號」ト命名ノ上地方的適否ニ關スル試驗ヲ施行セルモノナリ。本品種ハ左表ニ示
 スガ如ク晩生種ニ屬シ短稈、多蘖、多收、良質ナル特性ヲ有シ東京地方ニ適スル良品種ナリ

品 種 名	出 穂 期	成 熟 期	稈 長	一 株 穗 數	玄米一升 重 量	品 質	反 當 收 量
水 稻 關 東 二 號	九、三	一〇、二〇	八九	一八本	四〇五	上ノ下	二、四六三
東 京 無 芒 愛 國	八、二七	一〇、一三	九二	一四	四〇〇	中	二、一九七
大 比 較	九、九	一〇、二六	一〇一	一六	三九三	中	一、九一四

備考 本表ハ東京府立農事試驗場ニ於ケル自昭和六年至同七年二ヶ年平均成績トス

(E) 水稻東北九號

「水稻東北九號」ハ大正十一年元農商務省農事試驗場陸羽支場ニ於テ「森田早生」ヲ母トシ「陸羽一
 三二號」ヲ父トシテ人工交配ヲ行ヒ、昭和二年其ノ雜種第五代種子ヲ宮城縣立農事試驗場ニ於ケ
 ル農林省指定水稻新品種育成試驗供試材料トシテ配付シ、爾來同場ニ於テ選抜固定ヲ圖リ育成シ
 タル新品種ニシテ昭和四年三月「水稻東北九號」ト命名ノ上地方的適否ニ關スル試驗ヲ施行セル
 モノナリ。

本品種ハ左表ニ示スガ如ク早生種ニ屬シ短稈、多蘖ナル特性ヲ有シ宮城縣下ニ適スル良品種ナリ

品 種 名	出 穂 期	成 熟 期	稈 長	一 株 穗 數	玄米千粒 重 量	品 質	反 當 收 量
水 稻 東 北 九 號	八、九	九、二一	八五	一八本	二二	中ノ上	二、七八
新 大 野	八、九	九、一八	九六	一〇	二四	中ノ下	二、四三
陸 羽 一 三 二 號	八、一二	九、二六	九七	一四	二三	中ノ上	二、九〇

備考 本表ハ宮城縣立農事試驗場ニ於ケル農林省指定水稻新品種育成試驗地ノ自昭和四年至同七年四ヶ年平均成績トス

(二) 陸稻地方的試驗事業

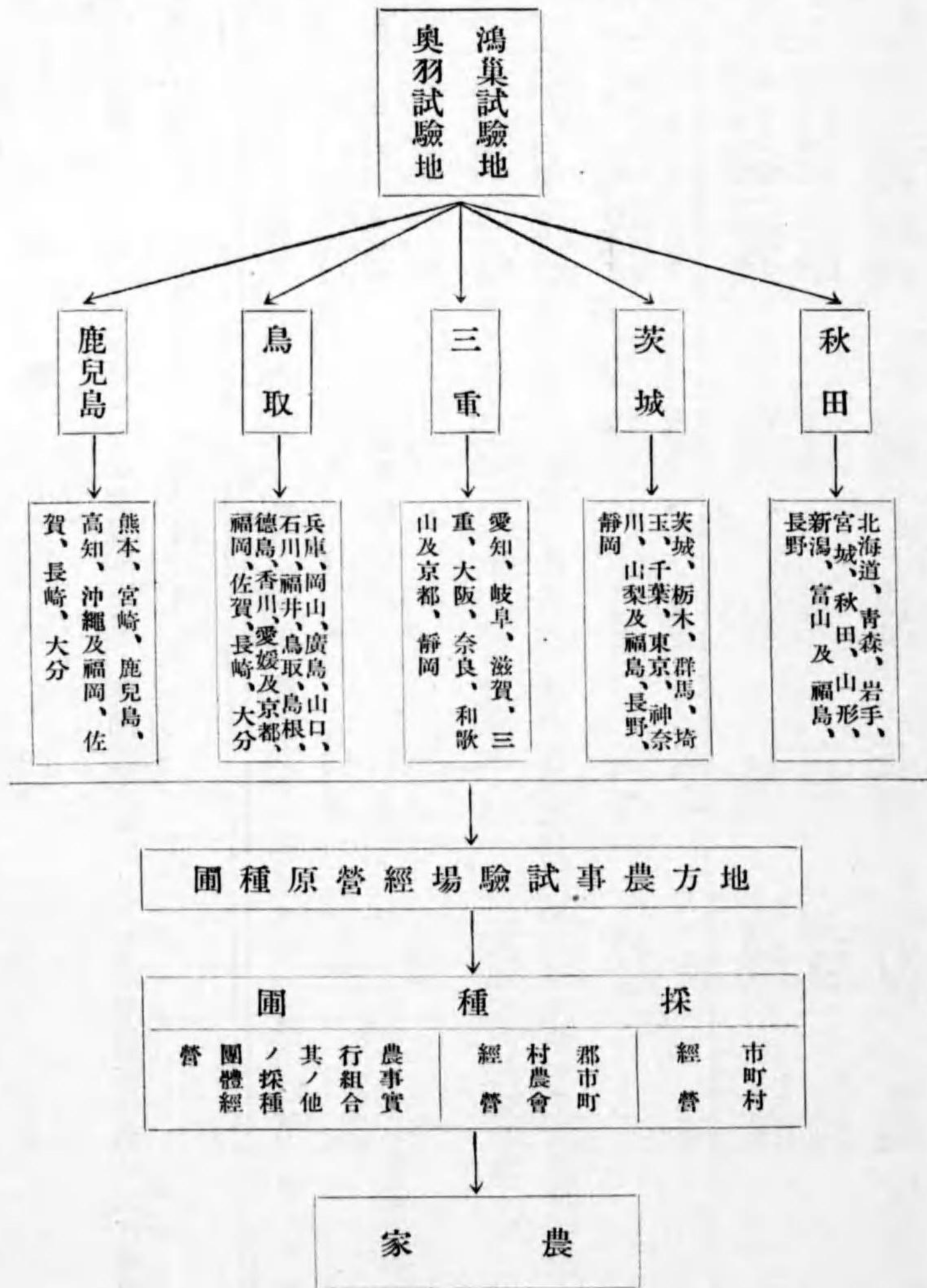
イ 沿 革

陸稻ノ改良増殖ヲ圖ル爲本省ハ昭和四年度ヨリ新ニ豫算ヲ計上シ秋田、茨城、三重、鳥取、鹿兒
 島ノ五縣ヲ指定シ水稻ニ準ジタル組織ノ下ニ育種並ニ栽培法ニ關スル試驗ヲ施行セシメツ、ア
 リ。

ロ 組 織

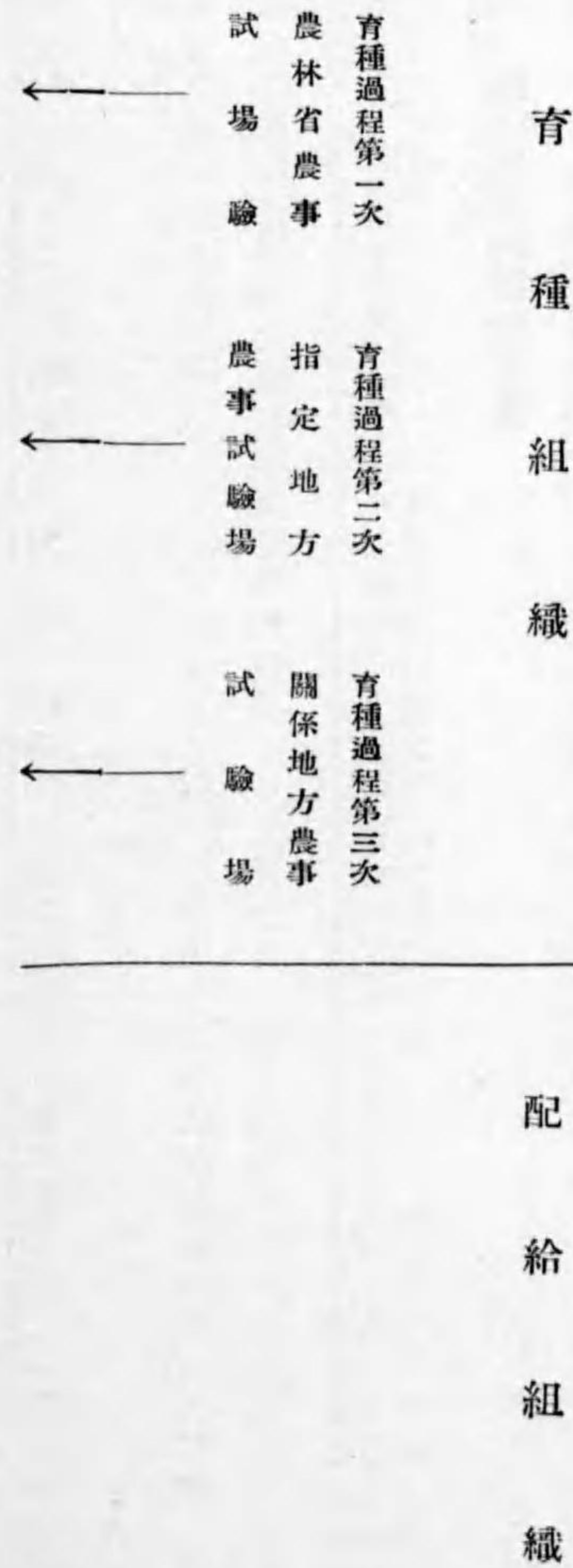
人工交配ニ依ル新品種育成試驗ノ基礎ヲ爲ス人工交配操作及雜種第二代迄ノ優良個體及系統ノ選
 抜ハ本省農事試驗場及特定ノ指定試驗地ニ於テ行ヒ其ノ結果得タル多數ノ優良ト認ムベキ雜種第
 三代以後ノ未固定系統ニ付新品種ヲ育成スル迄ノ處理ハ前記ノ各指定地方農事試驗場ニ於テ之ヲ
 施行セシメ育成未固定系統ハ氣候、風土ノ相類似セル關係府縣ニ配付シテ地方的適否ニ關スル試

陸稻育種並=種子配給組織圖



驗ヲ行ハシメ其ノ成績ノ特ニ優良ナルモノニ付テハ「農林 號」ナル名稱ヲ附シ好適地方ニ之ヲ普及セシムルモノトス。

今試驗指定縣及其ノ關係區域並ニ育成種ノ配給組織ヲ圖示スレバ左ノ如シ



ハ 經 費

本試験事業施行ニ要スル經費ニ對シ本省ハ全額ノ獎勵金ヲ交付ス、今事業創始以來ノ本省獎勵金交付額及指定縣ノ經費豫算額ヲ示セバ左ノ如シ

縣名	獎勵金及豫算	昭和四年	同五年	同六年	同七年	同八年	同九年
秋田	本省ノ獎勵金交付額(臨時費)	六、〇五〇	八、〇〇〇	六、九八〇	六、五三〇	八、〇二七	
秋田	縣ノ經費(臨時費)	三、二〇〇	八、三三五	一、〇〇〇	六、七八〇	八、三八九	
茨城	本省ノ獎勵金交付額(臨時費)	七、九〇〇	一〇、五〇〇	九、一五五	八、五九〇	一一、三五六	
茨城	縣ノ經費(臨時費)	四、〇〇〇	一〇、〇〇〇	七、〇〇〇	一、五〇〇	一一、三〇四	
三重	本省ノ獎勵金交付額(臨時費)	五、四〇〇	六、五五〇	五、七〇〇	五、三〇〇	六、〇二五	
三重	縣ノ經費(臨時費)	三、二〇〇	六、八〇〇	五、九三三	一、八〇〇	六、一五五	
鳥取	本省ノ獎勵金交付額(臨時費)	三、二〇〇	六、二〇〇	五、四〇〇	四、六〇〇	五、五五〇	
鳥取	縣ノ經費(臨時費)	三、二〇〇	六、四三三	五、六〇〇	五、八二二	一、〇〇〇	
鹿兒島	本省ノ獎勵金交付額(臨時費)	三、一〇〇	七、九三五	一、六五〇	六、一五〇	八、一七九	
鹿兒島	縣ノ經費(臨時費)	三、一〇〇	三、三〇〇	一、二〇〇	五、八二二	一、九七〇	

計	豫算	臨時費	豫算	臨時費
縣ノ經費	六、〇五〇	八、三三〇	七、〇五〇	六、五〇〇
本省ノ獎勵金交付額	三、〇八〇	三、一八七	一、八〇〇	一、九七〇
縣ノ經費	一、六八〇	三、〇〇〇	三、四〇八	三、九三三
豫算	三、〇八〇	三、〇〇〇	三、五〇〇	三、八八二
臨時費	一、六八〇	三、〇〇〇	三、五〇〇	三、九三三
豫算	三、〇八〇	三、〇〇〇	三、五〇〇	三、八八二
臨時費	一、六八〇	三、〇〇〇	三、五〇〇	三、九三三

備考 本省獎勵金ハ事業ヨリ生ズル收入額ハ之ヲ控除シテ交付スルモノトス

ニ 試 験 項 目

人工交配操作並ニ雜種初期世代ノ處理ハ主トシテ農林省農事試驗場鴻巣試驗地及奥羽試驗地ニ於テ行ヒ雜種第三代ノ配付ヲ受ケタル指定地方農事試驗場ニ於テハ之ガ地方的適否ヲ檢シツ、優良系統ノ固定ヲ圖ルコト水稻ニ同ジ。

尙昭和八年度ヨリ秋田、茨城、鹿兒島ノ三縣ヲシテ陸稻ノ輪作々物タル大豆ニ關シ品種試驗、栽培法ニ關スル試驗等ヲ施行セシメツ、アリ。

指定地方農事試驗場ニ於ケル昭和八年度ノ試験ノ種類別供用面積ヲ示セバ左ノ如シ

試験ノ種類	供用面積					
	秋田	茨城	三重	鳥取	鹿兒島	計
品種ニ關スル試験						
特性調査						
標準栽培ニ依ルモノ		五、〇〇	三、一六	三、一〇		

イ 沿革

甘藷ノ改良増殖ヲ行フ爲本省ニ於テハ大正八年度ヨリ愛媛(大正十三年度限廢止)、埼玉(昭和六年度限廢止)、岩手ノ三縣ヲ、同十三年度ヨリ千葉縣(昭和五年度限廢止)ヲ指定シ當該農事試驗場ヲシテ之ガ育種並ニ栽培法ニ關スル試驗研究ヲ行ハシメ、更ニ昭和元年度ヨリ沖繩縣ニ試驗ヲ委託シ主トシテ人工交配ノ方法ニ依ル甘藷新品種ノ育成ヲ爲サシメ其ノ育成種ヲ岩手、埼玉及千葉縣ニ配付シ優良新品種ノ選抜ヲ爲サシメツ、アリシガ、昭和八年度ヨリ更ニ之ガ規模ノ擴充ヲ圖リ新ニ千葉、石川、高知、長崎ノ四縣ニ試驗ヲ委託シ既設ノ岩手縣ト共ニ沖繩縣交配種ニ付試驗ヲ施行セシメ其ノ結果選抜セル新品種ハ之ヲ氣候、風土ヲ同ジクスル地方ニ配付シ以テ甘藷ノ生産改良ニ資シツ、アリ。

ロ 組織

新品種育成事業ノ基本ヲ爲ス人工交配操作ハ沖繩縣立農事試驗場ニ於テ行ヒ其ノ新育成種ヲ岩手、千葉、石川、高知、長崎ノ各縣立農事試驗場ニ配付シ地方的適否ニ關スル試驗ヲ施行セシメツ、アリ。而シテ沖繩縣ニ在リテハ右育成種ノ配付ヲ行フノ外同縣並ニ鹿兒島縣ノ一部ニ適スル優良新品種ヲ選出スルタメ前記交配種ニ付之ガ適否ニ關スル試驗ヲモ併セ行ヒツ、アリ。

ハ 經費

甘藷新品種育成ニ要スル經費ニ對シ本省ハ全額ノ獎勵金ヲ交付ス。
事業創始以來ノ本省獎勵金交付額及試驗指定縣ノ經費豫算額ハ左ノ如シ

縣名	獎勵金及豫算		埼玉		愛媛		千葉		沖繩	
	交付額	臨時費	豫算額	臨時費	豫算額	臨時費	豫算額	臨時費	委託費	臨時費
大正八年	三、二五八、〇五〇	三、一五〇、〇〇〇	三、三〇四、二七四	三、〇〇〇、〇〇〇	二、七〇三、一六三	二、七〇三、一六三	二、七〇三、一六三	二、七〇三、一六三		
同九年	三、一五〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇	三、三〇四、二七四	三、〇〇〇、〇〇〇	二、七〇三、一六三	二、七〇三、一六三	二、七〇三、一六三	二、七〇三、一六三		
同十年	三、一五〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇	三、三〇四、二七四	三、〇〇〇、〇〇〇	二、七〇三、一六三	二、七〇三、一六三	二、七〇三、一六三	二、七〇三、一六三		
同十一年	三、一五〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇	三、三〇四、二七四	三、〇〇〇、〇〇〇	二、七〇三、一六三	二、七〇三、一六三	二、七〇三、一六三	二、七〇三、一六三		
同十二年	三、一五〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇	三、三〇四、二七四	三、〇〇〇、〇〇〇	二、七〇三、一六三	二、七〇三、一六三	二、七〇三、一六三	二、七〇三、一六三		
同十三年	三、一五〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇	三、三〇四、二七四	三、〇〇〇、〇〇〇	二、七〇三、一六三	二、七〇三、一六三	二、七〇三、一六三	二、七〇三、一六三		
同十四年	三、一五〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇	三、三〇四、二七四	三、〇〇〇、〇〇〇	二、七〇三、一六三	二、七〇三、一六三	二、七〇三、一六三	二、七〇三、一六三		
昭和元年	四、七七一、〇〇〇	一、五〇〇、〇〇〇	五、三三四、五〇〇	五、三三四、五〇〇	五、三三四、五〇〇	五、三三四、五〇〇	五、三三四、五〇〇	五、三三四、五〇〇	七、一〇〇、〇〇〇	一、五〇〇、〇〇〇
同二年	四、九二二、〇〇〇	一、五〇〇、〇〇〇	五、三三四、五〇〇	五、三三四、五〇〇	五、三三四、五〇〇	五、三三四、五〇〇	五、三三四、五〇〇	五、三三四、五〇〇	九、一〇〇、〇〇〇	一、五〇〇、〇〇〇
同三年	四、九二二、〇〇〇	一、五〇〇、〇〇〇	五、三三四、五〇〇	五、三三四、五〇〇	五、三三四、五〇〇	五、三三四、五〇〇	五、三三四、五〇〇	五、三三四、五〇〇	九、一〇〇、〇〇〇	一、五〇〇、〇〇〇
同四年	四、九二二、〇〇〇	一、五〇〇、〇〇〇	五、三三四、五〇〇	五、三三四、五〇〇	五、三三四、五〇〇	五、三三四、五〇〇	五、三三四、五〇〇	五、三三四、五〇〇	九、一〇〇、〇〇〇	一、五〇〇、〇〇〇
同五年	三、〇五九、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	三、一八五、〇〇〇	三、一八五、〇〇〇	三、一八五、〇〇〇	三、一八五、〇〇〇	三、一八五、〇〇〇	三、一八五、〇〇〇	九、一〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
同六年	二、六四四、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	三、〇四三、〇〇〇	三、〇四三、〇〇〇	三、〇四三、〇〇〇	三、〇四三、〇〇〇	三、〇四三、〇〇〇	三、〇四三、〇〇〇	七、八五〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
同七年									四、五七〇、八〇〇	
同八年										
同九年										

人工交配ニ關スル基本調査
 主要形質ノ遺傳ニ關スル調査
 品種保存
 合計

昭和二年創設以來繼續
 昭和元年創設以來繼續
 昭和三年創設以來繼續

品種保存區供用
 實生第一年目試驗區
 及品種保存區供用
 五、〇〇
 九・三、二五

(2) 千葉、石川、高知、長崎縣

試験ノ種類	試験ノ沿革	供用面積			
		千葉	石川	高知	長崎
交配種第一次選抜試験	昭和八年創設	一・二〇〇 ^反	一・一〇九 ^反	一・〇〇三 ^反	一・二〇〇 ^反
交配種第二次選抜試験	同	一・一〇〇	七、二四	五、〇一	八、〇〇
品種比較試験	同	六、〇〇	二、一〇	七、二〇	七、〇〇
品種特性調査	同	二、九〇〇	二、六、一九	五、〇五	三、〇〇
合計		二、九〇〇	二、六、一九	二、七、二九	三、〇〇〇

備考 岩手縣ノ分ハ(四)雜穀、馬鈴薯改良増殖試験ノ試験項目中ニ記載セルヲ以テ本表ニハ之ヲ省略セリ

ホ成績

現在試験施行中ノ沖繩縣ニ於テハ左表ニ示スガ如ク多數ノ交配種ヲ育成配付セルノミナラズ之ガ配付ヲ受ケタル諸縣ニ於テハ其ノ適否ニ關シ銳意試験中ナリ。而シテ岩手縣ニ於テハ既ニ之ヨリ「甘藷岩手一號」、「甘藷岩手二號」ナル二品種ヲ選抜シ目下同場ニ於テ配付用種諸ノ増殖中ナリ。

尙曩ニ試験ヲ指定セル埼玉、愛媛及千葉ノ三縣ニ在リテハ夫々別記ノ如ク優良種ヲ選定シ配付ヲ行ヒタルノミナラズ之ト同時ニ施行セル栽培法、貯藏法等ニ關スル試験ニ付テモ相當ノ成績ヲ收メ之ニ依リ一般當業者ヲ利スル處鮮少ナラザルモノアリタリ。

(1) 沖繩縣ヨリノ交配種配付

年 度	配付系統數											配付系統總數	
	岩手	埼玉	茨城	千葉	石川	三重	鳥取	高知	長崎	愛媛	宮崎		鹿兒島
昭和二年	一〇元	一〇元											一〇元
同 三 年	五五	五五											五五
同 四 年	五六	五六											五六
同 五 年	五五	五五		一〇〇									五五
同 六 年	四六	四六											四六
同 七 年	三三	三三											三三
同 八 年	三元				三元	一七	一七	三元	三元				三元

備考 一、本表ハ總テ曆年ニ依リ記載セリ
 二、配付系統總數ト内譯ト符合セザルハ同一系統ヲ數地方ニ配付セルニ依ル
 三、配付系統ハ總テ實生第一年目選抜系統ナリ

(2) 指定試験地ヨリノ新品種ノ配付
 (A) 新品種配付狀況

縣名	配付品種名	配付年度	配付數量		配付先
			總數量	一府縣當	
埼玉	花魁埼玉第一號	大正十三年	八、二八〇 ^本	一八〇 ^本	四十六府縣
愛媛	(七名メリケン白) 紅赤三十一號	同十四年	九二 ^實	二 ^實	同
千葉	甘諸岩手一號	昭和七年	(種諸) 二六	一	二十六府縣
岩手	甘諸岩手二號	目下配付用種諸増殖中			
同					

備考 本表ハ總テ曆年ニ依リ記載セリ

(B) 育成新品種ノ來歴、特性及成績

(a) 花魁埼玉第一號

「花魁埼玉第一號」ハ埼玉縣立農事試驗場ニ於テ本省ノ指定ニ依リ大正八年以來施行セル花魁種ノ分型試驗ニヨリ選出セシモノニシテ大正十三年之ヲ「花魁埼玉第一號」ト命名シ之ガ苗ヲ各府縣ニ配付シ試作セシメタルモノナリ。
本種ハ左表ニ示スガ如ク品質良好ニシテ收量亦多キ特性ヲ有ス

品種名	熟期	諸形狀	諸大小	諸ノ皮色	肉質	食味	貯藏難易	反當收量
花魁埼玉第一號	早	紡錘	中	淡紫紅	粘	中	易	九八二 ^實
花魁在來種	早	短紡錘	中	淡紫紅	粘	中	易	七九九

備考 本表ハ埼玉縣立農事試驗場ニ於ケル自大正八年至同十二年五ヶ年平均ノ成績ナリ但シ收量ハ自大正十年至同十二年三ヶ年平均成績トス

(b) 七福諸(一名メリケン白)

「七福諸」(一名メリケン白)ハ愛媛縣立農事試驗場ニ於テ本省ノ指定ニヨリ大正八年以來施行セル品種比較試驗ニ依リ選出セシモノニシテ大正十四年之ガ種諸ヲ各府縣ニ配付シ試作セシメタルモノナリ。
本種ハ左表ニ示スガ如ク常食用トシテ特ニ優良ナル特性ヲ有ス

品種名	熟期	諸形狀	諸大小	諸ノ皮色	肉質	食味	貯藏難易	反當收量
七福諸	中	短紡錘又ハ球	大	淡黃色	粘	中	易	五三九 ^實
唐諸	中	短紡錘	中	淡紅	粘	下	易	五二四

備考 本表ハ愛媛縣立農事試驗場ニ於ケル自大正八年至同十三年六ヶ年平均成績トス

(c) 紅赤三十一號

「紅赤三十一號」ハ千葉縣立農事試驗場ニ於テ昭和三年以來施行セル砂地用品種選抜試驗ニ依リ選出セシモノニシテ昭和七年之ガ種諸ヲ適當ト認ムル府縣ニ配付シ試作セシメタルモノナリ。
本種ハ左表ニ示スガ如キ特性ヲ有シ紅赤類似系統中最モ砂地ニ適スル優良品種ナリ

品種名	熟期	諸形状	諸大小	諸ノ皮色	肉質	食味	貯藏難易	反當收量
紅赤三十一號	中	齊整長紡錘	中ノ大	濃紫赤	粉	上	易	六五八
千葉赤	中	不齊紡錘	中	紫赤	粉	中ノ上	易	五六八

備考 本表ハ千葉縣立農事試驗場ニ於ケル自昭和三年至同五年三ヶ年ノ平均成績トス

(d) 甘諸岩手一號

「甘諸岩手一號」ハ昭和元年沖繩縣立農事試驗場ニ於ケル本省委託甘諸生産改良増殖試驗ニ於テ「三河薄赤」ヲ母トシ「太白」ヲ父トシ人工交配ヲ行ヒ、昭和三年之ガ種諸ヲ岩手縣立農事試驗場ニ於ケル甘諸新品種育成試驗供試材料トシテ配付シ爾來同場ニ於テ之ガ適否ヲ檢シツ、選拔シタル新品種ニシテ、昭和七年「甘諸岩手一號」ト命名シ昭和九年之ガ種諸ヲ配付スル豫定ナリ。本表ハ左表ニ示スガ如ク形状正齊食味良好ナルノ特性ヲ有ス

品種名	熟期	諸形状	諸大小	諸ノ皮色	肉質	食味	貯藏難易	反當收量
甘諸岩手一號	早	長紡錘	中	紅	最粉	上	中	三六三
金標	晚	長紡錘	中	紅	最粉	上	難	二七〇
花標	早	長紡錘	中	紅	最粉	上	難	四八一

備考 本表ハ岩手縣立農事試驗場ニ於ケル自昭和六年至同八年三ヶ年平均成績トス

(c) 甘諸岩手二號

「甘諸岩手二號」ハ昭和二年沖繩縣立農事試驗場ニ於ケル本省委託甘諸生産改良増殖試驗ニ於テ「名護和蘭」ヲ母トシ「八幡」ヲ父トシ人工交配ヲ行ヒ、昭和四年之ガ種諸ヲ岩手縣立農事試驗場ニ於ケル甘諸新品種育成試驗供試材料トシテ配付シ爾來同場ニ於テ之ガ適否ヲ檢シツ、選拔シタル新品種ニシテ、昭和七年「甘諸岩手二號」ト命名シ昭和九年之ガ種諸ヲ配付スル豫定ナリ。本表ハ左表ニ示スガ如ク收量多ク食味佳良ナル特性ヲ有ス

品種名	熟期	諸形状	諸大小	諸ノ皮色	肉質	食味	貯藏難易	反當收量
甘諸岩手二號	早	紡錘	大	微紅	粉	中	易	六三〇
花標	早	紡錘	大	淡紫	粉	中	易	四八一
金標	早	紡錘	大	淡紫	粉	中	易	四八一
比較	晚	長紡錘	中	紅	最粉	上	難	二七〇

備考 前表ノ備考參照

(四) 雜穀、馬鈴薯改良増殖試驗事業

イ 沿革

雜穀、馬鈴薯ノ改良増殖ヲ行フ爲大正八年度ヨリ岩手、埼玉、愛媛ノ三縣ヲ指定シ本省ヨリ所要經費ノ全額ヲ交付シ當該縣立農事試驗場ヲシテ之ガ試驗研究ヲ行ハシメツ、アリシガ經費ノ關係上愛媛縣ハ大正十三年度限、埼玉縣ハ昭和六年度限、獎勵金ノ交付ヲ廢止セルヲ以テ爾後主トシテ岩手縣ニ於テ之ガ試驗ヲ施行シツ、アリ。而シテ同縣ニ於テハ試驗施行ノ當初ハ雜穀及馬鈴薯

ニ付品種比較試験ニ依リ優良種ノ選抜ヲ爲シツ、アリシガ大正十二年度ヨリ人工交配ニ依ル馬鈴薯新品種育成試験ヲ、昭和二年度ヨリ甘藷新品種育成試験ヲ施行シ超エテ昭和七年度限雜穀ニ關スル試験ヲ廢止シ専ラ馬鈴薯及甘藷ニ付之ガ新品種育成試験ヲ行ヒ以テ今日ニ及ベリ。

尙本省ハ別途福島縣ニ獎勵金ヲ交付シ馬鈴薯偽瓢蟲ノ完全ナル防除方法ヲ研究セシメ之ガ改良増殖ニ資スル處アリタリ。

〇 組 織

岩手縣ニ於ケル馬鈴薯新品種育成試験ハ専ラ人工交配ノ方法ニ依リ之ヲ行ヒ其ノ育成種ハ適當ト認ムル地方ニ配付シテ其ノ地方的適否ヲ檢定シ好適地方ニ對シ之ガ普及ヲ圖ラントスルモノナリ。

ハ 經 費

事業創始以來ノ本省獎勵金交付額及指定縣ノ經費豫算額左ノ如シ

縣名	獎勵金及豫算	
	大正	昭和
岩手	本年ノ經常費	三、〇九五
	獎勵金	四、四九
	交付額	一、〇〇〇
	縣ノ經常費	三、九七〇
	豫算額	四、七〇六
	臨時費	四、九二〇
	臨時費	四、三〇〇
	臨時費	四、三八〇
	臨時費	四、三七六
	臨時費	四、四六四
臨時費	五、〇四四	
臨時費	五、〇八三	
臨時費	一、〇八三	
臨時費	二、五〇〇	

合計	福島	
	本年ノ經常費	獎勵金
本年ノ經常費	三、〇九五	四、四九
獎勵金	四、四九	四、二五
交付額	一、〇〇〇	三、九七〇
縣ノ經常費	三、九七〇	三、九七〇
豫算額	四、七〇六	四、九二〇
臨時費	四、九二〇	四、三〇〇
臨時費	四、三八〇	四、三八〇
臨時費	四、三七六	四、四六四
臨時費	五、〇四四	五、〇八三
臨時費	一、〇八三	二、五〇〇
臨時費	二、五〇〇	

備考 一、本省獎勵金ハ事業ヨリ生ズル收入額ハ之ヲ控除シテ交付スルモノトス

二、埼玉縣及愛媛縣ニ對スル雜穀、馬鈴薯改良増殖試驗獎勵金交付額及經費豫算額ハ既述ノ甘藷新品種育成試験費中ニ計上セルヲ以テ本表ニハ之ヲ記載セズ

ニ 試 驗 項 目

昭和八年度ニ於ケル本省指定岩手縣立農事試驗場ノ種類別供用面積左ノ如シ

試 驗 ノ 種 類	沿	革	供 用 面 積
馬鈴薯新品種育成試験			反 畝 步
交配操作			一、二二
育成個體選抜			二、〇〇〇
育成系統選抜第一年			九、〇〇五
大正十二年創設以來繼續			

育成系統選拔第二年 新品種選定豫備試驗 同 新品種選定試驗 甘藷新品種育成試驗 新品種選定豫備試驗 同 新品種選定試驗	(二)(一) (二)(一)	昭和二年創設以來繼續	七、二一 五、〇〇 二、〇三 四、一〇 五、一五 五、一八 六、〇〇 四、〇六 四、〇六
馬鈴薯種薯生產方法ニ關スル試驗 生産方法ヲ異ニセル種薯ノ栽培試驗 馬鈴薯萎縮病抵抗性ニ關スル調査 系統栽培 馬鈴薯 甘藷 保存栽培 馬鈴薯 甘藷	大正十二年創設ノ秋馬鈴薯栽培 試驗ヨリ昭和三年ニ於テ分割 同(但シ昭和四年ハ種薯 ノ都合ニ依リ中止) 昭和四年創設以來繼續 昭和七年創設以來繼續	昭和六年創設以來繼續 昭和八年創設	個體選拔區系統選拔 區保存栽培區供用 三、一〇 三、一〇 三、〇四 八、五、一九
合計			

木成 績

(1) 育成種ノ配付

大正八年度以來施行セル雜穀、馬鈴薯改良増殖試驗ニ依リ育成セル優良新品種ノ配付ハ左表ノ如

配付作物	品 種 名	配付年度	配 付 量		配 付 先
			總 數 量	一 府 縣 當 量	
大豆	東 吉	昭和元年	一八・四	四・〇	四十六道府縣
	晚 赤	昭和七年	一・二	五・五	二十四道府縣
	津 輕 早 生	昭和七年	一・二	五・五	二十四道府縣
	朝 鮮	昭和元年	三・三	五・五	六 道 府 縣
馬鈴薯	馬鈴薯岩手一號	昭和二年	一四・一	三・〇	四十五道府縣(沖繩縣ヲ除ク)
	馬鈴薯岩手二號	昭和二年	一四・一	三・〇	奧羽試驗地、朝鮮總督府農事試驗場
	馬鈴薯岩手三號	昭和四年	四五・〇	一、〇〇〇	四十五道府縣(沖繩縣ヲ除ク)
	馬鈴薯岩手四號	昭和八年	二四・〇	一、〇〇〇	二十四道府縣

備考 配付ハ總テ曆年ニ依リ記載セリ

(2) 配付品種ノ來歴、特性及成績

(A) 大豆「東吉」

「東吉」ハ岩手縣立農事試驗場ニ於テ本省ノ指定ニ依リ大正八年以來施行セル品種比較試驗ニ依リ選出セシモノニシテ、昭和元年三月之ガ種子ヲ道府縣ニ配付シ試作セシメタルモノナリ。本種ハ左表ニ示スガ如ク收量多ク品質亦良好ナル特性ヲ有ス



品種名	熟期早晚	分枝數	草丈	種皮ノ色	目ノ色	粒大	品質	反當收量
東吉	中	五・四	七・一	黃	褐	小	中ノ上	一・二一七
ヤギ	中	五・九	七・八	黃	褐	小	中ノ中	一・二二八

備考 本表ハ岩手縣立農事試驗場ニ於ケル自大正八年至同十二年五ヶ年平均成績トス

(B) 粟「晚赤」

「晚赤」ハ岩手縣立農事試驗場ニ於テ本省ノ指定ニ依リ大正八年以來施行セル品種比較試驗ニ依リ選出セシモノニシテ、昭和元年三月之ガ種子ヲ道府縣ニ配付シ試作セシメタルモノナリ。本種ハ左表ニ示スガ如ク收量多キ良品種ナリ

品種名	成熟日數	稈糯ノ別	葉耳ノ色	草丈	穗長	稈色	未熟時ノ顔ノ色	枝梗ノ長サ	反當收量
晚赤	一三一	稈	紅色ヲ帶ブ	一五七	二三	褐	紅	短	二・四六三
權兵衛	一三九	稈	紅色ヲ帶ブ	一六八	二六	褐	紅	短	二・二五六

備考 本表ハ岩手縣立農事試驗場ニ於ケル自大正八年至同十二年五ヶ年平均成績トス

(C) 粟「津輕早生」

「津輕早生」ハ岩手縣立農事試驗場ニ於テ本省ノ指定ニ依リ昭和二年以來施行セル品種比較試驗ニ依リ選出セシモノニシテ、昭和七年三月之ガ種子ヲ道府縣ニ配付シ試作セシメタルモノナリ。本種ハ左表ニ示スガ如ク多收ニシテ品質良好ナル特性ヲ有スル糯種ナリ

品種名	出穂期	成熟期	稈糯ノ別	草丈	穗長	稈色	葉耳ノ色	反當收量
津輕早生	八、五日	九、一二	糯	一二九	長	綠	莖	二・三〇七
晚赤	八、二	九、一二	稈	一三七	長	綠	莖	二・〇八一

備考 本表ハ岩手縣立農事試驗場ニ於ケル自昭和二年至同四年三ヶ年平均成績トス

(D) 稗「朝鮮」

「朝鮮」ハ岩手縣立農事試驗場ニ於テ本省ノ指定ニ依リ大正八年以來施行セル品種比較試驗ニ依リ選出セシモノニシテ、昭和元年三月之ガ種子ヲ道府縣ニ配付シ試作セシメタルモノナリ。本種ハ左表ニ示スガ如ク收量多ク品質良好ナル特性ヲ有ス

品種名	成熟日數	草丈	一株莖數	莖ノ太サ	穗長	芒長	稈色		反當收量
							未熟時	成熟時	
朝鮮餅	一二五	一三一	五・〇	中	一七	中	紫色ヲ帶ブ	濃褐色	四、四四〇
朝子	一二五	一三三	三・九	中	一七	中	紫色ヲ帶ブ	濃褐色	四、三八五

備考 本表ハ岩手縣立農事試驗場ニ於ケル自大正八年至同十二年五ヶ年平均成績トス

(E) 馬鈴薯「馬鈴薯岩手一號」

「馬鈴薯岩手一號」ハ本省ノ指定ニ依リ大正十一年岩手縣立農事試驗場ニ於テ「テレグラフ」ヲ母トシ「グリーンマウンテン」ヲ父トシ人工交配ヲ行ヒ育成シタル新品種ニシテ、昭和二年三月之ヲ「馬

鈴薯岩手一號」ト命名セルモノナリ。
本種ハ左表ニ示スガ如ク耐病性概シテ強ク且ツ收量多キ特性ヲ有ス

品 種 名	開花期日	一株莖數	草 丈	薯ノ皮色	目ノ深サ	肉 色	肉 質	耐病性 (萎縮病)	反當收量
馬鈴薯岩手一號	六、二一日	二、六本	四、四	白	淺	白	粉	強	六三八
グリーン マウンテン	六、一九	四、六	五、二	白	中	白	粉	中	四九八

備考 本表ハ岩手縣立農事試驗場ニ於ケル自大正十四年至同十五年二ヶ年平均成績トス

(F) 馬鈴薯「馬鈴薯岩手二號」

「馬鈴薯岩手二號」ハ本省ノ指定ニ依リ大正十一年岩手縣立農事試驗場ニ於テ「グリーンマウンテン」ヲ父トセル人工交配種(母品種不明)ヨリ育成シタル新品種ニシテ、昭和二年三月之ヲ「馬鈴薯岩手二號」ト命名セルモノナリ。
本種ハ左表ニ示スガ如ク萎縮病抵抗性稍弱キモ收量多キ特性ヲ有ス

品 種 名	開花期日	一株莖數	草 丈	薯ノ皮色	目ノ深サ	肉 色	肉 質	耐病性 (萎縮病)	反當收量
馬鈴薯岩手二號	六、二一日	二、六本	五、三	白	中	白	粉	中	六五三
グリーン マウンテン	六、一九	四、六	五、二	白	中	白	粉	中	四九八

備考 「馬鈴薯岩手一號」ノ備考参照

(G) 馬鈴薯「馬鈴薯岩手三號」

「馬鈴薯岩手三號」ハ本省ノ指定ニ依リ大正十二年岩手縣立農事試驗場ニ於テ「金時」ヲ母トシ「グリーンマウンテン」ヲ父トシ人工交配ヲ行ヒ育成シタル新品種ニシテ、昭和四年三月之ヲ「馬鈴薯岩手三號」ト命名セルモノナリ。
本種ハ左表ニ示スガ如ク萎縮病抵抗性強ク收量多ク品質優良ナル特性ヲ有ス

品 種 名	開花期日	一株莖數	草 丈	薯ノ皮色	目ノ深サ	肉 色	肉 質	耐病性 (萎縮病)	反當收量
馬鈴薯岩手三號	七、一一日	三、二本	八、七	黃	淺	白	粉	強	七三七
グリーン マウンテン	六、二一日	四、六	五、二	白	深	白	粉	中	五一四
金 時	六、三〇	三、三	八、九	紅	中	白	中	強	六〇八

備考 本表ハ岩手縣立農事試驗場ニ於ケル自昭和元年至同三年三ヶ年平均成績トス
但シ耐病性ハ自大正十四年至昭和三年四ヶ年平均成績ヲ示シ「グリーンマウンテン」ノ反當收量ハ自昭和元年至同二年二ヶ年平均成績トス

(H) 馬鈴薯「馬鈴薯岩手四號」

「馬鈴薯岩手四號」ハ本省ノ指定ニヨリ大正十四年岩手縣立農事試驗場ニ於テ「ベルギー丙」ヲ母トシ「根室」ヲ父トシ人工交配ヲ行ヒ育成シタル新品種ニシテ、昭和八年四月之ヲ「馬鈴薯岩手四號」ト命名セルモノナリ。
本種ハ左表ニ示スガ如ク萎縮病抵抗性強ク多收ナル特長ヲ有ス

品 種 名	開花期日	一株莖數	草 丈	薯ノ皮色	目ノ深サ	肉 色	肉 質	耐病性 (萎縮病)	反當收量
馬鈴薯岩手四號	七月二日	四・八	六一	淡黃	淺	黃白	粉	強	八四二
金時	七・二一	四・七	八〇	紅	中	白	粘	強	六三六
アーリーローズ	七・一九	四・〇	三六	微紅	中	白	中	中	五五一

備考 本表ハ岩手縣立農事試驗場ニ於ケル自昭和五年至同七年三ヶ年平均成績トス

(五) 其ノ他ノ試驗事業

米麥其ノ他主要食糧農作物ニ關シ明治三十九年度ヨリ産業試驗費講習費國庫補助法ニ依リ道府縣ニ補助金ヲ交付シ特ニ必要ト認ムル事項ヲ指定シ之ニ關スル試驗ヲ施行セシメツ、アリ。而シテ本試驗中所期ノ成績ヲ擧ゲ得タルモノハ順次之ヲ廢止シ必要ニ應ジ更ニ新規試驗ヲ創始シ之ニ代ヘツ、アリ。

今事業開始以來今日迄ニ施行セル主要ナル試驗ヲ表示スレバ左ノ如シ

縣 名	試 驗 名 稱	沿 革		一ヶ年當補助金額
		試驗創始年度	試驗終了年度	
岩 手	稻作ニ關スル試驗 凶作ニ對スル研究	明治四十三年	大正三年	二六〇
同	大豆及馬鈴薯栽培試驗	大正五年	同九年	三〇〇
同	畑二毛作ニ關スル試驗	大正七年	同九年	七〇〇
秋 田		明治四十三年	大正四年	一三〇〇

縣 名	試 驗 名 稱	沿 革	一ヶ年當補助金額
山 形	米作試驗	明治四十四年 大正九年	四五〇〇
福 島	大麥雪害抵抗性品種育成試驗	昭和二年 繼續中	三〇〇〇
埼 玉	甘藷、馬鈴薯試驗	昭和七年 同九年	四七五〇
千 葉	製粉用小麥及落花生試驗	大正十年 昭和元年	七〇〇〇
同	落花生試驗	昭和二年 同五年	五〇〇〇
長 野	寒冷地帶水稻試驗	昭和二年 同五年	三五〇〇
同	寒冷地帶水稻試驗	昭和六年 繼續中	三〇〇〇
同	高冷地畑作試驗	昭和六年 繼續中	三〇〇〇
同	水稻直播試驗	昭和元年 繼續中	三五〇〇
愛 知	麥芽用大麥栽培試驗	明治三十九年 大正七年	一五〇〇
島 根	水稻直播試驗	昭和元年 同五年	四〇〇〇
大 分	高冷地試驗(水稻)	昭和五年 繼續中	五〇〇〇
宮 崎	如地利用試驗	大正二年 同五年	一五〇〇

備考 産業試驗費講習費國庫補助法ニ依リ補助金ヲ交付シテ施行セシメタル試驗ハ極メテ多數ニ及ブモ本表ニハ單ニ主要食糧農産物改良増殖ニ關スル試驗ノミヲ掲記セリ

現在試驗施行中ノモノハ福島、長野及大分ノ三縣ニシテ昭和八年度ニ於ケル之等試驗ノ實施概要

ヲ示セバ左ノ如シ

試験名稱	供用面積	
	福島	長野
品種比較試驗	五〇、〇〇	二、九、一八
純系淘汰試驗	四、三、〇七	八、〇、〇一
人工交配育成試驗	二、〇〇	二、一、一七
栽培法改善試驗	四、二、五〇	二、一、一七
計	五〇、〇〇	二、九、一八

備考 一、長野縣ニ於テハ陸稻、小麥、燕麥、粟、玉蜀黍、蕎麥等ニ關シ夫々試驗ヲ行フ

二、大分縣ノ水稻人工交配育成試驗ニ於テハ主トシテ奥羽試驗地及熊本縣ニ於ケル本省指定水稻新品種育成試驗地等ニテ育成セル交配種ニ付選抜ヲ爲ス

上記諸試驗中福島縣ニ於ケル大麥雪害抵抗性品種育成試驗ニ於テハ耐雪性品種「細麥」ヲ選出シ廣ク東北、北陸、東山地方ニ配付シ試作セシメ其ノ成績良好ナルモノアリ、又大分縣ニ於ケル高冷地試驗(水稻)ニ於テハ高冷地ニ好適スル水稻「銀坊主」種ヲ選定シ同縣ノ獎勵品種ニ採用シツ、アルノミナラズ千葉縣ニ在リテハ落花生優良新品種「千葉中粒四三號」、「千葉中粒五五號」及「千葉大粒七四號」ノ三種ヲ育成シ關東以西ノ諸地方ニ配付シ試作セシムル等、之ガ改良増殖上大ナル功績ヲ示シツ、アリ。

二 道府縣ニ於ケル試驗事業

本省指定ノ主要食糧農作物新品種育成試驗事業ハ前述セル如クナルガ一方道府縣ニ於テモ當該農事試驗場ニ於テ品種比較試驗、純系淘汰、人工交配等ノ方法ニ依リ新品種ノ選抜又ハ育成ヲ行ヒツ、アリ其ノ結果優良種ノ育成セラレタルモノ極メテ多數ニ達セリ。

尙道府縣ニ於テハ本省指定試驗地ヨリ配付セル育成種ノ地方的適否ニ關スル試驗ヲモ併セ行ヒツ、アリ。

今道府縣農事試驗場ニ於テ水稻、陸稻、大麥、稗麥ノ新品種育成ニ供用セル圃場ノ面積ヲ昭和八年ノ現在ニ依リ示セバ左ノ如シ

道府縣	供用面積	
	水稻	陸稻
北海道	二三、四〇〇	五、〇〇〇
青森	一六、五〇〇	二一、五〇〇
岩手	一三、〇〇〇	一三、〇〇〇
宮城	八、五〇〇	一三、〇〇〇
秋田	一五、〇〇〇	一七、五〇〇
山形	七、八〇〇	七、八〇〇
福島	一三、〇〇〇	一七、〇〇〇
計	一〇九、〇〇〇	一〇九、〇〇〇

第三 主要食糧農産物ノ原種圃ニ關スル事業

和歌山	鳥根	島山	岡島	廣口	山島	德川	香媛	愛媛	高知	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿兒	沖繩	計
一〇〇、〇〇〇	一一、三〇〇	一一、五〇〇	一二、〇〇〇	一二、〇〇〇	一〇、六〇〇	一〇、六〇〇	一一、三〇〇	一一、三〇〇	一一、三〇〇	一五、〇〇〇	八、〇〇〇	一一、〇〇〇	九、七〇〇	一七、五〇〇	一〇、〇〇〇	九、五〇〇	五三九、一、二六	
							一一、〇〇〇						四、〇〇〇	二、〇〇〇			四七二、一、一四	
一〇〇、〇〇〇	一一、三〇〇	一一、五〇〇	一二、〇〇〇	一二、〇〇〇	一〇、六〇〇	一〇、六〇〇	一一、三〇〇	一一、三〇〇	一一、三〇〇	一五、〇〇〇	八、〇〇〇	一一、〇〇〇	一三、七〇〇	一七、五〇〇	一〇、〇〇〇	九、五〇〇	五八六、四、一〇	
四、四、二、二六	二、二、一、三	一、五、〇〇	二、〇、〇〇	二、〇、〇〇	二、〇、〇〇	二、〇、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、〇〇	三、四、〇〇	二、〇、〇〇						一〇〇、六、二三	
二、五、〇〇	六、六、〇〇	三、五、〇〇	三、四、〇〇	六、〇、〇〇	九、〇、二六	六、〇、〇〇	六、一、〇七	三、五、〇〇	七、〇〇	二、五、〇〇	八、六、〇〇	三、八、〇〇	一三、〇、〇〇	四、〇、〇〇	九、五、〇〇		一二五、九、一六	
二、五、〇〇	一一、一、〇〇	二、六、一、三	五、〇、〇〇	三、九、〇〇	八、〇、〇〇	九、〇、二六	六、〇、〇〇	三、五、〇〇	一、〇、〇〇	二、五、〇〇	一、二、〇、〇〇	三、八、〇〇	一五、〇、〇〇	四、〇、〇〇	九、五、〇〇		二二六、六、〇九	

茨城	栃木	群馬	千代田	東京	神奈川	新潟	富山	石川	福井	山梨	長野	岐阜	静岡	愛知	三重	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	
一〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	四、〇〇〇	七、六、一九	六、四、〇〇	二、一、〇〇	八、八、〇〇	一七、〇、〇〇	一〇、〇、〇〇	一〇、〇、〇〇	一七、五、〇〇	一三、四、〇〇	一三、〇、〇〇	一四、三、一〇	二〇、二、〇〇	二三、〇、〇〇	八、八、〇〇	一〇、〇、〇〇	二〇、五、〇〇	一〇、七、二四		
二、〇、〇〇	五、〇、〇〇	一、〇、〇〇	一、五、二、四	三、〇、〇〇	二、〇、二〇	五、〇、〇〇	三、〇、〇〇						三、〇、〇〇	二、六、〇〇							
一〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	五、〇〇〇	九、二、一三	九、四、〇〇	四、一、二〇	一三、八、〇〇	一七、五、〇〇	一〇、〇、〇〇	一〇、〇、〇〇	一五、〇、〇〇	一七、五、〇〇	一六、〇、〇〇	一三、〇、〇〇	一七、三、一〇	二〇、二、〇〇	二三、〇、〇〇	八、八、〇〇	二〇、五、〇〇	一〇、七、二四		
五、〇、〇〇	三、五、〇〇	一、八、〇〇	二、五、二、四	三、〇、〇〇	一、六、〇〇	四、五、〇〇	二、五、〇〇	二、〇、〇〇	一、三、〇〇	六、五、〇〇	一、八、二〇	一、五、〇〇	五、四、〇〇	二、六、〇〇	二、〇、〇〇	一、三、〇〇	三、〇、〇〇	三、〇、〇〇	二、五、〇〇		
一〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	三、五、〇〇	一、〇、〇〇	四、〇〇	四、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	九、一、五	一、五、〇〇	二、八、〇〇	四、四、〇〇	一、〇、〇〇	一、〇、〇〇	七、〇、〇〇	二、五、〇〇	五、四、二四				
六、〇、〇〇	三、五、〇〇	一、八、〇〇	二、五、二、四	三、〇、〇〇	二、〇、〇〇	四、五、〇〇	三、〇、〇〇	二、〇、〇〇	一、八、〇〇	六、五、〇〇	二、八、〇五	三、〇、〇〇	八、二、〇〇	七、〇、〇〇	三、〇、〇〇	二、三、〇〇	五、〇、〇〇	五、四、二四			

一 農林省ニ於ケル獎勵事業

本省農事試驗場、道府縣農事試驗場ニテ試驗研究ノ結果選出シタル米麥優良新品種ノ増殖配付ヲ行フ爲大正五年度米麥品種改良獎勵規則ヲ公布シ、米麥原種圃ヲ道府縣農事試驗場等ニ於テ直接經營スル場合ハ其ノ經費ニ對シ獎勵金ヲ交付シテ之ガ設置ヲ獎勵シ、超エテ大正八年度從來ノ米麥品種改良獎勵規則ヲ廢止シ新ニ主要食糧農産物改良増殖獎勵規則ヲ公布スルニ及ビ單ニ米麥ノミナラズ雜穀、甘藷、馬鈴薯原種圃ノ設置ヲ獎勵スルコト、シ、更ニ昭和二年度ヨリ小麥優良品種増殖普及助成金交付要項ニ依リ別途助成金ヲ交付シテ小麥原種圃ノ設置事業ヲ獎勵シ來リシガ、經費ノ關係上昭和六年度限雜穀、甘藷、馬鈴薯原種圃ニ對スル獎勵金ノ交付ヲ廢止シ專ラ米麥ニ關スル事業ヲ獎勵スルニ至レリ。斯クテ昭和七年度小麥増殖獎勵事業ノ施行ニ伴ヒ小麥原種圃設置獎勵ハ該事業中ニ編入シ爾來現行ノ如ク米原種圃及大麥、稗麥原種圃ノ兩者ニ付獎勵金ヲ交付シ之ガ設置ヲ助成シツ、アリ。

原種圃設置ニ對スル獎勵金ノ交付

イ 原種圃創設以來ノ年度別獎勵金交付總額

年 度	米原種圃		麥原種圃		雜穀甘藷原種圃		計	指數	年 度	米原種圃		麥原種圃		雜穀甘藷原種圃		計	指數
	種圃	種圃	種圃	種圃	種圃	種圃				種圃	種圃	種圃	種圃	種圃	種圃		
大正五年	二二、七九〇	〇	〇	〇	〇	〇	二二、七九〇	一〇〇	昭和元年	三一、八三〇	〇	〇	〇	〇	〇	三一、八三〇	一六八
同 六 年	二七、八七〇	〇	〇	〇	〇	〇	二七、八七〇	一二二	同 二 年	三二、四一〇	〇	〇	〇	〇	〇	三二、四一〇	一七一
同 七 年	二八、六三〇	〇	〇	〇	〇	〇	二八、六三〇	一二六	同 三 年	三二、二〇〇	〇	〇	〇	〇	〇	三二、二〇〇	一六三
同 八 年	二八、八三〇	〇	〇	〇	〇	〇	二八、八三〇	一四〇	同 四 年	三二、三五〇	〇	〇	〇	〇	〇	三二、三五〇	一四五
同 九 年	三〇、五二〇	〇	〇	〇	〇	〇	三〇、五二〇	一六七	同 五 年	二一、三三〇	〇	〇	〇	〇	〇	二一、三三〇	一四七
同 十 年	二七、一五〇	〇	〇	〇	〇	〇	二七、一五〇	一五一	同 六 年	一八、九七四	〇	〇	〇	〇	〇	一八、九七四	一三〇
同 十 一 年	三五、五八〇	〇	〇	〇	〇	〇	三五、五八〇	一八七	同 七 年	二〇、五三〇	〇	〇	〇	〇	〇	二〇、五三〇	一三八
同 十 二 年	三二、五六〇	〇	〇	〇	〇	〇	三二、五六〇	一七七	同 八 年	二一、九七〇	〇	〇	〇	〇	〇	二一、九七〇	一七八
同 十 三 年	三四、九〇〇	〇	〇	〇	〇	〇	三四、九〇〇	一八四	同 九 年	九、三三〇	〇	〇	〇	〇	〇	九、三三〇	一三七
同 十 四 年	三一、三五〇	〇	〇	〇	〇	〇	三一、三五〇	一七〇									

備考 麥原種圃ハ昭和八年度以降大麥、稗麥原種圃ト改メタリ

道府縣別獎勵金交付總額 (最近五ヶ年)

道府縣	昭和四年		同 五 年		同 六 年		同 七 年		同 八 年	
	米原種圃	雜穀甘藷原種圃	米原種圃	雜穀甘藷原種圃	米原種圃	雜穀甘藷原種圃	米原種圃	雜穀甘藷原種圃	米原種圃	雜穀甘藷原種圃
北海道	八〇〇	三〇〇	五〇〇	三〇〇	四〇〇	一〇〇	五〇〇	八〇	五〇〇	五〇〇
青森	七〇	二〇	五〇〇	一〇	四〇〇	一〇	五〇〇	一〇	五〇〇	五〇〇
岩手	六〇	一〇	五〇〇	一〇	四〇〇	一〇	五〇〇	一〇	五〇〇	五〇〇

平均	三、三三〇	五、一〇〇	三、三三〇	七、一三〇	四、九三〇	一、八七四	六、五〇〇	四、三三〇	二、〇五〇	六、三三〇	二、九七〇	九、三三〇
平均	七九	三、四七	四、七四	一、六二	三〇八	四三	一四八	三三	四六七	一五一	四六	三二七

備考 括弧内ハ所定ノ交付率ニ依ル査定額ニシテ實際ノ交付額ハ査定額ヨリ其ノ前々年度交付獎勵金ノ殘額ヲ差引タルモノトス

二 道府縣ニ於ケル事業

道府縣ニ於テハ毎年所要經費ヲ計上シ當該農事試驗場ニ主要食糧農産物ノ原種圃ヲ設置シ專任ノ職員ヲシテ之ガ經營ニ當ラシム。

(一) 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル道府縣ノ原種圃設置豫算額

1 原種圃創設以來ノ年度別事業豫算總額

年 度	米原種圃	雜穀甘藷	計	指 數	年 度	米原種圃	雜穀甘藷	計	指 數
大正五年	六九、〇八二	—	六九、〇八二	一〇〇	昭和元年	二七、三七三	—	二七、三七三	—
同 六 年	八七、九〇六	—	八七、九〇六	一二七	同 二 年	二八〇、四三八	—	二八〇、四三八	—
同 七 年	九一、九三〇	—	九一、九三〇	一三三	同 三 年	二八三、一四九	—	二八三、一四九	—
同 八 年	一〇六、八四四	—	一〇六、八四四	一五六	同 四 年	二六七、七六七	—	二六七、七六七	—
同 九 年	一五三、六九九	—	一五三、六九九	二二二	同 五 年	二〇一、六〇四	—	二〇一、六〇四	—
同 十 年	一八一、八八八	—	一八一、八八八	二二二	同 六 年	二〇二、〇九一	—	二〇二、〇九一	—
同 十 一 年	二二五、三九九	—	二二五、三九九	三二四	同 七 年	五三、二七二	—	五三、二七二	—
同 十 二 年	二七六、五六六	—	二七六、五六六	三九三	同 八 年	—	—	—	—
同 十 三 年	二四四、六五五	—	二四四、六五五	三五〇	同 九 年	—	—	—	—
同 十 四 年	二四、九四六	—	二四、九四六	三九〇	同 十 年	—	—	—	—
同 十 五 年	—	—	—	—	同 十 一 年	—	—	—	—
同 十 六 年	—	—	—	—	同 十 二 年	—	—	—	—
同 十 七 年	—	—	—	—	同 十 三 年	—	—	—	—
同 十 八 年	—	—	—	—	同 十 四 年	—	—	—	—
同 十 九 年	—	—	—	—	同 十 五 年	—	—	—	—
同 二十 年	—	—	—	—	同 十 六 年	—	—	—	—
同 二十 一 年	—	—	—	—	同 十 七 年	—	—	—	—
同 二十 二 年	—	—	—	—	同 十 八 年	—	—	—	—
同 二十 三 年	—	—	—	—	同 二十 年	—	—	—	—
同 二十 四 年	—	—	—	—	同 二十 一 年	—	—	—	—
同 二十 五 年	—	—	—	—	同 二十 二 年	—	—	—	—
同 二十 六 年	—	—	—	—	同 二十 三 年	—	—	—	—
同 二十 七 年	—	—	—	—	同 二十 四 年	—	—	—	—
同 二十 八 年	—	—	—	—	同 二十 五 年	—	—	—	—
同 二十 九 年	—	—	—	—	同 二十 六 年	—	—	—	—
同 三十 年	—	—	—	—	同 二十 七 年	—	—	—	—
同 三十 一 年	—	—	—	—	同 二十 八 年	—	—	—	—
同 三十 二 年	—	—	—	—	同 二十 九 年	—	—	—	—
同 三十 三 年	—	—	—	—	同 三十 年	—	—	—	—
同 三十 四 年	—	—	—	—	同 三十 一 年	—	—	—	—
同 三十 五 年	—	—	—	—	同 三十 二 年	—	—	—	—
同 三十 六 年	—	—	—	—	同 三十 三 年	—	—	—	—
同 三十 七 年	—	—	—	—	同 三十 四 年	—	—	—	—
同 三十 八 年	—	—	—	—	同 三十 五 年	—	—	—	—
同 三十 九 年	—	—	—	—	同 三十 六 年	—	—	—	—
同 四十 年	—	—	—	—	同 三十 七 年	—	—	—	—
同 四十 一 年	—	—	—	—	同 三十 八 年	—	—	—	—
同 四十 二 年	—	—	—	—	同 三十 九 年	—	—	—	—
同 四十 三 年	—	—	—	—	同 四十 年	—	—	—	—
同 四十 四 年	—	—	—	—	同 四十 一 年	—	—	—	—
同 四十 五 年	—	—	—	—	同 四十 二 年	—	—	—	—
同 四十 六 年	—	—	—	—	同 四十 三 年	—	—	—	—
同 四十 七 年	—	—	—	—	同 四十 四 年	—	—	—	—
同 四十 八 年	—	—	—	—	同 四十 五 年	—	—	—	—
同 四十 九 年	—	—	—	—	同 四十 六 年	—	—	—	—
同 五十 年	—	—	—	—	同 四十 七 年	—	—	—	—

備考	麥原種圃ハ昭和八年度以降大麥、稈麥原種圃ト改メタリ
----	---------------------------

道府縣別事業豫算額 (最近五ヶ年)

道府縣	昭和四年	同 五 年	同 六 年	同 七 年	同 八 年
北海道	六、四八九	三、一九七	一、三六六	三、二四四	三、八三三
青森	三、九五六	一、四八五	一、三九八	三、五七二	三、二一八
岩手	三、三六七	二、七〇五	二、五二二	一、四三三	一、二九二
宮城	三、九七一	三、三三二	三、三三七	三、九四〇	三、二〇一
秋田	二、四一一	二、三九四	二、一九三	一、八五八	一、九三三
山形	三、一〇九	一、九九二	一、九〇七	一、七四四	一、四六六
福島	三、三三九	二、一六七	二、三三三	二、二七二	七、〇〇九
茨城	五、五五一	四、四四〇	八、八九四	七、三三三	六、二七一
栃木	四、〇四一	二、五四九	二、五五九	二、三三七	六、五七四
群馬	三、三九一	二、六六六	二、五九一	二、五二二	二、六二七
馬場	五、八四四	三、六五四	三、四四四	三、一八八	三、二五三
千葉	二、七三二	一、八二三	一、九三三	一、九三三	七、六三三

東	神	新	富	石	福	山	長	岐	靜	愛	三	滋	京	大	兵	奈	和	鳥	鳥	岡	廣
京	奈	川	山	川	山	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野	野
二,九〇三	一〇,〇二二	一〇,〇二二	一〇,〇二二	一〇,〇二二	一〇,〇二二	一〇,〇二二	一〇,〇二二	一〇,〇二二	一〇,〇二二	一〇,〇二二	一〇,〇二二	一〇,〇二二	一〇,〇二二	一〇,〇二二	一〇,〇二二	一〇,〇二二	一〇,〇二二	一〇,〇二二	一〇,〇二二	一〇,〇二二	
二,三三八	七,五五五	二,一六一	四,三三九	六,〇七七	二,二二五	一,八八六	五,一八七	三,六八〇	五,五〇〇	一,八九〇	一,〇〇六	三,四〇六	一,〇〇六	三,一〇一	二,六〇〇	一,一四八	七,三三三	一,六三三	四,四二二	一,二九八	
四,五〇〇	一,五六一	四,六三二	三,八六六	九,四〇〇	一,七七一	三,四二一	一,九六一	六,七七七	五,〇九六	一,八九〇	三,四二六	九,四〇〇	一,一四八	二,五九六	一,一〇〇	三,九〇〇	七,三三三	一,六三三	四,四二二	一,二九八	
二,二四一	六,九九九	一〇,七一一	六,八八二	五,〇七七	二,六四六	一,九六八	四,九九〇	五,〇九三	五,〇九六	一,〇七五	八,三四一	二,八三三	二,五九六	一,六三三	一,六三三	一,六三三	一,五七一	二,八八一	二,三三九	二,五五五	
三,五五五	一,四八八	四,四二二	六,六六六	六,八八二	六,八八二	二,三三三	一,六六三	七,四四五	一,〇七五	一,四一七	三,八五三	八,七〇〇	一,一〇〇	三,九〇〇	三,九〇〇	三,九〇〇	六,五七一	四,四二二	一,〇二二	一,四七九	
二,〇二二	六,九九九	九,九九九	六,四七四	五,〇五〇	二,二二二	一,八三三	三,九九二	五,六〇四	四,六六九	一,五〇〇	七,九四三	二,七〇〇	二,三三三	一,六〇九	一,六〇九	一,六〇九	一,三三三	二,七七一	二,三三三	五,二四四	
三,〇二二	一,四八八	四,二二二	四,九七三	六,九九九	六,九九九	一,七七一	一,七七一	七,七五	七,五	八,六	三,七六	七,〇四三	二,八五五	一,〇三二	一,〇三二	一,〇三二	五,八二二	四,六六六	九,〇九九	一,三三七	
一,七三三	五,四〇六	九,三三三	五,一七三	四,六八〇	二,〇二二	一,七七一	一,七七一	三,七三四	五,三三三	四,二七七	二,二〇四	七,〇四三	二,八五五	一,九三二	一,九三二	一,九三二	二,〇二二	一,九九九	二,八三三	三,八三三	
三,〇二二	一,一六〇	三,九九九	七,九九九	七,九九九	六,九九九	一,三三三	一,三三三	一,三三三	一,三三三	一,三三三	一,三三三	一,三三三	一,三三三	一,三三三	一,三三三	一,三三三	一,三三三	一,三三三	一,三三三	一,三三三	
一,〇二二	一,〇二二	一,〇二二	一,〇二二	一,〇二二	一,〇二二	一,〇二二	一,〇二二	一,〇二二	一,〇二二	一,〇二二	一,〇二二	一,〇二二	一,〇二二	一,〇二二	一,〇二二	一,〇二二	一,〇二二	一,〇二二	一,〇二二	一,〇二二	

山	德	香	愛	高	福	佐	長	熊	大	宮	鹿	沖	平
口	島	川	媛	知	岡	賀	崎	本	分	崎	島	繩	計
六,六〇〇	五,九九三	二,五〇〇	三,六六六	九,九二二	七,二二二	二,八八八	六,三三三	三,三三三	一〇,五五五	九,九九九	二,九九九	二,九九九	三,七七一
四,八七七	三,七七五	二,一九七	二,四七三	七,七四一	九,六〇七	一,八八八	四,三三七	八,八〇六	六,六六六	一,六六七	二,一〇五	二,〇〇〇	二,二二二
一,二八八	一,六六六	七,三三三	九,九〇〇	二,八〇三	一,六六六	六,六六七	一,七一一	九,九九九	二,三三七	二,九四三	三,三三三	五,七一一	二,二二二
四,七五五	三,三三三	二,二二二	一,〇〇〇	二,三三三	八,九九九	一,五五五	三,〇〇〇	一,〇二二	六,三三三	一,五六一	一,九〇〇	二,〇二二	二,〇二二
一,一八五	一,五三三	二,二二二	二,三三三	二,八八八	一,八八八	六,〇〇〇	四,一五九	一,八二二	六,〇〇〇	二,二二二	二,〇二二	二,〇二二	二,〇二二
四,三三三	三,〇二二	二,二二二	二,二二二	二,二二二	八,九九九	一,五五五	一,五五五	一,五五五	二,二二二	二,二二二	二,二二二	二,二二二	二,二二二
一,〇二二	一,〇二二	一,〇二二	一,〇二二	一,〇二二	一,〇二二	一,〇二二	一,〇二二	一,〇二二	一,〇二二	一,〇二二	一,〇二二	一,〇二二	一,〇二二
一,〇二二	一,〇二二	一,〇二二	一,〇二二	一,〇二二	一,〇二二	一,〇二二	一,〇二二	一,〇二二	一,〇二二	一,〇二二	一,〇二二	一,〇二二	一,〇二二
一,〇二二	一,〇二二	一,〇二二	一,〇二二	一,〇二二	一,〇二二	一,〇二二	一,〇二二	一,〇二二	一,〇二二	一,〇二二	一,〇二二	一,〇二二	一,〇二二
一,〇二二	一,〇二二	一,〇二二	一,〇二二	一,〇二二	一,〇二二	一,〇二二	一,〇二二	一,〇二二	一,〇二二	一,〇二二	一,〇二二	一,〇二二	一,〇二二

(二) 獎勵品種普及計畫

道府縣ニ於テハ各作物別ニ其ノ地方の事情ヲ考慮シ最適ト認ムル計畫ヲ樹テ獎勵品種ノ普及ヲ圖
 リツ、アリ。
 昭和八年度道府縣ニ於ケル米、大麥及稗麥獎勵品種更新割合及更新年數ハ左表ノ如クニシテ、既
 ニ獎勵金ノ交付ヲ廢止セル雜穀、甘藷、馬鈴薯ニ付テモ其ノ必要アル地方ニ於テハ夫々其ノ地方

山梨	長野	岐阜	静岡	愛知	三河	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	鳥取	島根	岡山	広島	山口	徳島	香川	愛媛	高知	福岡	
梨野	野梨	野梨	野梨	野梨	野梨	野梨	野梨	野梨	野梨	野梨	野梨	野梨	野梨	野梨	野梨	野梨	野梨	野梨	野梨	野梨	野梨	野梨
六割八分	七割二分	八割二分	八割二分	八割二分	八割二分	八割二分	八割二分	八割二分	八割二分	八割二分	八割二分	八割二分	八割二分	八割二分	八割二分	八割二分	八割二分	八割二分	八割二分	八割二分	八割二分	八割二分
二ヶ年	二ヶ年	二ヶ年	二ヶ年	二ヶ年	二ヶ年	二ヶ年	二ヶ年	二ヶ年	二ヶ年	二ヶ年	二ヶ年	二ヶ年	二ヶ年	二ヶ年	二ヶ年	二ヶ年	二ヶ年	二ヶ年	二ヶ年	二ヶ年	二ヶ年	二ヶ年
五割五分	六割二分	六割二分	六割二分	六割二分	六割二分	六割二分	六割二分	六割二分	六割二分	六割二分	六割二分	六割二分	六割二分	六割二分	六割二分	六割二分	六割二分	六割二分	六割二分	六割二分	六割二分	六割二分
二ヶ年	二ヶ年	二ヶ年	二ヶ年	二ヶ年	二ヶ年	二ヶ年	二ヶ年	二ヶ年	二ヶ年	二ヶ年	二ヶ年	二ヶ年	二ヶ年	二ヶ年	二ヶ年	二ヶ年	二ヶ年	二ヶ年	二ヶ年	二ヶ年	二ヶ年	二ヶ年
八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八
計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計
八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八
六割三分	七割二分	七割二分	七割二分	七割二分	七割二分	七割二分	七割二分	七割二分	七割二分	七割二分	七割二分	七割二分	七割二分	七割二分	七割二分	七割二分	七割二分	七割二分	七割二分	七割二分	七割二分	七割二分
二ヶ年	二ヶ年	二ヶ年	二ヶ年	二ヶ年	二ヶ年	二ヶ年	二ヶ年	二ヶ年	二ヶ年	二ヶ年	二ヶ年	二ヶ年	二ヶ年	二ヶ年	二ヶ年	二ヶ年	二ヶ年	二ヶ年	二ヶ年	二ヶ年	二ヶ年	二ヶ年
八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八
八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八
三割五分	三割五分	三割五分	三割五分	三割五分	三割五分	三割五分	三割五分	三割五分	三割五分	三割五分	三割五分	三割五分	三割五分	三割五分	三割五分	三割五分	三割五分	三割五分	三割五分	三割五分	三割五分	三割五分
三ヶ年	三ヶ年	三ヶ年	三ヶ年	三ヶ年	三ヶ年	三ヶ年	三ヶ年	三ヶ年	三ヶ年	三ヶ年	三ヶ年	三ヶ年	三ヶ年	三ヶ年	三ヶ年	三ヶ年	三ヶ年	三ヶ年	三ヶ年	三ヶ年	三ヶ年	三ヶ年

五五

北海道	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	東京	神奈川	新潟	富山	石川	福井
水	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水
更新割合	更新割合	更新割合	更新割合	更新割合	更新割合	更新割合	更新割合	更新割合	更新割合	更新割合	更新割合	更新割合	更新割合	更新割合	更新割合	更新割合	更新割合
更新年数	更新年数	更新年数	更新年数	更新年数	更新年数	更新年数	更新年数	更新年数	更新年数	更新年数	更新年数	更新年数	更新年数	更新年数	更新年数	更新年数	更新年数
陸	陸	陸	陸	陸	陸	陸	陸	陸	陸	陸	陸	陸	陸	陸	陸	陸	陸
更新割合	更新割合	更新割合	更新割合	更新割合	更新割合	更新割合	更新割合	更新割合	更新割合	更新割合	更新割合	更新割合	更新割合	更新割合	更新割合	更新割合	更新割合
更新年数	更新年数	更新年数	更新年数	更新年数	更新年数	更新年数	更新年数	更新年数	更新年数	更新年数	更新年数	更新年数	更新年数	更新年数	更新年数	更新年数	更新年数
大	大	大	大	大	大	大	大	大	大	大	大	大	大	大	大	大	大
更新割合	更新割合	更新割合	更新割合	更新割合	更新割合	更新割合	更新割合	更新割合	更新割合	更新割合	更新割合	更新割合	更新割合	更新割合	更新割合	更新割合	更新割合
更新年数	更新年数	更新年数	更新年数	更新年数	更新年数	更新年数	更新年数	更新年数	更新年数	更新年数	更新年数	更新年数	更新年数	更新年数	更新年数	更新年数	更新年数
稈	稈	稈	稈	稈	稈	稈	稈	稈	稈	稈	稈	稈	稈	稈	稈	稈	稈
更新割合	更新割合	更新割合	更新割合	更新割合	更新割合	更新割合	更新割合	更新割合	更新割合	更新割合	更新割合	更新割合	更新割合	更新割合	更新割合	更新割合	更新割合
更新年数	更新年数	更新年数	更新年数	更新年数	更新年数	更新年数	更新年数	更新年数	更新年数	更新年数	更新年数	更新年数	更新年数	更新年数	更新年数	更新年数	更新年数

的事情ニ則シ計畫ヲ樹テ以テ之ガ増殖普及ニ努メツ、アリ

五四

鹿兒島	宮崎	大分	熊本	熊本	長崎	佐賀
八	八	八	八	八	九	八
割	割	割	割	割	割	割
二	二	每	每	三	每	每
ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ
年	年	年	年	年	年	年
八	八	八	八	八	八	八
割	割	割	割	割	割	割
二	二	每	每	二	二	二
ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ
年	年	年	年	年	年	年
八	八	八	八	八	八	八
割	割	割	割	割	割	割
三	三	四	四	四	四	四
ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ
年	年	年	年	年	年	年
八	八	八	七	五	七	七
割	割	割	割	割	割	割
五	五	三	二	四	四	四
ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ
年	年	年	年	年	年	年

(三) 原種圃ノ面積及其ノ生産種苗配付數量

イ 創設以來ノ年度別原種圃總面積及其ノ生産種苗配付總數量

(1) 米麥原種圃

年度	獎勵金ヲ交付セル原種圃ノ面積		同上原種圃ヨリノ種子配付數量	
	實數	指數	實數	指數
大正五年	三二・四	一〇〇	六二・八	一〇〇
同六年	四〇・六	一二五	七六・三	一二一
同七年	四〇・〇	一二三	六九・三	一一〇
同八年	三九・九	一二三	七一・八	一一四
同九年	三八・〇	一一七	七八・九	一二六
同十年	三九・七	一二三	七三・八	一一七
計	三二・四	一〇〇	六二・八	一〇〇

年度	實數	指數	實數	指數	實數	指數	實數	指數	實數	指數	實數	指數
大正五年	五八・三	一八〇	四六・九	二一八	一〇五・二	一九五	一・一二三	一七九	四八二	二〇六		
同六年	六一・六	一九〇	六一・六	二八七	一一三・二	二二九	一・四〇〇	二二三	六八二	二九一		
同七年	六七・三	二〇八	六二・七	二九二	一一三・〇	二四一	一・六五九	二六四	九〇三	三五三		
同八年	七五・八	二二三	六三・八	二九七	一一三・〇	二五九	一・八五九	二九六	八七〇	三七二		
同九年	八二・三	二五四	六四・九	三〇二	一四七・二	二七三	二・一六七	三四五	八八九	三八〇		
同十年	八九・八	二七五	六四・八	三〇一	一五四・六	二八七	二・三二一	三七〇	九〇八	三八八		
同十一年	九二・二	二八五	六三・〇	二九三	一五五・二	二八八	二・四五〇	三九〇	八〇七	三四五		
同十二年	九四・七	二九二	五八・三	二七一	一四八・〇	二七五	二・七三五	四三四	八五八	三六七		
同十三年	一〇〇・四	三一〇	五六・〇	二六〇	一五六・四	二九〇	二・六五三	四二二	八五五	三六五		
同十四年	一〇一・八	三一四	五一・三	二三九	一五三・一	二八四	二・七八七	四四四	七六二	三二六		
同十五年	一二六・六	三九一	五四・三	二五三	一八〇・九	三三六	三・二一四	五一二	八八三	三七七		
計	五八・三	一八〇	四六・九	二一八	一〇五・二	一九五	一・一二三	一七九	四八二	二〇六		

備考 原種圃ノ面積トハ其ノ作付面積ヲ謂フ(以下做之)

(2) 雜穀、甘藷、馬鈴薯原種圃

(A) 原種圃ノ面積

年度	獎勵金ヲ交付セル原種圃ノ面積												
大正八年	甘藷	馬鈴薯	大豆	粟	玉蜀黍	小豆	菜豆	碗豆	蠶豆	蕎麥	黍	稗	計
	六・〇	七・〇	二五・〇	五・五	一	一	一	一	一	一	一	一	三八・五

北海道	道府縣	昭和四年	同五年	同六年	同七年	同八年(計畫)	
		面積	一六・九	一九・九	二〇・四	三〇・六	三六・八
		種子配付量	三〇・〇	三三・〇	三六・三	四五・八	六七・〇
		面積	一六・九	一九・九	二〇・四	三〇・六	三六・八
		種子配付量	三〇・〇	三三・〇	三六・三	四五・八	六七・〇
		面積	一六・九	一九・九	二〇・四	三〇・六	三六・八
		種子配付量	三〇・〇	三三・〇	三六・三	四五・八	六七・〇
		面積	一六・九	一九・九	二〇・四	三〇・六	三六・八

(1) 米
道府縣別原種圃面積及其ノ生産種苗配付數量 (最近五ヶ年)

同六年	同五年	同四年	同三年	同二年	昭和元年	同十四年	同十三年	同十二年	同十一年
六九八、四八〇	二六八、八一〇	一九九、九三二	五六六、四九〇	二四一、五一一	八五五、六二五	九三四、〇五五	八八三、九三三	二〇三、四二五	一八一、四〇七
七、七七八	五、九〇一	六、七四二	三、八七八	一、〇〇五	二、四二八	一、一八六	二、二八四	三、七〇五	三、六六五
六六・五	五七・二	四九・九	四七・六	四四・九	四三・五	四五・三	四一・五	三七・一	四〇・三
一・五	一・二	一・三	一・一	一・三	一・三	九	九	六	六
・六	・	・	六・七	一・三	一・〇	一・四	一・二	一・三	・八
一・九	一・五	・七	二・六	八・七	七・七	六・二	五・六	一・八	一・八
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
一・八	二・三	一・五	一・五	一・六	一・三	一・四	一・〇	・	・
・	・	・	〇・二	〇・二	〇・二	〇・二	〇・三	・	・
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・

同十年	同九年	大正八年	年
一七九、五四五	一三八、四〇八	三七、九〇七	甘 薯
四、四六六	六、八九四	一、三六四	馬鈴薯
二五・〇	二九・八	一九・七	大豆
・六	・六	・五	粟
一・〇	・七	・	玉蜀黍
一・七	・	・	小豆
・六	・五	・	菜豆
・	・	・	豌豆
・	・	・	蠶豆
・	・	・	蕎麥
・	・	・	黍
・	・	・	稗

(B) 原種圃生産種苗ノ配付數量

同六年	同五年	同四年	同三年	同二年	昭和元年	同十四年	同十三年	同十二年	同十一年	同十年	同九年
四七・七	四四・七	四三・七	三八・七	三一・七	三〇・六	三二・六	三二・六	四一・六	二八・八	三〇・六	二八・八
三四・七	三五・七	三五・五	一五・〇	九・〇	九・〇	一〇・〇	一六・〇	二六・二	二二・二	二五・七	八五・三
八三・二	八〇・七	七四・七	六八・七	六八・九	六五・九	六九・八	七〇・二	七五・〇	五六・〇	四〇・五	五三・〇
一・二	・七	・六	・六	・六	・六	・六	・五	・五	・五	・五	・五
一・〇	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
二・八	二・三	二・三	一・四	一・四	一・三	一・三	三・五	三・五	三・五	四・〇	七・三
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
一七三・一	一六六・一	一五八・九	一四〇・八	一二七・九	一二三・九	一二九・五	一三七・〇	一五一・六	一〇〇・六	一〇〇・六	一八三・七

千	東	神	新	富	石	福	山	長	岐	靜	愛	三	滋	大	兵	奈	和	鳥	島	岡
七〇	七〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇
七・六	六・二	四・七	四・一	三・六	三・一	二・五	二・〇	一・五	一・〇	〇・五	〇・〇	〇・五	一・〇	一・五	二・〇	二・五	三・〇	三・五	四・〇	四・五
七〇	七〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇
七・六	六・二	四・七	四・一	三・六	三・一	二・五	二・〇	一・五	一・〇	〇・五	〇・〇	〇・五	一・〇	一・五	二・〇	二・五	三・〇	三・五	四・〇	四・五
七〇	七〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇
七・六	六・二	四・七	四・一	三・六	三・一	二・五	二・〇	一・五	一・〇	〇・五	〇・〇	〇・五	一・〇	一・五	二・〇	二・五	三・〇	三・五	四・〇	四・五
七〇	七〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇
七・六	六・二	四・七	四・一	三・六	三・一	二・五	二・〇	一・五	一・〇	〇・五	〇・〇	〇・五	一・〇	一・五	二・〇	二・五	三・〇	三・五	四・〇	四・五
七〇	七〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇
七・六	六・二	四・七	四・一	三・六	三・一	二・五	二・〇	一・五	一・〇	〇・五	〇・〇	〇・五	一・〇	一・五	二・〇	二・五	三・〇	三・五	四・〇	四・五

北	青	岩	宮	秋	山	福	山	長	岐	靜	愛	三	滋	大	兵	奈	和	鳥	島	岡
三・七	三・五	三・〇	二・五	二・〇	一・五	一・〇	〇・五	〇・〇	〇・五	一・〇	一・五	二・〇	二・五	三・〇	三・五	四・〇	四・五	五・〇	五・五	六・〇
三・七	三・五	三・〇	二・五	二・〇	一・五	一・〇	〇・五	〇・〇	〇・五	一・〇	一・五	二・〇	二・五	三・〇	三・五	四・〇	四・五	五・〇	五・五	六・〇
三・七	三・五	三・〇	二・五	二・〇	一・五	一・〇	〇・五	〇・〇	〇・五	一・〇	一・五	二・〇	二・五	三・〇	三・五	四・〇	四・五	五・〇	五・五	六・〇
三・七	三・五	三・〇	二・五	二・〇	一・五	一・〇	〇・五	〇・〇	〇・五	一・〇	一・五	二・〇	二・五	三・〇	三・五	四・〇	四・五	五・〇	五・五	六・〇
三・七	三・五	三・〇	二・五	二・〇	一・五	一・〇	〇・五	〇・〇	〇・五	一・〇	一・五	二・〇	二・五	三・〇	三・五	四・〇	四・五	五・〇	五・五	六・〇
三・七	三・五	三・〇	二・五	二・〇	一・五	一・〇	〇・五	〇・〇	〇・五	一・〇	一・五	二・〇	二・五	三・〇	三・五	四・〇	四・五	五・〇	五・五	六・〇
三・七	三・五	三・〇	二・五	二・〇	一・五	一・〇	〇・五	〇・〇	〇・五	一・〇	一・五	二・〇	二・五	三・〇	三・五	四・〇	四・五	五・〇	五・五	六・〇
三・七	三・五	三・〇	二・五	二・〇	一・五	一・〇	〇・五	〇・〇	〇・五	一・〇	一・五	二・〇	二・五	三・〇	三・五	四・〇	四・五	五・〇	五・五	六・〇
三・七	三・五	三・〇	二・五	二・〇	一・五	一・〇	〇・五	〇・〇	〇・五	一・〇	一・五	二・〇	二・五	三・〇	三・五	四・〇	四・五	五・〇	五・五	六・〇

(2) 麥

備考 一、本表中面積ノ合計ガ其ノ内譯ト符合セザルハ内譯ノ面積ヲ畝以下切捨テタルニ依ル
 二、本表中ノ括弧内ハ獎勵金ヲ交付セザルモノニシテ計及平均ニハ之ヲ含マズ

沖	鹿	平
九・四	九・四	九・四
(一・〇)	(一・〇)	(一・〇)
二・七・八	二・七・八	二・七・八
九・四	九・四	九・四
(一・〇)	(一・〇)	(一・〇)
二・七・八	二・七・八	二・七・八
九・四	九・四	九・四
(一・〇)	(一・〇)	(一・〇)
二・七・八	二・七・八	二・七・八
九・四	九・四	九・四
(一・〇)	(一・〇)	(一・〇)
二・七・八	二・七・八	二・七・八
九・四	九・四	九・四
(一・〇)	(一・〇)	(一・〇)
二・七・八	二・七・八	二・七・八
九・四	九・四	九・四
(一・〇)	(一・〇)	(一・〇)
二・七・八	二・七・八	二・七・八

道縣	作物名	昭和二年		同三年		同四年		同五年		同六年	
		原種圃面積	種苗配付量	原種圃面積	種苗配付量	原種圃面積	種苗配付量	原種圃面積	種苗配付量	原種圃面積	種苗配付量
廣島	馬鈴薯	一七・七	二八・一	一八・一	二九・〇	一八・四	二七・九	一三・八	二四・四	一三・八	二三・三
	山口	一九・〇	一三・八	一九・〇	二〇・九	一九・〇	一九・三	一九・〇	二四・五	一九・〇	二八・五
山形	馬鈴薯	一〇・〇	一一・三	一〇・〇	一五・九	一〇・〇	一九・五	一〇・〇	二二・六	一〇・〇	二〇・〇
	徳島	一〇・〇	一一・三	一〇・〇	一五・九	一〇・〇	一九・五	一〇・〇	二二・六	一〇・〇	二〇・〇
香川	馬鈴薯	八・三	一六・〇	七・〇	一五・六	六・九	一五・一	七・〇	一六・〇	六・九	一一・〇
	愛媛	五・〇	五・四	五・〇	六・三	五・二	七・六	五・一	五・四	五・〇	六・〇
高知	馬鈴薯	一五・〇	二二・三	一五・〇	二二・七	一五・〇	二〇・一	七・五	一一・六	三・三	五・〇
	福岡	六・八	六・九	三・七	三・七	三・三	三・八	一・六	二・〇	二・〇	三・〇
佐賀	馬鈴薯	一五・〇	二二・三	一五・〇	二二・七	一五・〇	二〇・一	七・五	一一・六	三・三	五・〇
	熊本	四・七	四・六	四・七	五・二	四・七	三・九	三・一	三・二	三・一	三・一
熊本	馬鈴薯	三九・二	四九・六	三九・二	五七・四	三九・二	五七・五	三三・四	四四・八	三三・四	四四・九
	大分	四・七	四・六	四・七	五・二	四・七	三・九	三・一	三・二	三・一	三・一
鹿島	馬鈴薯	七・九	一〇・五	七・九	一〇・九	七・九	一〇・五	六・〇	七・九	六・〇	八・八
	沖繩	七・九	一〇・五	七・九	一〇・九	七・九	一〇・五	六・〇	七・九	六・〇	八・八
平	馬鈴薯	一四・三	一八・三	一三・三	一九・五	一四・三	一九・四	一三・三	一八・六	一三・三	一九・五
	平均	一四・三	一八・三	一三・三	一九・五	一四・三	一九・四	一三・三	一八・六	一三・三	一九・五

備考 前表ノ備考参照、但昭和七年ノ計及平均ニハ福岡縣ノ分ヲ含まズ

(3) 雜穀、甘藷、馬鈴薯

長 佐 福 高 愛 香 德 山 廣 岡 島 鳥 和 奈 兵 大 京 滋 三 愛 靜 岐

歌

崎 賀 岡 知 媛 川 島 口 島 山 根 取 山 良 庫 阪 都 賀 重 知 岡 阜

一・〇・〇・〇
四・一・〇・〇
五・二・〇・〇
一・七・二・〇
一・〇・〇・〇
一・五・〇・〇
二・〇・〇・〇
二・四・〇・〇
二・五・〇・〇
二・八・〇・〇
一・七・七・〇
一・〇・〇・〇
一・〇・〇・〇
五・二・〇・〇
一・〇・〇・〇
三・四・八・〇
五・五・〇・〇
三・〇・〇・〇
八・〇・〇・〇
三・〇・〇・〇
三・六・七・〇

二・〇・〇
一・〇・二・二
五・〇・〇
二・〇・〇

一・〇・〇・〇
四・一・〇・〇
五・二・〇・〇
一・七・二・〇
一・〇・〇・〇
一・五・〇・〇
二・〇・〇・〇
二・四・〇・〇
二・五・〇・〇
二・八・〇・〇
一・七・七・〇
一・〇・〇・〇
一・〇・〇・〇
五・二・〇・〇
一・〇・〇・〇
三・五・八・二
五・五・〇・〇
三・五・〇・〇
八・五・〇・〇
三・〇・〇・〇
三・八・七・〇

三・四・二
一・二・九・九
一・五・六・〇
四・八・二
一・五・〇
二・七・〇
四・六・一
六・〇・〇
六・二・〇
七・五・〇
八・四・〇
四・〇・七
三・〇・〇
三・五・〇
一・五・六・〇
七・六
二・〇・〇
一・〇・〇
八・七・〇
二・六・一・六
七・五・〇
九・九・一

三・四
二・七・二
二・三

一・〇・二・一
七・五・〇
二・六・八・八
八・九・三
一・〇・〇
二・〇・〇
七・六
一・五・六・〇
三・五・〇
三・〇・〇
四・〇・七
八・四・〇
七・五・〇
六・二・〇
六・〇・〇
四・六・一
二・七・〇
一・五・三
四・八・二
一・五・六・〇
一・二・九・九
三・四・二

長 山 福 石 富 新 神 東 千 埼 群 栃 茨 福 山 秋 宮 岩 青 北

奈

野 梨 井 川 山 湯 川 京 葉 玉 馬 木 城 島 形 田 城 手 森 道

三・五・〇・〇
四・六・〇・〇
一・〇・〇・〇
三・〇・〇・〇
三・七・〇・〇
五・九・〇・〇
四・〇・〇・〇
三・〇・〇・〇
四・三・〇・〇
九・四・二・五
一・〇・〇・〇
二・五・〇・〇
五・〇・〇・〇
四・〇・〇・〇
五・〇・〇・〇
七・五・〇・〇
一・〇・五・〇
六・〇・〇・〇
一・一・五・〇
二・六・八・一・二

四・〇・〇
二・〇・〇
二・二・〇・〇
三・〇・〇
六・〇・〇
四・二・二・四
七・〇・〇
四・四・〇・〇
一・〇・〇・〇
四・二・〇・〇
二・五・〇・〇
六・〇・〇
二・〇・〇

三・五・〇・〇
五・〇・〇・〇
一・〇・〇・〇
三・〇・〇・〇
三・七・〇・〇
六・一・〇・〇
六・二・〇・〇
四・九・〇・〇
六・〇・〇・〇
一・三・七・一・九
一・七・〇・〇
一・七・〇・〇
六・九・〇・〇
六・〇・〇・〇
四・四・二・〇
五・〇・〇・〇
一・〇・〇・〇
一・〇・五・〇
六・〇・〇・〇
一・七・五・〇
二・六・八・一・二

九・〇・〇
一・二・九
二・七・五
九・〇・〇
九・二・二
一・八・〇
八・〇・〇
七・五
八・四・五
二・六・四
二・五・〇
六・九・二
一・七・六・〇
八・〇・〇
一・〇・〇
一・八・八
二・五・〇
二・二・八
二・三・〇
六・七・〇

八
二・〇
三・九・六
八・五
一・〇・八
一・〇・〇
六・六・〇
一・五・〇
五・〇
二・五
一・二・〇

九・〇・〇
一・三・七
二・七・五
九・〇・〇
九・二・二
一・二・〇
一・九・六
八・一
九・三・〇
三・七・二
三・五・〇
一・三・五・二
一・九・一・〇
八・五・〇
一・〇・〇
二・一・三
二・五・〇
二・二・八
三・五・〇
六・七・〇

道府縣

水 原種

陸 圃ノ面積

計

水 同上原種圃ヨリノ種子配付豫定數量

陸 稻

計

島 鳥 和 奈 兵 大 京 滋 三 愛 靜 岐 長 山 福 石 富 新 神 東 千 埼

歌 奈

根 取 山 良 庫 阪 都 賀 重 知 岡 阜 野 梨 井 川 山 湯 川 京 葉 玉

二〇〇〇	三六〇〇	六〇〇〇	三〇〇〇	三二〇〇	二二〇〇	九一〇〇	一九〇〇	一一八〇	五〇〇〇	一七〇〇	五〇〇〇	六四〇〇	三九〇〇	二五〇〇	二〇〇〇	一一〇〇	八二一六
一一六〇	八〇〇〇	一〇〇〇	一五四〇	四二〇〇	三〇〇〇	一五二〇	一四〇〇	五九〇〇	三〇〇〇	二二〇〇	一〇〇〇	二〇〇〇	一一〇〇	五〇〇〇	一一二二		
一三六〇	八〇〇〇	一〇〇〇	一五四〇	四二〇〇	三〇〇〇	一五二〇	一四〇〇	五九〇〇	三〇〇〇	二二〇〇	一〇〇〇	二〇〇〇	一一〇〇	五〇〇〇	一一二二		
二〇〇〇	三六〇〇	六〇〇〇	三〇〇〇	三二〇〇	二二〇〇	九一〇〇	一九〇〇	一一八〇	五〇〇〇	一七〇〇	五〇〇〇	六四〇〇	三九〇〇	二五〇〇	二〇〇〇	一一〇〇	八二一六
一三六〇	八〇〇〇	一〇〇〇	一五四〇	四二〇〇	三〇〇〇	一五二〇	一四〇〇	五九〇〇	三〇〇〇	二二〇〇	一〇〇〇	二〇〇〇	一一〇〇	五〇〇〇	一一二二		
二〇〇〇	三六〇〇	六〇〇〇	三〇〇〇	三二〇〇	二二〇〇	九一〇〇	一九〇〇	一一八〇	五〇〇〇	一七〇〇	五〇〇〇	六四〇〇	三九〇〇	二五〇〇	二〇〇〇	一一〇〇	八二一六
二〇〇〇	三六〇〇	六〇〇〇	三〇〇〇	三二〇〇	二二〇〇	九一〇〇	一九〇〇	一一八〇	五〇〇〇	一七〇〇	五〇〇〇	六四〇〇	三九〇〇	二五〇〇	二〇〇〇	一一〇〇	八二一六

七一

栃 茨 福 山 秋 宮 岩 青 北
馬 木 城 島 形 田 城 手 森 道

道 府 縣

五五〇〇	二七〇〇	一一〇〇	三一〇〇	六〇〇〇	五〇〇〇	三七〇〇	(一〇〇〇)
一〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	三〇〇〇	一〇〇〇	三〇〇〇	(一)	
五五〇〇	二七〇〇	一一〇〇	三一〇〇	六〇〇〇	五〇〇〇	三七〇〇	(一〇〇〇)
一〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	三〇〇〇	一〇〇〇	三〇〇〇	(一)	
五五〇〇	二七〇〇	一一〇〇	三一〇〇	六〇〇〇	五〇〇〇	三七〇〇	(一〇〇〇)
一〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	三〇〇〇	一〇〇〇	三〇〇〇	(一)	
五五〇〇	二七〇〇	一一〇〇	三一〇〇	六〇〇〇	五〇〇〇	三七〇〇	(一〇〇〇)
一〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	三〇〇〇	一〇〇〇	三〇〇〇	(一)	
五五〇〇	二七〇〇	一一〇〇	三一〇〇	六〇〇〇	五〇〇〇	三七〇〇	(一〇〇〇)
一〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	三〇〇〇	一〇〇〇	三〇〇〇	(一)	
五五〇〇	二七〇〇	一一〇〇	三一〇〇	六〇〇〇	五〇〇〇	三七〇〇	(一〇〇〇)
一〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	三〇〇〇	一〇〇〇	三〇〇〇	(一)	

(2) 大 麥 ・ 稗 麥

平 沖 鹿 宮 大 熊
計 兒

一一二	二二〇	三〇〇	三〇〇	五〇〇
二四三	七九〇	一〇〇〇	一〇〇〇	二〇〇〇
一一二	二二〇	三〇〇	三〇〇	五〇〇
二四三	七九〇	一〇〇〇	一〇〇〇	二〇〇〇
一一二	二二〇	三〇〇	三〇〇	五〇〇
二四三	七九〇	一〇〇〇	一〇〇〇	二〇〇〇
一一二	二二〇	三〇〇	三〇〇	五〇〇
二四三	七九〇	一〇〇〇	一〇〇〇	二〇〇〇
一一二	二二〇	三〇〇	三〇〇	五〇〇
二四三	七九〇	一〇〇〇	一〇〇〇	二〇〇〇
一一二	二二〇	三〇〇	三〇〇	五〇〇
二四三	七九〇	一〇〇〇	一〇〇〇	二〇〇〇

七〇

道府縣	品名	品種數	品名	品種數	合計
北海道	坊主二號、坊主五號、坊主六號、坊主一號、チンコ坊主一號、走坊主一號、伊達近成、津輕坊主一號、中生白毛、十勝黒毛、北見赤毛一號、萬太郎米	一二	改良糯一號、渡島糯、小川糯一號、本糯、山崎糯	五	一七
青森	龜ノ尾一號、龜ノ尾三號、龜ノ尾五號、龜ノ尾一三號、關山八號、九平二號、陸奥二號、青森五號	一三	陸羽糯一號、青森糯五號	二	一五
岩手	岩手龜ノ尾一號、同早生大野一號、同大極一號、陸羽一三二號、奥羽二號、奥羽一號、岩手水稲四號	七	岩手小柴糯一號、奥羽二〇號	二	九
宮城	陸羽二〇號、陸羽一三二號、奥羽一號、福一號、宮城三七號、宮城四二號、福坊主一號、宮城一號	一一	鶴ノ糯二號、黒糯二二號、黄金糯二六號	三	一四
秋田	新大野、龜ノ尾一號、豐國七一號、日吉、中稻新愛國、晚稻新愛國、陸羽一三二號、秋田一號、秋田七號	九	河邊糯四號	一	一〇
山形	龜ノ尾、早生大野、豐國、中生愛國、イ號、京錦、福坊主、陸羽一三二號、酒田早生、玉ノ井	一〇	張糯一號、柳糯一號	二	一二
福島	愛國五號、龜ノ尾一號、關山二號、愛國二〇號、奥羽一號、陸羽一三二號、福坊主一號、平井一號	八	太郎兵衛糯	一	九
茨城	常豐茨城一號、無芒愛國、關取茨城一號、早生關取、上總コボレ茨城一號、愛國茨城二號、玉錦茨城一號、中稻神力茨城一號、國益茨城一號	九	太郎兵衛糯	一	一〇
栃木	栃木藤早生一號、同早生撰一、同昭和早生、同昭和二號、同畿内千石、同愛國三號、同撰一、一號、同撰一、二號	八	栃木石上糯一號	一	九
群馬	愛國六號、改良愛國一四號、穀良都、大森早生、撰一、二七號、關取金八號、關取新三四號	七	金佐糯、太郎兵衛糯	二	九
埼玉	關取一五號、近江五號、撰一、一號、不作不知、關取七號、關取八號、愛國一號、保村一號、銀坊主一號、水稲農林三號	九	太郎兵衛糯一號、小針糯、兵衛糯二號、太郎兵衛糯三號、三次郎糯一號	四	一三

三七

(四) 獎勵品種名

1 水 稻

備考 括弧内ハ獎勵金ヲ交付セザルモノニシテ計及平均ニハ之ヲ含まズ

道府縣	品名	品種數	品名	品種數	合計
北海道	坊主二號、坊主五號、坊主六號、坊主一號、チンコ坊主一號、走坊主一號、伊達近成、津輕坊主一號、中生白毛、十勝黒毛、北見赤毛一號、萬太郎米	一二	改良糯一號、渡島糯、小川糯一號、本糯、山崎糯	五	一七
青森	龜ノ尾一號、龜ノ尾三號、龜ノ尾五號、龜ノ尾一三號、關山八號、九平二號、陸奥二號、青森五號	一三	陸羽糯一號、青森糯五號	二	一五
岩手	岩手龜ノ尾一號、同早生大野一號、同大極一號、陸羽一三二號、奥羽二號、奥羽一號、岩手水稲四號	七	岩手小柴糯一號、奥羽二〇號	二	九
宮城	陸羽二〇號、陸羽一三二號、奥羽一號、福一號、宮城三七號、宮城四二號、福坊主一號、宮城一號	一一	鶴ノ糯二號、黒糯二二號、黄金糯二六號	三	一四
秋田	新大野、龜ノ尾一號、豐國七一號、日吉、中稻新愛國、晚稻新愛國、陸羽一三二號、秋田一號、秋田七號	九	河邊糯四號	一	一〇
山形	龜ノ尾、早生大野、豐國、中生愛國、イ號、京錦、福坊主、陸羽一三二號、酒田早生、玉ノ井	一〇	張糯一號、柳糯一號	二	一二
福島	愛國五號、龜ノ尾一號、關山二號、愛國二〇號、奥羽一號、陸羽一三二號、福坊主一號、平井一號	八	太郎兵衛糯	一	九
茨城	常豐茨城一號、無芒愛國、關取茨城一號、早生關取、上總コボレ茨城一號、愛國茨城二號、玉錦茨城一號、中稻神力茨城一號、國益茨城一號	九	太郎兵衛糯	一	一〇
栃木	栃木藤早生一號、同早生撰一、同昭和早生、同昭和二號、同畿内千石、同愛國三號、同撰一、一號、同撰一、二號	八	栃木石上糯一號	一	九
群馬	愛國六號、改良愛國一四號、穀良都、大森早生、撰一、二七號、關取金八號、關取新三四號	七	金佐糯、太郎兵衛糯	二	九
埼玉	關取一五號、近江五號、撰一、一號、不作不知、關取七號、關取八號、愛國一號、保村一號、銀坊主一號、水稲農林三號	九	太郎兵衛糯一號、小針糯、兵衛糯二號、太郎兵衛糯三號、三次郎糯一號	四	一三

七二

千 東 神 新 富 石 福 山 長 岐 靜 愛
葉 京 奈 湯 山 川 井 梨 野 阜 岡 知

早生二節二七號、同愛國九六號、同銀坊主、中生愛國九〇號、同撰一三二號、同大和力五六號、同不作不知力、同銀坊主三八號、早生旭、晚生神力、同京都神力、同愛國內剛力
 銀坊主、水稻農林一號、畿內千石、東京無芒愛國、枋木昭和早生、水稻關東二號
 愛國、關取、足柄神力、龜治、武藏、神玉、玉選、改良錦
 越前一號、龜ノ尾一號、新庄內一號、陸羽二〇號、改良愛國七〇號、水稲農林一號、新イ號、銀坊主中生、愛國七〇號、水稲農林一號
 水鳥、新石白、無芒愛國、銀坊主、銀坊主中生、水稻農林一號、初光、神通、穀良都
 愛國石二號、無芒愛國石一號、銀坊主石一號、陸羽一三二號、水稻農林一號、白山、晚三號、與三次郎
 福井大場一號、愛國、早稻銀坊主、福井鹽田、同銀坊主、畿內中稻七四號、白珍子、早竹成、水稻農林一號
 明治錦六號、穗揃三號、高砂七號、改良愛國、畿中七六號、畿早七四號、畿早九一號
 枋木早生、澁渡、陸羽一三二號、關取、畿內早生二二號、畿內早生六九號、畿內早生一五七號、無芒愛國、陸羽愛國二〇號、管島、晚錦坊主、木曾錦、龜治、信濃一號、信濃二號、早大關三號、万作九號
 稿坊主二七號、無芒愛國、關山一號、陸羽一三二號、万作九號、早生神力三三號、神力一號、畿內交配三三號、美濃旭、愛國二〇號、銀坊主、早生旭、旭八、水稻農林一號
 靜岡愛國第一號、磐田朝日第三號、改良曙、畿內三三號、畿內一九四號、畿內早生七〇號、京都旭一號、愛知旭、三保
 愛知器量好二號、同三河錦四號、京都旭、愛知榮神力、同旭、同千本旭、同早生旭二號

一二	六	八	一二	九	八	九	七	一八	一四	九	七
末廣糯、埼玉糯一〇號	白玉糯	山崎糯、メ張糯	石白糯、大正糯	大場糯石一號、平六糯石一號、作田糯	大正糯、一本糯	越後水糯、ビツクリ糯	信濃糯一號、信濃糯二號、大正糯、東京糯	葛糯、白糯、万作糯	春糯一二號、愛知旭糯	愛知早生旭糯、同旭糯	
二	一	二	二	三	二	二	四	三	二	二	
二	九	一四	一一	一一	一一	九	二二	一七	一一	九	

三 滋 京 大 兵 奈 和 鳥 島 岡 廣
重 賀 都 阪 庫 良 山 取 根 山 島

神力七九八號、神力八二七號、伊勢錦五六號、伊勢錦七二二號、竹成一七四號、關取六六八號、愛國六八號、早生旭、中生旭、城南、銀坊主、龜治、晚七三號
 滋賀渡船六號、同渡船二六號、同早神二一號、同神旭二〇號、同神二五號、同關取白銀、同壽二三號、同京都一號、同愛國一號、同大和日出一號、同都一號、同中稻、同丹後中稻、同天神穗一號、京都早稻、京都中稻、祝
 大阪早生神力八號、同中生神力六號、畿內雄町二號、同中生旭
 新東京一本一號、新山田穗一號、新山田穗二號、早生朝日、道海神力、辨慶、但馬強力、保村八號、早生銀坊主、穀良都、名倉穗、早北穗、野條穗、水稻農林二號
 奈良澤田二號、枋木愛國三號、奈良雄町二號、同旭、同晚神二號、改良旭、改良龜治、水稻農林二號
 滋賀早生神力一二號、中生神力四號、大和錦一八號、同山天狗九號、京都旭一號、晚生神力二五號、九州八號、枋木愛國一號、龜治一號、畿內中七四號、新關取二號、早大關三號、龜治一號、小穀、早北部一號、強力銀坊主、奧州二號、丸山一號、早北部一號、龜治一號、龜治二號、愛國二號、小腹四號、早大關三號、龜治一號、龜治二號、北部二號、雄町一號、八雲、曲玉、銀坊主、長樂
 八反、光明錦、穀良都、明德、龜治、都、雄町、美穗選、吉備穗、日之出選、朝日、神力
 八反一〇號、龜治、旭三號、廣島錦、喜多穗、廣島雄町、藝備錦

一四	九	一〇	八	一五	八	八	一〇	九	一二	一二	七
滋賀白糯一八號	葛糯	太郎兵衛糯、旭糯	七面鳥糯、白糯	神力糯一號	葛糯	太郎兵衛糯一號	金時糯、大正糯	廣島糯、旭糯			
一	一	二	二	一	二	二	二	二			
一四	一〇	一一	八	一七	一〇	一一	一四	九			



口陸稻

府	縣	品名	品種數	品名	品種數	合計
青森	森	古早生、雀不知、面倒白	三	陸羽九號、陸羽一〇號、田優糯、良温	四	七
秋田	田	田優一號	一	陸羽一三號、陸羽二二號、白鬚五四號、陸羽秋田糯一號	四	四
福島	島	身代起茨城一號、黒禾	一	凱旋糯一號	一	二
茨城	城	枌木浦三 一號	一	凱旋茨城二號	一	三
栃木	木	枌木浦三 一號	一	枌木早生江曾島糯一號	一	二
群馬	馬	長柄早生浦二六號、金光坊四三號	二	夜ノ雪糯三六號、藤藏糯一六號	二	四
埼玉	玉	大畑、浦三	二	凱旋糯、美濃糯、國光糯	三	五
千葉	葉	早不知	一	凱旋一〇四號	一	二
東京	京	東京戰捷、同金子、同平山	三	東京支那糯、東京藤藏糯	二	五
神奈川	川	戰捷、平山	二	尾張糯、藤藏糯	二	四
新潟	潟	戰捷	一	江曾島糯	一	二
山梨	梨	戰捷、オイラン	二	凱旋糯、夜ノ雪糯	二	四
岐阜	阜	大畑早生一二三號	一	吉野糯一一四號	一	二
愛知	知	長柄早生、愛知新戰捷	二	凱旋糯、江曾島糯	二	四
三重	重	淺賀、大畑早生	二	團子糯、尾張糯	二	四
愛媛	媛	戰捷、オイラン	二	久萬糯、美濃糯	二	四
熊本	本	戰捷穗、霧島、田島一號	三	凱旋、熊本一號	一	五
宮崎	崎	オイラン一號、陸稻神力一號	二	團子糯二號	一	三

備考 獎勵品種數ノ計ハ各道府縣ノ獎勵品種數ノ合計ナリ(以下做之)

府	縣	品名	品種數	合計
山口	口	牛若、早生神力一號、穀良都三號、辨慶二號、中生神力一號、都三號、雄町一號、山口晚生神力三號、同武作二號	九	一〇
德島	島	德島權八第一二號、同大泉第一五號、同早生神力第一二九號、同旭第七號、同神力第三六號、同晚三三號、德島改良神力第一號、同虎丸第五號、德島早生第三號、德島晚稻第一號、水稻農林二號	一	二
香川	川	香川神力二號、大土八號、中稻神力一號、旭七號、三井一號、雄町一二二號、愛知中稻一七號	七	八
愛媛	媛	道後早稻三號、道後中稻一號、伊豫雄町一號、伊豫相德一號、伊豫神力五號、伊豫仙石三號、伊豫仙石四號、旭、愛媛早稻、同中稻、與吉選、中辨一七六、四八號	二	三
高知	知	畿内三七號、九州五八號、衣笠早生一二一號、新赤坊主三六號、王子七三號、西宮四八號、相川四四號、旭七號、早生交配三二號、大分三井一二〇號、小天狗八號	一	一
福岡	岡	改良神力、改良雄町、愛國、白玉、大場都、宮神力、旭、三井	八	八
佐賀	賀	雄町二號、神德、旭一號、神山	四	四
長崎	崎	改良穀良都一號、改良雄町三號、改良神力二號、改良三井神力、改良晚生旭、神愛	六	七
熊本	本	一號雄町、福神、旭一號、九州八號、寶、神光	六	七
大分	分	穀良都、大分辨慶一號、同雄町五〇號、同三井一二〇號、旭	六	七
宮崎	崎	石割三號、山中二號、山中三號、雄町三號、神力四號、三井神力二號、旭一號	七	八
鹿兒島	島	鹿兒島雄町一號、同熊本坊主一號、同薩摩一號、同旭一號、三井神力七號、高農三五號、鹿光一號	七	八
合計			四三〇	五〇五

鹿兒島	鹿兒島霧島一號、同葉冠一號、嘉平	三五三	鹿兒島凱旋種一號	三五一	七〇四
-----	------------------	-----	----------	-----	-----

八大麥

府縣	品種名	品種數	府縣	品種名	品種數
青森	(細桿二號) 岩手メシユア111二號、同關取二號、同大麥一號	(一)	千葉	關取二號、三德、穗揃、坊主一號	四
岩手	畿内雜二五號、絹皮御膳二二號、宮城六角二三號、腰卷二三號、倍取一八號、宮城一二號、宮城一三號	三	東京	岡山、金玉、四國	三
宮城	細麥、半坊主、三月	七	神奈川	竹林、鎌倉、虎ノ尾、ゴールデンメロン、早生美濃	五
山形	關取三號、晚關取一號、備前早生五三號、宮城六角二號、細麥二號、細麥三號、會津四四號、坊主大麥一號	三	新潟	長岡、飛騨、善光寺、六角一號、六角二號、六角シユバリ、二本三	七
福島	ゴールデンメロン、畿内一號、竹林茨城二號、關取茨城二號、穗揃茨城一號	八	富山	大正麥、關取	二
茨城	栃木關取一號、同坊主一號、同虎ノ尾一號、同ゴールデンメロン一號	四	石川	氣高六角、關取	二
栃馬	白麥六號、半芒八號、備前早生五號、竹林一號、關取田二號	四	福井	氣高六角、八石、福井白麥	三
群馬	關取四號、ゴールデンメロン、坊四號、五畝四石崎一號	五	山梨	大六角三六號、備前早生三六號、虎ノ尾七號、半坊主二五號、關取三六號	五
埼玉		五	長野	大六角、備前早生、白麥、雷電、關取、倍取一〇五號、虎ノ尾崎一號	七
			岐阜	白大麥七九號、九升坊四九號、谷風一〇五號、關取	四
			愛知	畿内關取二號、磐田三德、静岡白六角第一號、黑麥	四
			靜岡	愛知谷風二號、愛知魁、愛知横綱	三

府縣	品種名	品種數	府縣	品種名	品種數
三重	倍取	一	岡山	在來短芒、神堂、節黒	三
滋賀	滋賀穗揃一號、同八石五號、改良八石	三	廣島	倍取一號	一
京都	京都倍取一號、同白大麥一號、同坊主大麥一號、同大六角一號、ゴールデンメロン一號	五	山口	改良ゴールデンメロン、辨慶三號	二
大阪	畿内交野	一	福岡	ゴールデンメロン	一
兵庫	八石、白大麥	二	長崎	改良大穀、改良ゴールデンメロン	二
鳥取	瑞穂二號	一	大分	改良大麥	一

備考 括弧内ハ獎勵金ヲ交付セザルモノニシテ計ニハ含まズ

二稞麥

道府縣	品種名	品種數	道府縣	品種名	品種數
北海道	丸實一六號、三月子一號	二	岐阜	八石二三號、屋根四四號、白珍子	三
岩手	陸羽一號	一	靜岡	紅チンコ、白チンコ、三重コピンカ	四
福島	白稞一號、六角一號	二	愛知	タギ、三保稞一〇號	一
茨城	上州白稞茨城一號	一	滋賀	愛知コピンカタギ一號、愛知白梅、愛知早生白	三
埼玉	紅梅崎一號	一	三重	コピンカタギ、白胴、大阪、白珍子	四
東京	宗兵衛	一	京都	滋賀早生稞六號	一
新潟	裸陸羽一號	一	大阪	京都屋根稞一號、同小首一號	二
福井	コピンカタギ	一	大阪	畿内共進會二號、畿内仁多稞、大阪白珍子一二號、同奴五二號	四

兵庫	新神力一號、新明石、新珍子、赤神力、新淡路	五
奈良	奈良改良一號、同白米一號	二
和歌山	小玉一三號、改良雀奴、短程小玉、改良捻奴、神力麥、白珍子	六
鳥取	コピンカタギ一號、小鯖二號	二
岡山	コピンカタギ、白トウ、矢筈	三
廣島	紅梅一〇號、コピンカタギ、濕氣不知、白珍子	四
山口	御堀一號、長崎稈、兵庫稈、小珍好四號、コピンカタギ一號	五
徳島	徳島米稈第一號、同九州第一三號、同白麥第八號、同珍好第一號、同珍好第八三號、同香川稈第五號、同珍	六
香川	コピンカタギ、白珍子一號、大ピン、屋根稈一號、白珍子一號	五
愛媛	三保二二號、景清三三八四號、白珍子五七號、播摩三號、屋根稈三號、過路一〇八號、大石四九號、高知早生稈	五
高知	竹下、神力稈、膝八	三
福岡	浮羽白、鬼稈一號、膝八	三
佐賀	改良御厨一號、改良島原稈	二
熊本	島原、コピンカタギ、白稈、二號熊島	四
大分	大分ネヂ一〇號、同膝八 五號、コピン、大分稈	四
宮崎	佐賀大粒二號、ネヂレ二號、小鯖一號、三月稈一號	四
鹿児島	鹿兒島鎌折一號、同紅梅一號、改良膝八、早生稈	四
鹿兒島	鹿兒島鎌折一號、同紅梅一號、改良膝八、早生稈	一〇一

第四 主要食糧農産物ノ採種圃ニ關スル事業

一 農林省ニ於ケル獎勵事業

原種圃ニ於テ栽培シタル優良品種ヲ更ニ増殖シ一般當業者ニ配付セムガ爲府縣、府縣農會、市町村、郡市町村農會、農事實行組合等ニ於テ之ガ採種圃ヲ經營ス。而シテ本省ハ之等採種圃ノ經營及指導監督ニ従事スル技術員ヲ道府縣又ハ道府縣農會ニ設置セシ

ムル爲大正五年度以降獎勵金ヲ交付シツ、アリ。

採種圃指導監督技術員設置ニ對スル獎勵金ノ交付
一 事業創始以來ノ年度別獎勵金交付總額

年 度	獎勵金交付額	指 數	年 度	獎勵金交付額	指 數
大正五年	一七、六五〇	一〇〇	昭和五年	二四、二二〇	一三七
同 六 年	二五、一七〇	一四三	同 六 年	二九、八七〇	一六九
同 七 年	二九、八七〇	一六九	同 七 年	二九、〇五〇	一三一
同 八 年	二九、六六〇	一六八	同 八 年	二一、八九〇	一二四
同 九 年	二六、二三〇	一四九	同 九 年	二五、九五〇	一四七
同 十 年	二九、九二〇	一七〇	同 十 年	二二、五三〇	一三三
同 十 一 年	四〇、一七〇	二二八	同 十 一 年	二二、九〇〇	一三五

道府縣別獎勵金交付額 (最近五ヶ年)

道府縣	昭和四年	五年	六年	七年	八年
北海道	七〇〇	七〇〇	七〇〇	五八〇	六〇〇
青森	五七〇	七〇〇	七〇〇	六〇〇	六〇〇
岩手	五四〇	五〇〇	五四〇	四〇〇	四〇〇
宮城	五〇〇	五〇〇	五〇〇	四〇〇	四〇〇
秋田	六七〇	五五〇	七〇〇	七〇〇	六七〇
山形	七〇〇	五七〇	七〇〇	五七〇	五七〇
福島	五五〇	五七〇	五七〇	五七〇	五七〇
茨城	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇
栃木	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇
群馬	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇
山梨	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇
長野	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇
新潟	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇
富山	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇
石川	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇
福井	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇
岐阜	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇
愛知	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇
三重	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇
滋賀	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇
京都	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇
大阪	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇
兵庫	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇
徳島	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇
香川	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇
高松	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇
愛媛	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇
高知	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇
福岡	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇
佐賀	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇
熊本	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇
大分	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇
宮崎	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇
鹿児島	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇
鹿兒島	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇

奈良	兵庫	大阪	京都	滋賀	三重	愛知	静岡	岐阜	長野	山梨	福島	石川	富山	新潟	神奈川	東京	千葉	埼玉	群馬	栃木
二九〇	五〇〇	三九〇	四〇〇	四〇〇	六〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	七〇〇	七〇〇	六〇〇	四〇〇	(六二〇)
三〇〇	五〇〇	三九〇	四〇〇	四〇〇	六〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	七〇〇	七〇〇	六〇〇	三〇〇	(六九〇)
三〇〇	五〇〇	三九〇	四〇〇	四〇〇	六〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	七〇〇	七〇〇	六〇〇	(六七〇)	(六九〇)
二九〇	四〇〇	三九〇	四〇〇	四〇〇	(四〇〇)	(四〇〇)	(四〇〇)	(四〇〇)	(四〇〇)	(四〇〇)	(四〇〇)	(四〇〇)	(四〇〇)	(四〇〇)	(四〇〇)	七〇〇	四〇〇	五〇〇	三〇〇	五〇〇
平	沖	鹿	宮	大	熊	長	佐	福	高	愛	香	德	山	廣	岡	鳥	鳥	和		
均	計	兒	崎	分	本	崎	賀	岡	知	媛	川	島	口	島	山	根	取	歌		
五三一	三、九〇〇	一、五〇〇	四、五〇〇	五、〇〇〇	五、〇〇〇	四、七〇〇	五、〇〇〇	五、〇〇〇	五、〇〇〇	七〇〇	五、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇	六、〇〇〇	六、〇〇〇	七、〇〇〇	三、〇〇〇	五、〇〇〇	三、〇〇〇	五、〇〇〇
五二四	三、五〇〇	一、五〇〇	四、五〇〇	五、〇〇〇	五、〇〇〇	四、五〇〇	五、〇〇〇	五、〇〇〇	五、〇〇〇	七〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇	六、〇〇〇	六、〇〇〇	七、〇〇〇	三、〇〇〇	五、〇〇〇	三、〇〇〇	四、〇〇〇
五三八	三、七五〇	一、五〇〇	四、五〇〇	五、〇〇〇	五、〇〇〇	四、五〇〇	五、〇〇〇	五、〇〇〇	五、〇〇〇	七〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇	六、〇〇〇	六、〇〇〇	七、〇〇〇	三、〇〇〇	五、〇〇〇	三、〇〇〇	四、〇〇〇
四〇六	一八、二八〇	一、五〇〇	三、五〇〇	三、五〇〇	三、五〇〇	三、五〇〇	三、五〇〇	三、五〇〇	三、五〇〇	(三六〇)	(三六〇)	(三六〇)	(三六〇)	(三六〇)	(三六〇)	(三六〇)	(三六〇)	(三六〇)	(三六〇)	(三六〇)
三九七	一七、一〇〇	一、五〇〇	三、五〇〇	三、五〇〇	三、五〇〇	三、五〇〇	三、五〇〇	三、五〇〇	三、五〇〇	(三五〇)	(三五〇)	(三五〇)	(三五〇)	(三五〇)	(三五〇)	(三五〇)	(三五〇)	(三五〇)	(三五〇)	(三五〇)

備考 括弧内ハ所定ノ交付率ニ依ル査定額ニシテ實際ノ交付額ハ査定額ヨリ其ノ前々年度交付奨励金ノ残額ヲ差引キタルモノ

トス

二 道府縣ニ於ケル事業

道府縣ニ於テハ毎年豫算ヲ計上シ専任職員ヲ設置シ又ハ補助金ヲ交付シテ道府縣農會ニ之ヲ設置セシメ當該技術員ヲシテ主要食糧農産物採種圃ノ經營若ハ指導監督ノ任ニ當ラシム。

(一) 奨励金ノ交付ヲ受ケタル道府縣ノ採種圃指導監督技術員設置豫算額

イ 事業創始以來ノ年度別事業豫算總額

年 度	事業豫算額	指 數	年 度	事業豫算額	指 數	年 度	事業豫算額	指 數
大正五年	三五、五一七	一〇〇	大正十二年	八五、八〇九	二四二	昭和五年	七八、一五七	二二〇
同 六 年	五〇、八八三	一四三	同 十三年	八三、四三四	二三五	同 六 年	七六、四三〇	二一五
同 七 年	六一、二二九	一七二	同 十四年	八〇、一五〇	二二六	同 七 年	五五、三七六	一五六
同 八 年	七二、九二七	二〇五	昭 和 元 年	七五、五九六	二二三	同 八 年	五二、五〇三	一四八
同 九 年	八三、二九三	二三五	同 二 年	七八、九六七	二二二	同 九 年		
同 十 年	一三〇、〇六二	三六六	同 三 年	七七、七七九	二一九			
同 十一年	一二七、〇六一	三五八	同 四 年	八〇、三一五	二二六			

〇 道府縣別事業豫算額 (最近五ヶ年)

年	面積	種子配付量	面積	種子配付量	面積	種子配付量	面積	種子配付量
同九年	一、〇三・五	二五六	二七・三	三三三	九三、五〇八	二八八	一八、二五六	四三三
同十年	九四・七	三三五	三三・〇	三三三	一〇七、三八二	三三二	二二、五五五	二七三
同十一年	一、九四・七	四八三	一、二四〇・〇	六四五	六九、九〇〇	二二六	三三、三八	三八六
同十二年	二、五八・三	六四二	二、〇〇〇・四	一、〇四四	七四、一四	三三九	三三、五四五	三八九
同十三年	三、一六・四	七六	二、一六・五	一、一〇	七三、五三	三三四	三三、一一	三八九
同十四年	三、五三・一	八七〇	二、〇六・五	一、〇八	一一、一〇六	三三四	三三、七九	三八九
昭和元年	四、一〇〇・一	一、〇四三	二、二八・二	一、二六	二六、〇九八	三五八	三三、七三	三八九
同二年	四、八七・〇	一、二二五	二、四二・七	一、三三	二四、三三	四二四	三三、七〇	四四九
同三年	四、八〇・五	一、一九七	一、八四・四	九五五	一五、七三	四二七	三三、八〇九	四四九
同四年	六、七二・三	一、六六七	二、四九・七	一、二六	一四、七〇九	六〇一	三三、九九五	六六
同五年	七、七五・三	一、九二六	二、五四・六	一、〇三	二二、三三	八〇九	三三、八六五	六六
同六年	九、四二・九	二、三三〇	二、六六・五	一、三四五	三六、九三六	八三〇	三三、六〇〇	六六
同七年	一五、一〇〇・五	三、七五〇	四、三三・九	二、一〇四	三五、五〇一	一、〇九七	三三、三三三	六六
同八年	三三、七〇・二	五、六三九	五、二四・五	二、六〇	六〇、一九九	二、〇三七	三三、五〇三	一、〇三七
同九年	(豫定)							

備考 一、昭和六年度以前ニ於テハ採種圃面積ハ第一次採種圃ノ面積ノミヲ、種子配付數量ハ各階級採種圃(第一次採種圃及第二次以下ノ採種圃)ヨリ直接農家ニ配付セル總數量ヲ記載セリ
 二、昭和七年度以降ニ於テハ採種圃面積及種子配付數量ハ採種圃ガ一次制ナルモノハ第一次採種圃ノ面積及種子配付數量ヲ採リ、二次制ナルモノハ第二次採種圃ノ面積及種子配付數量ヲ採リ之ヲ合計シテ記載セリ

(1) 米
 道府縣別採種圃經營狀況 (最近五ヶ年)

道府縣	昭和四年		同五年		同六年		同七年		同八年(計畫)	
	面積	種子配付量	面積	種子配付量	面積	種子配付量	面積	種子配付量	面積	種子配付量
北海道	一八・一	五三三・六	二七・三	六六九・五	三三・八	三三五・五	二七・七	三七三・〇	一、六四八・三	五二、一四・五
青森	不詳	一、三四三・四	三二・〇	九六二・二	三〇・九	五五九・五	三三、三四〇	一、二五四・〇	三三、四三〇	三七、四三〇
岩手	三五・〇	三、八六〇・六	三五・〇	四、一四〇・五	三六・七	六、一〇六・一	九〇・〇	一、九六〇・〇	九〇〇・〇	二四、七〇〇
宮城	三〇・〇	一、〇四八・六	三〇・〇	一、一五九・三	三五・〇	九七・八	三三・〇	三、三三〇・〇	三、三三〇・〇	一三、五〇〇・〇
秋田	一三・三	九九九・九	一三・三	一、〇四一・六	一三・三	一、〇七一・五	一五・八	四四・〇	一、一〇〇・七	一、六四一・四
山形	五・一	一、八四・二	五・一	一九五・七	五・一	二、一五・二	五・三	一、四九・〇	四三・八	一〇、七五・五
福島	四・〇	八、六八・三	四・四	八、一三・〇	四・四	八、二二・〇	四・二	八、一六三・〇	四三・〇	八、三〇〇・〇
茨城	三三・〇	四、〇〇九・〇	三三・〇	五、七九・三	六〇・一	六、四四・四	三五・七	六、〇八二・〇	六三・〇	三三、五〇〇・〇
栃馬	一一・〇	二、七三・三	一一・〇	二、五〇二・五	一一・二	二、八四・〇	七〇・一	二、四八六・〇	三六・〇	二二、五六・〇
群馬	一六・五	五、三三・一	一六・〇	六、〇四七・五	二五・〇	六、二六・六	二五・九	六、三〇一・〇	二五・〇	四、二二〇・〇
埼玉	一六・七	二、九五・一	一六・七	三、七八三・九	一六・七	四、四六・一	二五・七	四、九一・〇	一九七・五	六、二七三・〇
千葉	四・三	一、五三・三	四・三	六、四五・六	四・九	六、二〇・九	二五・九	六、一七九・〇	三三・〇・五	一〇、七六二・〇
東京	一・七	六〇・九	一・七	六八・〇	一・六	七四・五	七・三	一、三八一・〇	七・三	一、七六七・三
神奈川	九二・〇	一〇、八五六・四	七六・三	一一、九五六・八	八四・三	一一、四九五・五	七三・二	一四、二四〇・〇	八八・三	一、七六六・六
新潟	七〇・〇	二、一六〇・〇	七〇・一	二、一六〇・〇	四五・七	二、二六〇・〇	四五・四	一三、六九二・〇	四五・〇	一六、〇〇〇・〇
富山	八・四	一、二四五・〇	一五・〇	二、六六三・〇	二二・八	四、九三・三	二九・四	四、二七三・〇	三三・〇	一、四〇〇・〇
石川	八〇・〇	一、二五・九	六〇・〇	一、四九・四	一〇三・〇	一、六四二・六	八九・六	二、六三〇・〇	一一〇・〇	三、三〇〇・〇
福井	三五・五	九八・三	三五・五	七四・四	三五・五	八三・二	二五・三	七、五五・〇	四一・六	一、八七九・七
山梨	三〇〇・〇	五、四七・四	三〇〇・〇	六、一六一・〇	二七〇・〇	六、八七七・五	四七・七	七、一六五・〇	三〇〇・〇	九、〇〇〇・〇
長野	野梨									

備考 前表ノ備考参照、但昭和七年ノ計及平均ニハ福岡縣ノ分ヲ含まズ

兵	奈	和	鳥	島	岡	廣	山	德	香	愛	高	福	佐	長	熊	大	宮	鹿	沖	平
庫	良	山	取	根	山	島	口	島	川	媛	知	岡	賀	崎	本	分	崎	島	繩	計
三九・四	五三・三	七〇・七	八〇・〇	四四・〇	一四・五	一六・二	二六・〇	四〇・〇	三三・四	六七	五〇・〇	三三・五	四六	五〇・〇	一五・七	二六九・六	不詳	一〇・七	二、四九二・七	六三・九
四、四七五・二	六〇九・九	九七・九	七二・五	三三・九	二、三〇・二	一、四六五・九	八四三・三	五三・一	一、六七四・〇	一、八一九・七	四八・九	四、〇三三・三	二、二八二・二	六四・五	一八・四	一、八五二・八	九六〇・〇	一、七七八・四	五三、九八五・四	一、二五五・五
三九・四	五三・三	七〇・七	八〇・〇	四四・〇	一四・五	一六・二	二六・〇	四〇・〇	三三・四	六七	五〇・〇	三三・五	四六	五〇・〇	一五・七	二六九・六	(九・五)	二、四二二・六	五七八	
四、五三三・一	五〇〇・三	一、〇〇一・九	七九・二	二七・八	二、一六三・一	一、二八九・一	一、三四二・二	四〇八・七	一、五五一・四	一、八三四・七	四三・五	一、六二二・七	二、三六二・二	六二・九	四、八五九・九	二、〇九四・八	九六〇・〇	(九・五)	五四、八六四・六	一、二四六・九
三九・四	五三・三	七〇・七	八〇・〇	四四・〇	一四・五	一六・二	二六・〇	四〇・〇	三三・四	六七	五〇・〇	三三・五	四六	五〇・〇	一五・七	二六九・六	(九・五)	二、六六六・五	五九・七	
四、七六八・八	六三三・九	一、四〇四・一	七〇・七	三二・七	二、二六四・八	一、五三三・三	一、四〇五・六	四六九・九	一、六七六・五	一、五二四・六	四八五・一	一、五九六・一	四〇五・七	六四三・五	四、一八四・六	一、九四四・九	九六〇・〇	(九・五)	五、六〇〇・一	一、一九五・五
三五・三	五三・三	一七・三	七四・〇	一	一八・八	九四・一	一一・三	五四・〇	一四七・七	一一・二	四五・〇	二三四・七	二二・一	二二・一	四一六・三	三二二・五	一一・〇	(九・〇)	四、三〇三・九	一一〇・四
五、四八五・一	六二四・四	一、九三九・〇	八三・〇	一	二、二六七・六	一、二八二・四	一、三三三・六	六三・九	一、九三三・六	一、〇八二・八	四〇三・二	二、四八三・〇	二、四八三・〇	二八二・一	三、八八六・六	一、八六三・〇	九六〇・〇	(八・八)	五、三〇二・八	一、四九四・九
二〇・〇	五三・〇	一〇〇・〇	八一・三	一	九五・〇	一四〇・〇	一〇〇・〇	六三・〇	一四三・五	一四〇・〇	一五〇・〇	八三・〇	八三・〇	八〇・〇	四六・〇	三九・五	一一〇・〇	(九・〇)	五、二五四・五	二五・一
二、一六〇・〇	七五〇・〇	一、五〇〇・〇	一一七・五	一	二、四〇〇・〇	一、四三三・六	一、五〇〇・〇	一、五〇〇・〇	二、九〇〇・〇	二、一〇〇・〇	二、一〇〇・〇	一、八〇・〇	二、一五〇・〇	一、一〇〇・〇	四、九六〇・〇	二、三九五・〇	一、〇八〇・〇	(八・九)	八九、〇〇二・六	二、一三二・〇

山	福	茨	栃	群	埼	千	東	神	新	富	石	福	山	岐	静	愛	三	滋	京	大
形	島	城	木	馬	玉	京	川	湯	山	井	川	野	梨	野	泉	岡	重	賀	都	阪
不詳	五〇	三、五八二・三	一、五〇七・七	七、〇〇二・六	一、六四七・四	九四・五	三六〇	一〇	八〇	一〇	五〇	一〇	八〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	二・五
六・〇	三、五八二・三	一、五〇七・七	七、〇〇二・六	一、六四七・四	二、〇六五・四	六四〇・八	四三〇・〇	八〇〇	八〇〇	一三三・九	一五・一	一一三・九	九八六・二	九四四・九	四四・〇	四、三三八・四	一、三三九・一	二六二・七	五〇三・〇	二四・五
不詳	五〇	三、五八二・三	一、五〇七・七	七、〇〇二・六	一、六四七・四	九四・五	三六〇	一〇	八〇	一〇	五〇	一〇	八〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一・八
六・五	二、四六五・四	一、五〇七・七	五、八四一・一	一、四七三・三	二、三三八・四	五七九・九	四〇三・三	一三〇・八	六〇〇	一六六・六	一九・一	一一六・一	八三三・八	一、〇八二・六	一、三五〇・〇	三、五二二・八	一、一一二・二	一九六・一	五六五・七	二九・四
不詳	五〇	二、五七八・〇	一、五〇七・七	二、二五〇・〇	一、〇〇〇・〇	九四・五	三六〇	八〇	六〇〇	五〇	四・五	八〇	六〇〇	一、〇八二・六	一、三五〇・〇	三、五二二・八	一、一一二・二	一九六・一	五六五・七	一・八
六・五	二、五七八・〇	一、五〇七・七	三、七九〇・〇	二、一三四・三	二、二七二・六	八三三・八	一、〇〇〇	一四二・五	六四〇・〇	八・三	四・五	八〇	六〇〇	一、〇八二・六	一、三五〇・〇	三、五二二・八	一、一一二・二	一九六・一	五六五・七	三・七
一	一、八四四・〇	三、〇四九・〇	三、五四〇・〇	二、三三〇・〇	一、八六三・六	(七三・六)	一、四一六・五	一、四一六・五	一、四一六・五	一、四一六・五	一、四一六・五	一、四一六・五	一、四一六・五	一、四一六・五	一、四一六・五	一、四一六・五	一、四一六・五	一、四一六・五	一、四一六・五	二四六・四
一、二二五	一、五七五	一、八四四・〇	三、〇四九・〇	三、五四〇・〇	二、三三〇・〇	九二・五	六六・三	一、四一六・五	一、四一六・五	一、四一六・五	一、四一六・五	一、四一六・五	一、四一六・五	一、四一六・五	一、四一六・五	一、四一六・五	一、四一六・五	一、四一六・五	一、四一六・五	二四六・四
三、〇〇〇	一、九〇〇・〇	三、〇〇〇・〇	三、〇〇〇・〇	三、〇〇〇・〇	二、〇〇〇・〇	二、五七六・六	一、五二〇・〇	一、五二〇・〇	一、五二〇・〇	一、五二〇・〇	一、五二〇・〇	一、五二〇・〇	一、五二〇・〇	一、五二〇・〇	一、五二〇・〇	一、五二〇・〇	一、五二〇・〇	一、五二〇・〇	一、五二〇・〇	五三三・〇

八 昭和八年度道府縣別採種圃事業計畫

(1) 水 稻

道府縣	第一次採種圃		第二次採種圃	
	經營主體	採種圃面積 種子配付 豫定數量	經營主體	採種圃面積 種子配付 豫定數量
北海道	市町村、市町村農會	五五・九 一、六四八・三	農事實行組合	一、六四八・三 五二、一四五・五
青森	市町村、市町村農會	二六・五 六二二・〇	農事實行組合、個人	一、二四〇・〇 三七、〇〇〇・〇
岩手	市町村、市町村農會	三四・六 六九二・〇	農家小組、個人	九〇〇・〇 二四、七〇〇・〇
宮城	郡市農會、町村、町村農會	三五・〇 一、〇五〇・〇	個人	三五、〇〇〇・〇 三三、五〇〇・〇
秋田	郡市農會	二一・六 三三四・八	町村農會、個人	一、〇四九・一 二六、三八四・〇
山形	縣立農事試驗場	五・二 一六五・五	個人	四三・八 一〇、七五七・五
福島	市町村、郡市町村農會、農事實行組合	四〇・〇 八、〇〇〇・〇		
茨城	農事實行組合	五八・〇 三、五二〇・〇		
栃木	農事實行組合	三三・〇 九、二八〇・〇		
群馬	市町村、郡市町村農會、農事實行組合	一六〇・〇 三、五二〇・〇		
埼玉	市町村農會、農事組合及其他、農事團體、農家組合、其他、農事團體	一五四・八 五、四一九・〇		
千葉	市町村農會、農事組合及其他、農事團體	三三・〇 一〇、一三五・〇		
東京	郡市農會	七・一 一七・七	町村農會、農事團體	四四・二 一、一〇四・〇
新潟	水稻部落採種組合	八八・三 一、七六六・六		
富山	農事實行組合	四七・〇 一六、〇〇〇・〇		
石川	町村農會、農事實行組合、農事改良組合、採種組合	三八〇・〇 一、四〇〇・〇		

道府縣	第一次採種圃		第二次採種圃	
	經營主體	採種圃面積 種子配付 豫定數量	經營主體	採種圃面積 種子配付 豫定數量
福井	縣郡町村農會、市町村、農家組合、其他、團體	一一〇・〇 三、三〇〇・〇		
山梨	市町村農會、農事實行組合	四〇・〇 一、八四八・〇		
長野	町村農會、農家組合	三〇〇・〇 九、〇〇〇・〇		
岐阜	町村農會、農業基礎團體	五一・九 一五、三三〇・〇		
靜岡	部落農會、農事實行組合	三〇〇・〇 七、五〇〇・〇		
愛知	農事改良實行組合、農村共同經營組合	八七・〇 二六、一〇〇・〇		
三重	市町村	四六・〇 三、七六〇・〇		
滋賀	郡農會	四・九 一三三・〇		
京都	府農會	三五・〇 一、一一〇・〇		
大阪	府農會	二・五 一一〇・〇		
兵庫	部落農會	七八〇・〇 三、四〇〇・〇	郡市町村農會、實行組合	三九九・六 二、三三三・〇
奈良	町村農會、農事實行組合、採種組合	一五〇・〇 六、〇〇〇・〇		
和歌山	町村農會、農事實行組合又ハ之ニ準ズル團體	一七〇・〇 四、〇〇〇・〇		
鳥取	農事實行組合	二〇〇・〇 六、〇〇〇・〇		
島根	採種組合	四二〇・〇 一三、六〇〇・〇		
岡山	共同採種組合	二六〇・〇 一〇、四〇〇・〇		
廣島	市町村農會	二七三・五 六、七六七・〇		
山口	農事組合、共同採種組合	二五〇・〇 八、二五〇・〇		
德島	市町村、市町村農會、農事改良實行組合	一八〇・〇 四、八六〇・〇		
香川	郡農會	二・〇 八〇・八	農事改良組合	三九九・七 一〇、七八〇・〇
愛媛	縣	二・三 七七・〇	農家共同組合	二〇三・〇 七、一〇〇・〇
高知	市町村、町村農會、其他、團體	二〇〇・〇 四、八〇〇・〇		

府 縣	第一次採種圃		第二次採種圃		採種圃生産 種子ニ依ル 農家ノ作付 豫定面積
	面積	種子配付 豫定數量	面積	種子配付 豫定數量	
福 賀	農事組合又ハ之ニ準ズル組 合團體 農事實行組合	1,040.0	30,000.0		100,000.0
佐 賀	農事實行組合	435.0	13,100.0		44,000.0
長 崎	市町村、市町村農會	100.0	3,000.0		10,000.0
熊 本	農事小組合	480.0	19,100.0		64,000.0
大 分	農事小組合、採種組合	450.0	13,500.0		45,000.0
宮 崎	産業實行組合、個人	240.0	5,700.0		19,100.0
鹿 兒 島	郡農會	1.5	6.3	報効農事小組合	27,240.0
計		2,195.5	74,440.0		266,779.0

備考 一、滋賀縣ニ於ケル市採種圃及香川、鹿兒島縣ニ於ケル市部ノ農家ノ採種圃ニ對シテハ縣立農事試驗場ヨリ直接所要種

子ヲ配付ス

(陸稻、麥等ニ付テモ同ジ)

(2) 陸 稻

府 縣	第一次採種圃		第二次採種圃		採種圃生産 種子ニ依ル 農家ノ作付 豫定面積
	面積	種子配付 豫定數量	面積	種子配付 豫定數量	
青 森	市町村、市町村農會	5.7	85.0		766.6
秋 田	郡市農會	3.2	25.9	農事實行組合、個人	85.2
福 島	市町村、郡市町村農會、農 事實行組合	25.0	300.0	町村農會、個人	500.0
茨 城	市町村、市町村農會、採種 組合	50.0	1,000.0		3,333.3
栃 木	農事實行組合	140.0	3,200.0		8,166.6

府 縣	第一次採種圃		第二次採種圃		採種圃生産 種子ニ依ル 農家ノ作付 豫定面積
	面積	種子配付 豫定數量	面積	種子配付 豫定數量	
群 馬	市町村、郡市町村農會、農 事組合	700.0			2,422.4
埼 玉	市町村農會、農事組合、農 事團體	427.0	850.0		2,133.0
千 葉	市町村農會、農家組合、其 他ノ農事團體	425.0	637.0		1,377.0
東 京	郡市農會	8.0	16.6	町村農會、農事團體	55.0
山 梨	市町村農會、農事實行組合	1.6	3.7		283.3
岐 阜	町村農會、農業基礎團體	5.0	85.0		480.0
愛 知	農事改良實行組合、農村共 同經營組合	8.0	19.2	農家共同組合	440.0
愛 媛	縣	5.5	7.0	農事小組合	330.0
熊 本	縣	4.0	4.0	農事小組合	2,000.0
宮 崎	産業實行組合、個人	80.0	80.0	報効農事小組合	2,100.0
鹿 兒 島	郡農會	3.5	7.4		8,800.0
計		515.5	8,226.6		37,848.8

(3) 大 麥

府 縣	第一次採種圃		第二次採種圃		採種圃生産 種子ニ依ル 農家ノ作付 豫定面積
	面積	種子配付 豫定數量	面積	種子配付 豫定數量	
青 森	市町村、市町村農會	2.4	34.0		1,940.0
岩 手	市町村、市町村農會	2.3	39.0	農家小組合、個人	16,000.0
宮 城	郡市農會、町村、町村農會	10.0	200.0	個人	4,000.0
山 形	組織的ノ經營ナシ	2.5	30.0		250.0

福島	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	東京	新潟	富山	石川	福井	山梨	長野	岐阜	静岡	愛知	三重	滋賀	京都	大阪
郡市町村農會、市町村農會、市町村農會、採種組合	郡市町村農會、市町村農會、採種組合	郡市町村農會、市町村農會、採種組合	郡市町村農會、市町村農會、採種組合	郡市町村農會、市町村農會、採種組合	郡市町村農會、市町村農會、採種組合	郡市町村農會、市町村農會、採種組合	郡市町村農會、市町村農會、採種組合	郡市町村農會、市町村農會、採種組合	郡市町村農會、市町村農會、採種組合	郡市町村農會、市町村農會、採種組合	郡市町村農會、市町村農會、採種組合	郡市町村農會、市町村農會、採種組合	郡市町村農會、市町村農會、採種組合	郡市町村農會、市町村農會、採種組合	郡市町村農會、市町村農會、採種組合	郡市町村農會、市町村農會、採種組合	郡市町村農會、市町村農會、採種組合	郡市町村農會、市町村農會、採種組合	郡市町村農會、市町村農會、採種組合
1,707.0	2,736.6	3,600.0	2,000.0	2,543.0	1,523.0	3,123.0	600.0	4,120.0	1,000.0	1,500.0	800.0	1,500.0	1,560.0	980.0	2,560.0	3,990.0	1,900.0	2,700.0	600.0
町村農會、農事團體	町村農會、農事團體	町村農會、農事團體	町村農會、農事團體	町村農會、農事團體	町村農會、農事團體	町村農會、農事團體	町村農會、農事團體	町村農會、農事團體	町村農會、農事團體	町村農會、農事團體	町村農會、農事團體	町村農會、農事團體	町村農會、農事團體	町村農會、農事團體	町村農會、農事團體	町村農會、農事團體	町村農會、農事團體	町村農會、農事團體	町村農會、農事團體
1,707.0	2,736.6	3,600.0	2,000.0	2,543.0	1,523.0	3,123.0	600.0	4,120.0	1,000.0	1,500.0	800.0	1,500.0	1,560.0	980.0	2,560.0	3,990.0	1,900.0	2,700.0	600.0
3,800.0	9,423.0	9,107.0	5,000.0	8,475.0	5,040.0	2,990.0	1,500.0	1,300.0	1,000.0	300.0	2,667.0	3,000.0	5,100.0	2,295.0	6,400.0	1,300.0	2,800.0	900.0	7,000.0

兵庫	鳥取	岡山	廣島	山口	山梨	福島	長崎	大分
部落農會	農事實行組合	共同採種組合	市町村農會	農事組合、共同採種組合	農事組合、共同採種組合	農事組合、共同採種組合	農事組合、共同採種組合	農事組合、共同採種組合
3,870.0	1,950.0	7,600.0	4,530.0	3,310.0	3,350.0	1,600.0	2,000.0	2,300.0
農事實行組合	農事實行組合	農事實行組合	農事實行組合	農事實行組合	農事實行組合	農事實行組合	農事實行組合	農事實行組合
1,290.0	975.0	2,600.0	1,235.5	802.5	750.0	470.0	750.0	9,279.0

(4) 稈 麥

道府縣	道	府	縣
北海道	岩手	福島	茨城
市町村農會	市町村農會	市町村農會	市町村農會
6.7	1.7	15.0	7.6
56.8	33.0	183.0	337.4
農事實行組合	農事實行組合	農事實行組合	農事實行組合
113.6	1,006.3	4.0	47.5
2,013.6	57.0	1,480.0	1,500.0

熊本	長崎	佐賀	福岡	高知	愛媛	香川	徳島	山口	廣島	岡山	鳥取	和歌山	奈良	兵庫	大阪	京都	滋賀	三重	愛知	静岡	岐阜	
縣	市町村、市町村農會	農事實行組合	農事組合又ハ之ニ準ズル團體	團體	縣、縣立米麥採種場、市町村、町村農會、其他ノ團體	郡農會	改良實行組	市町村農會、共同採種組合	市町村農會、部落農區	共同採種組合	農事實行組合	ハ之ニ準ズル團體	町村農會、農事實行組合又ハ之ニ準ズル團體	町村農會、採種組合、農事實行組合	部落農會	府農會	府農會	郡農會	市町村	同經營組合	農事改良實行組合、農村共同經營組合	町村農會、農業基礎團體
10.0	7.0	8.0	1.5	1.5	2.7	2.8	2.0	6.6	1.7	7.0	6.2	10.0	5.0	6.5	1.4	3.2	0.7	15.9	7.0	2.0	2.0	2.0
10.0	1,080.0	950.0	2,050.0	1,800.0	405.0	443.0	1,500.0	1,150.0	1,900.0	1,600.0	1,035.0	1,500.0	750.0	1,730.0	150.0	190.0	90.0	1,580.0	1,080.0	390.0	390.0	1,800.0
農事小組合					農家共同組合	農事改良組合								郡市町村農會、實行組合、個人	市町村							
420.0					140.0	155.5								5.7	3.9							
4,960.0					2,100.0	2,925.4								343.0	66.0							
16,650.0	3,000.0	2,500.0	6,750.0	6,000.0	7,000.0	9,840.5	5,070.0	2,947.5	6,683.3	5,400.0	5,113.6	5,000.0	3,000.0	5,910.0	1,392.0	640.0	6,370.0	3,600.0	3,600.0	1,080.0	1,080.0	800.0

第五 主要食糧農産物改良増殖獎勵事務専任技術員設置ニ關スル事業

一 農林省ニ於ケル獎勵事業

道府縣ニ於ケル主要食糧農産物ノ改良増殖獎勵ニ關スル事務ハ極メテ多方面ニ亘リ専任ノ職員ヲ設置シテ之ヲ行フニ非ザレバ所期ノ目的ヲ達スルコト困難ナルヲ以テ、本省ニ於テハ大正八年度ヨリ新ニ獎勵金ヲ交付シテ各道府縣ニ専任技術員ヲ設置セシメ専ラ之等ニ關スル事務ヲ司ラシム。尙本省ハ道府縣ニ對シ前記ノ獎勵金ヲ交付スルノ外直接専任ノ職員ヲ設置シ道府縣ニ於ケル事業ノ監督及食糧農産物ノ改良増殖ニ關スル諸般ノ事務ヲ行ヒツ、アリ。

専任技術員設置ニ對スル獎勵金ノ交付

イ 事業創始以來ノ年度別獎勵金交付總額

大分	宮崎	鹿兒島	計
農事小組合、採種組合	産業實行組合、個人	郡農會	
209.5	100.0	4.6	1,553.3
2,095.0	1,000.0	4.1	3,883.6
		報効農事小組合	
		1,086.4	1,086.4
		1,556.7	1,556.7
		5,110.0	5,110.0
		216,455.5	216,455.5

道府縣ニ於テハ前記專任技術員ヲ設置スル爲毎年之ニ要スル豫算ヲ計上シテ事業ヲ施行ス、而シテ該技術員ハ其ノ管下ニ於ケル主要食糧農産物ノ改良増殖ニ關スル諸般ノ事務ヲ司リ各種機關ト連絡協調ヲ保チツ、事業ノ目的達成ニ努メツ、アリ。

(一) 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル道府縣ノ專任技術員設置豫算額

イ 事業創始以來ノ年度別事業豫算總額

年 度	事業豫算額	指 數	年 度	事業額算額	指 數
大正八年	四四、七〇五 ^円	一〇〇	昭和十四年	一五五、七五三 ^円	三四八
同 九 年	八一、二五〇	一八二	昭 和 元 年	一四九、九七一	三三五
同 十 年	一二六、六九三	二八三	同 二 年	一五九、三七四	三三七
同 十 一 年	一四五、七八七	三二六	同 三 年	一六四、七四七	三六九
同 十 二 年	一二八、二六〇	二八七	同 四 年	一七四、五三三	三九〇
同 十 三 年	一五二、〇八七	三四〇	同 五 年	一七一、八八六	三八四
			昭 和 六 年	一六六、〇五九 ^円	三九一
			同 七 年	一一六、五四〇	二六一
			同 八 年	一〇九、七二七	二四五

ロ 道府縣別事業豫算額 (最近五ヶ年)

道府縣	昭和四年同	五年同	六年同	七年同	八年
北海道	1,000 ^円	1,000 ^円	1,000 ^円	1,000 ^円	1,000 ^円
青 森	3,100 ^円	2,100 ^円	1,100 ^円	1,010 ^円	1,010 ^円
道 府 縣	昭 和 四 年 同	五 年 同	六 年 同	七 年 同	八 年

道府縣	昭和四年同	五年同	六年同	七年同	八年
岩 手	二、七五〇	二、六四〇	二、五七六	一、八二〇	一、八二〇
宮 城	三、〇〇〇	二、九〇〇	二、八五〇	二、六三〇	一、八〇〇
秋 田	五、二九〇	三、四五六	三、四四五	二、三三〇	二、〇〇〇
山 形	二、三六〇	二、四八八	二、八三三	二、九六四	一、八〇〇
福 島	四、八〇五	四、八八〇	四、六九七	三、五四四	二、五八〇
茨 城	五、〇一五	四、九九〇	四、八七二	二、五三二	二、五三二
栃 木	二、七六〇	二、七〇〇	二、六八〇	二、五五〇	二、五〇〇
群 馬	四、四八〇	三、三〇〇	三、四六五	二、三三四	二、九〇〇
埼玉	五、五九〇	五、五〇〇	四、九三三	三、七〇〇	三、三〇〇
千 葉	四、八七〇	四、六五〇	四、五〇〇	三、一九二	三、一九二
東 京	一、四四八	一、四〇三	一、三六二	九七二	九七二
神 奈 川	三、三六〇	三、三九〇	三、一四〇	二、三三三	二、三三三
新 潟	五、三六〇	五、四〇〇	五、〇〇〇	三、七〇〇	二、四〇〇
富 山	六、七〇〇	六、八〇〇	六、〇〇〇	四、九〇〇	二、七〇〇
石 川	三、九〇〇	四、五〇〇	四、〇〇〇	二、二七六	二、二四〇
福 井	四、三三〇	四、三六	四、二九	二、九〇	二、九〇
山 梨	二、一七〇	二、一三	二、〇六	一、〇〇〇	二、二八二
長 野	四、七七八	四、四七	四、五七	三、三〇	三、三〇
岐 阜	三、七〇〇	三、六〇〇	三、七五	二、七〇	二、四〇〇
靜 岡	二、一〇〇	二、三〇〇	二、三三	一、六五〇	一、七五〇
愛 知	四、三三〇	四、七五	四、三〇	三、四〇〇	三、四〇〇
三 重	一、五二〇	一、五二	一、四八	一、六四	一、六四
滋 賀	四、五五〇	三、六四〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇
京 都	三、〇六〇	三、〇六〇	三、〇六〇	二、九八〇	二、九八〇
大 阪	二、六四〇	二、六四〇	二、六四〇	二、六四〇	二、六四〇
兵 庫	二、五八〇	二、五八〇	二、五八〇	二、五八〇	二、五八〇
和 歌 山	四、七七	四、七七	四、七七	四、七七	四、七七
奈 良	二、四七	二、四七	二、四七	二、四七	二、四七
鳥 取	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇
島 根	三、八〇	三、八〇	三、八〇	三、八〇	三、八〇
鳥 島	二、七六	二、七六	二、七六	二、七六	二、七六
廣 島	三、九七	三、九七	三、九七	三、九七	三、九七
山 口	四、〇八	四、〇八	四、〇八	四、〇八	四、〇八
徳 島	三、三六	三、三六	三、三六	三、三六	三、三六
香 川	四、七〇	四、七〇	四、七〇	四、七〇	四、七〇
愛 媛	二、七五	二、七五	二、七五	二、七五	二、七五
高 知	四、四六	四、四六	四、四六	四、四六	四、四六
福 岡	五、三〇	五、三〇	五、三〇	五、三〇	五、三〇
佐 賀	四、〇七	四、〇七	四、〇七	四、〇七	四、〇七
長 崎	四、四四	四、四四	四、四四	四、四四	四、四四
熊 本	五、四〇	五、四〇	五、四〇	五、四〇	五、四〇
大 分	四、七〇	四、七〇	四、七〇	四、七〇	四、七〇
宮 崎	三、九一	三、九一	三、九一	三、九一	三、九一
鹿 兒 島	四、三〇	四、三〇	四、三〇	四、三〇	四、三〇
京 都	三、五二〇	三、五二〇	三、五二〇	三、五二〇	三、五二〇
滋 賀	三、六四〇	三、六四〇	三、六四〇	三、六四〇	三、六四〇
大 阪	二、六四〇	二、六四〇	二、六四〇	二、六四〇	二、六四〇
兵 庫	二、五八〇	二、五八〇	二、五八〇	二、五八〇	二、五八〇
和 歌 山	四、七七	四、七七	四、七七	四、七七	四、七七
奈 良	二、四七	二、四七	二、四七	二、四七	二、四七
鳥 取	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇
島 根	三、八〇	三、八〇	三、八〇	三、八〇	三、八〇
鳥 島	二、七六	二、七六	二、七六	二、七六	二、七六
廣 島	三、九七	三、九七	三、九七	三、九七	三、九七
山 口	四、〇八	四、〇八	四、〇八	四、〇八	四、〇八
徳 島	三、三六	三、三六	三、三六	三、三六	三、三六
香 川	四、七〇	四、七〇	四、七〇	四、七〇	四、七〇
愛 媛	二、七五	二、七五	二、七五	二、七五	二、七五
高 知	四、四六	四、四六	四、四六	四、四六	四、四六
福 岡	五、三〇	五、三〇	五、三〇	五、三〇	五、三〇
佐 賀	四、〇七	四、〇七	四、〇七	四、〇七	四、〇七
長 崎	四、四四	四、四四	四、四四	四、四四	四、四四
熊 本	五、四〇	五、四〇	五、四〇	五、四〇	五、四〇
大 分	四、七〇	四、七〇	四、七〇	四、七〇	四、七〇
宮 崎	三、九一	三、九一	三、九一	三、九一	三、九一
鹿 兒 島	四、三〇	四、三〇	四、三〇	四、三〇	四、三〇
京 都	三、五二〇	三、五二〇	三、五二〇	三、五二〇	三、五二〇
滋 賀	三、六四〇	三、六四〇	三、六四〇	三、六四〇	三、六四〇
大 阪	二、六四〇	二、六四〇	二、六四〇	二、六四〇	二、六四〇
兵 庫	二、五八〇	二、五八〇	二、五八〇	二、五八〇	二、五八〇
和 歌 山	四、七七	四、七七	四、七七	四、七七	四、七七
奈 良	二、四七	二、四七	二、四七	二、四七	二、四七
鳥 取	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇
島 根	三、八〇	三、八〇	三、八〇	三、八〇	三、八〇
鳥 島	二、七六	二、七六	二、七六	二、七六	二、七六
廣 島	三、九七	三、九七	三、九七	三、九七	三、九七
山 口	四、〇八	四、〇八	四、〇八	四、〇八	四、〇八
徳 島	三、三六	三、三六	三、三六	三、三六	三、三六
香 川	四、七〇	四、七〇	四、七〇	四、七〇	四、七〇
愛 媛	二、七五	二、七五	二、七五	二、七五	二、七五
高 知	四、四六	四、四六	四、四六	四、四六	四、四六
福 岡	五、三〇	五、三〇	五、三〇	五、三〇	五、三〇
佐 賀	四、〇七	四、〇七	四、〇七	四、〇七	四、〇七
長 崎	四、四四	四、四四	四、四四	四、四四	四、四四
熊 本	五、四〇	五、四〇	五、四〇	五、四〇	五、四〇
大 分	四、七〇	四、七〇	四、七〇	四、七〇	四、七〇
宮 崎	三、九一	三、九一	三、九一	三、九一	三、九一
鹿 兒 島	四、三〇	四、三〇	四、三〇	四、三〇	四、三〇
京 都	三、五二〇	三、五二〇	三、五二〇	三、五二〇	三、五二〇
滋 賀	三、六四〇	三、六四〇	三、六四〇	三、六四〇	三、六四〇
大 阪	二、六四〇	二、六四〇	二、六四〇	二、六四〇	二、六四〇
兵 庫	二、五八〇	二、五八〇	二、五八〇	二、五八〇	二、五八〇
和 歌 山	四、七七	四、七七	四、七七	四、七七	四、七七
奈 良	二、四七	二、四七	二、四七	二、四七	二、四七
鳥 取	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇
島 根	三、八〇	三、八〇	三、八〇	三、八〇	三、八〇
鳥 島	二、七六	二、七六	二、七六	二、七六	二、七六
廣 島	三、九七	三、九七	三、九七	三、九七	三、九七
山 口	四、〇八	四、〇八	四、〇八	四、〇八	四、〇八
徳 島	三、三六	三、三六	三、三六	三、三六	三、三六
香 川	四、七〇	四、七〇	四、七〇	四、七〇	四、七〇
愛 媛	二、七五	二、七五	二、七五	二、七五	二、七五
高 知	四、四六	四、四六	四、四六	四、四六	四、四六
福 岡	五、三〇	五、三〇	五、三〇	五、三〇	五、三〇
佐 賀	四、〇七	四、〇七	四、〇七	四、〇七	四、〇七
長 崎	四、四四	四、四四	四、四四	四、四四	四、四四
熊 本	五、四〇	五、四〇	五、四〇	五、四〇	五、四〇
大 分	四、七〇	四、七〇	四、七〇	四、七〇	四、七〇
宮 崎	三、九一	三、九一	三、九一	三、九一	三、九一
鹿 兒 島	四、三〇	四、三〇	四、三〇	四、三〇	四、三〇
京 都	三、五二〇	三、五二〇	三、五二〇	三、五二〇	三、五二〇
滋 賀	三、六四〇	三、六四〇	三、六四〇	三、六四〇	三、六四〇
大 阪	二、六四〇	二、六四〇	二、六四〇	二、六四〇	二、六四〇
兵 庫	二、五八〇	二、五八〇	二、五八〇	二、五八〇	二、五八〇
和 歌 山	四、七七	四、七七	四、七七	四、七七	四、七七
奈 良	二、四七	二、四七	二、四七	二、四七	二、四七
鳥 取	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇
島 根	三、八〇	三、八〇	三、八〇	三、八〇	三、八〇
鳥 島	二、七六	二、七六	二、七六	二、七六	二、七六
廣 島	三、九七	三、九七	三、九七	三、九七	三、九七
山 口	四、〇八	四、〇八	四、〇八	四、〇八	四、〇八
徳 島	三、三六	三、三六	三、三六	三、三六	三、三六
香 川	四、七〇	四、七〇	四、七〇	四、七〇	四、七〇
愛 媛	二、七五	二、七五	二、七五	二、七五	二、七五
高 知	四、四六	四、四六	四、四六	四、四六	四、四六
福 岡	五、三〇	五、三〇	五、三〇	五、三〇	五、三〇
佐 賀	四、〇七	四、〇七	四、〇七	四、〇七	四、〇七
長 崎	四、四四	四、四四	四、四四	四、四四	四、四四
熊 本	五、四〇	五、四〇	五、四〇	五、四〇	五、四〇
大 分	四、七〇	四、七〇	四、七〇	四、七〇	四、七〇
宮 崎	三、九一	三、九一	三、九一	三、九一	三、九一
鹿 兒 島	四、三〇	四、三〇	四、三〇	四、三〇	四、三〇
京 都	三、五二〇	三、五二〇	三、五二〇	三、五二〇	三、五二〇
滋 賀	三、六四〇	三、六四〇	三、六四〇	三、六四〇	三、六四〇
大 阪	二、六四〇	二、六四〇	二、六四〇	二、六四〇	二、六四〇
兵 庫	二、五八〇	二、五八〇	二、五八〇	二、五八〇	二、五八〇
和 歌 山	四、七七	四、七七	四、七七	四、七七	四、七七
奈 良	二、四七	二、四七	二、四七	二、四七	二、四七
鳥 取	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇
島 根	三、八〇	三、八〇	三、八〇	三、八〇	三、八〇
鳥 島	二、七六	二、七六	二、七六	二、七六	二、七六
廣 島	三、九七	三、九七	三、九七	三、九七	三、九七
山 口	四、〇八	四、〇八	四、〇八	四、〇八	四、〇八
徳 島	三、三六	三、三六	三、三六	三、三六	三、三六
香 川	四、七〇	四、七〇	四、七〇	四、七〇	四、七〇
愛 媛	二、七五	二、七五	二、七五	二、七五	二、七五
高 知	四、四六	四、四六	四、四六	四、四六	四、四六
福 岡	五、三〇	五、三〇	五、三〇	五、三〇	五、三〇
佐 賀	四、〇七	四、〇七	四、〇七	四、〇七	四、〇七
長 崎	四、四四	四、四四	四、四四	四、四四	四、四四
熊 本	五、四〇	五、四〇	五、四〇	五、四〇	五、四〇
大 分	四、七〇	四、七〇	四、七〇	四、七〇	四、七〇
宮 崎	三、九一	三、九一	三、九一	三、九一	三、九一

- 一 事業成績及收支決算
- 二 第三條第三號及第四號ノ規定ニ該當スル補助金ヲ交附シタル場合ニ於テハ其ノ交付ヲ受ケタル事業ニ關スル道府縣農會ノ事業成績及收支決算
- 第七條 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル道府縣ノ支出豫算額又ハ經費支出額カ第四條ノ添附書類ニ記載シタル豫算額ヨリ減少シタルトキ又ハ事業施行ノ方法不適當ト認メタルトキハ農林大臣ハ獎勵金ノ全部又ハ一部ノ還付ヲ命スルコトアルヘシ

附 則

- 第八條 本則ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
- 第九條 米麥品種改良獎勵規則ハ之ヲ廢止ス

二 主要食糧農産物改良増殖獎勵規則施行ニ關スル

件 (大正八年五月三日)

大正八年十月三十日農第一一七七〇號通牒改正
 大正九年三月十八日農第三五五四號通牒改正
 大正九年十二月二十日農第一五九九四號通牒改正
 大正十二年二月十日農第一三三六三號通牒改正
 大正十四年五月六日農第七三一號通牒改正
 昭和五年五月二十九日農第七一六四號通牒改正
 昭和六年四月一日農第五八八九號通牒改正
 昭和八年一月七日農第二三二七一號通牒改正

今般農商務省令第十三號ヲ以テ主要食糧農産物ノ改良増殖獎勵規則公布相成候處同規則第四條ニ依ル獎勵金ノ交付ハ別記ニ依リ取扱フコトト相成候條御了知置相成度依命此段及通牒候也

記

- 第一 規則第三條第一號ノ技術員ハ左記條件ニ該當スル者タルヲ要ス
 - 一 道府縣廳ニ在勤ノ地方農林技師及農林技手タルコト
 - 二 主要食糧農産物ノ改良増殖獎勵ニ關スル一般ノ事務ニ從事スル者タルコト
- 第二 規則第三條第二號及第三號ノ原種圃ハ左記條件ニ適合スルヲ要ス
 - 一 原種圃ニ用ウル品種ハ左記各號ノ一ニ該當スルコト
 - (一) 府縣立農事試驗場ニ於テ左記各號ノ一ニ該當スルモノヲ適當ト認ムル方法ニ依リ施行セル比較試驗ノ結果優良ト認メタルモノ但シ當分ノ内府縣立農事試驗場ニ於テ五箇年以上施行セル品種比較試驗ノ結果優良ト認メタルモノヲ用ウルコトヲ得尤モ從來ノ獎勵品種ニ比シ著シク優良ト認メタル品種ニ在リテハ三箇年以上ノ品種比較試驗成績ニ依ルモノヲ用ウルヲ妨ケス
 - (イ) 農林省農事試驗場ニ於テ育成シ優良ト認メ配付セルモノ
 - (ロ) 純系淘汰ニ依リ育成セルモノ
 - (ハ) 人工交配ニ依リ育成セルモノ
 - (二) 府縣立農事試驗場ニ於テ品種比較試驗ヲ施行スルコト五箇年未滿ナル場合(但シ當分ノ内ニ限ル)又ハ北海道若ハ府縣立農事試驗場ノ設置ナキ府縣ニ在リテハ農林大臣ニ於テ適當ト認

ムル機關又ハ團體ニ於テ(一)ニ規定セル方法ニ依リ優良ト認メタルモノ
 二 原種圃ノ作付面積ハ米原種圃ニ在リテハ五反歩以上、大麥、稗麥原種圃ニ在リテハ大麥、稗麥ヲ通シ二反歩以上タルコト

第三 削除

第四 獎勵金ハ左記標準ニ依リ之ヲ交付ス

- 一 規則第三條第一號ノ技術員ニ關シテハ二人ヲ限リ其ノ俸給費ノ三分ノ一以内トス但シ獎勵金ノ交付額ハ一人ノ場合ニハ六百圓ヲ、二人ノ場合ニハ九百圓ヲ限度トス
- 二 規則第三條第二號又ハ第三號ノ原種圃ニ關シテハ米原種圃ニ在リテハ俸給費(主トシテ米原種圃ノ經營ニ從事スル技術員一人分ニ限ル)及其ノ他ノ直接經營ニ要スル費用(旅費及賞與ハ之ヲ除ク)ノ三分ノ一以内、大麥、稗麥原種圃ニ在リテハ其ノ直接經營ニ要スル費用(俸給費、旅費及賞與ハ之ヲ除ク)ノ三分ノ一以内トス但シ獎勵金ノ交付額ハ米原種圃ノ場合ニハ五百圓ヲ、大麥、稗麥原種圃ノ場合ニハ三百圓ヲ限度トス
- 三 規則第三條第四號ノ採種圃ニ關スル技術員ニ對シテハ一人ヲ限リ其ノ俸給費ノ二分ノ一以内トス但シ獎勵金ノ交付額ハ七百圓ヲ限度トス
- 第五 獎勵金ハ左記ニ依リ計上シタル經費ニ對シ之ヲ交付ス
 - 一 規則第三條第一號及第四號ノ技術員ニ關スル經費ハ豫算中ニ各技術員ノ俸給費ヲ明示スルコト
 - 二 規則第三條第二號又ハ第三號ノ原種圃ニ關スル經費ハ府縣立農事試驗場又ハ道府縣若ハ其ノ機

關ニ於テ之ヲ經營スル場合ニハ其ノ豫算中ニ米原種圃、大麥、稗麥原種圃ノ經費ヲ各別ニ別記様式ニ準シ他ノ經費ト區別シテ計上スルコト

三 規則第三條中ノ道府縣農會ニ交付スル補助金ハ豫算中ニ指定スヘキ支途ヲ左記ニ準シ各別ニ明示スルコト

米原種圃經營費補助

大麥、稗麥原種圃經營費補助

主要食糧農產物採種圃及種子、種苗配付監督費補助

前項第二號及第三號ノ豫算中ニ獎勵金ノ交付ヲ受クヘキ經費ト共ニ他ノ經費ヲ計上シタル場合ニ於テハ獎勵金ノ交付ヲ受クヘキ經費ハ特ニ之ヲ明示スルコトヲ要ス

第六 規則第四條第三號ノ豫算ハ第五ニ準シ作製シタルモノナルコトヲ要ス

第七 第五第一項各號ノ豫算ニ計上シタル經費中獎勵金ノ交付ヲ受ケタル經費ハ之ヲ他ノ經費ニ流用スルコトヲ得ス

獎勵金ノ交付ヲ受クル補助金ノ補助條件中ニハ補助金ノ交付ヲ受ケタル經費ヲ他ノ經費ニ流用スルコトヲ得サル旨相當條件ヲ附スルコトヲ要ス

第八 獎勵金ハ産業試驗費講習費國庫補助法、農會法又ハ病蟲害豫防獎勵規則ニ依ル補助金ノ交付ヲ受クル經費ニ對シテハ之ヲ交付セス其ノ他同一事項ニ對シ國庫補助ノ重複ノ結果ヲ來スヘキトキ亦同シ

第九 規則第四條第一號及第三號ノ事業計畫ニハ左記事項ヲ記載スルヲ要ス但シ乙ノ事項ニ付テハ別ニ農務局長ヨリ通知スル様式ニ依リ記載スルヲ要ス

甲 規則第三條第一號ノ技術員ニ關スル事項

一 擔任セシムヘキ主ナル業務ノ種類

二 官職、氏名

乙 主要食糧農産物ノ原種圃及採種圃ニ關スル事項

一 事業經營ノ組織

二 品種改良研究ノ方法及主トシテ其ノ研究ニ従事スル技術員ノ官職、氏名

三 配付スヘキ品種名

四 原種圃經營方法、原種配付方法、原種配付見込數量及原種圃ノ經營ニ従事スル技術員ニシテ其ノ經費ニ對シ獎勵金ノ交付ヲ受クル者ノ官職、氏名

五 採種圃經營及種苗配付ノ方法、配付見込數量並採種圃ノ經營又ハ監督指導ニ従事スル技術員ニシテ其ノ經費ニ對シ獎勵金ノ交付ヲ受クル者ノ官職、氏名

六 事業監督ノ方法

七 種苗ノ配付、補助金ノ交付其ノ他事業ノ施行ニ關シ規定アル場合ニハ其ノ規定

八 其ノ他必要ナル事項

第十 規則第六條ノ事業成績ハ別ニ農務局長ヨリ通牒スル様式ニ依リ收支決算ハ豫算ノ様式ニ準シ記

載スルヲ要ス別記様式

載スルヲ要ス別記様式

原種圃ニ關スル經費ノ支出豫算

費目	本年度豫算額	前年度豫算額	比較増減		説明
			増	減	
米原種圃費					
(大麥、稗麥) 原種圃費					
俸給					
雜給					
備人料					
備品費					
消耗品費					
借地料					
雜費					
何々計					
合計					

備考

- 一 獎勵金ノ交付ヲ受クル技術員ノ俸給費ハ之ヲ他ノ技術員ノ分ト區別シテ明示スルヲ要ス
- 二 借地料ハ田畑ニ區別シテ其ノ面積ヲ明示スルヲ要ス

- 三 説明欄ニハ上欄ノ費目ニ對スル本年度豫算額ノ計算ノ基礎ヲ掲記スルモノトス
- 四 豫算ノ變更ヲ要スルトキハ「本年度豫算額」ノ欄ヲ「追加(更正)豫算額」トシ「前年度豫算額」ノ欄ヲ「既定豫算額」トシ「説明」ノ欄ニハ追加(更正)豫算額ノ計算ノ基ク所ヲ掲記シ別ニ説明書ヲ以テ對比増減ノ理由ノ要領ヲ説明スヘシ
- 五 決算ハ豫算ニ準シ「本年度豫算額」ノ欄ヲ「決算額」トシ「前年度豫算額」ノ欄ヲ「豫算額」トシ「説明」欄ニハ上欄ノ費目ニ對スル決算額ノ計算ノ基礎ヲ掲記スルモノトス
- 六 豫算ノ參考トシテ別ニ説明ヲ附シ本年度豫算額、前年度豫算額、對比増減ノ要領ヲ説明スヘシ
- 七 決算上剩餘金ノ處分ハ決算ニ之ヲ附記スルコトヲ要ス

三 主要食糧農産物改良増殖奨励事業計畫並ニ事業成績記載

様式ニ關スル件 (昭和八年一月十七日 農局第七九號農務局長通牒)

主要食糧農産物品種改良事業計畫並ニ主要食糧農産物改良増殖奨励事業成績記載方ニ關シテハ大正八年五月八日附農局第四九〇號及大正九年三月五日附農局第二七一號通牒ノ様式ヲ以テ御取扱相成居候處右ハ爾今左記様式ニ依リ御記載相成度此段及通牒候也

追而大麥、稗麥品種改良事業ニ關スル奨励金交付申請書及事業計畫、成績書並ニ經費豫算、決算書

等ハ之ヲ米品種改良事業及主要食糧農産物改良増殖奨励事務専任技術員設置事業ト分離シ提出相成度尙昭和五年十一月十三日附農局第三五二九號ノ通牒ハ之ヲ廢止相成候條申添候

記

主要食糧農産物ノ品種改良ニ關スル事業計畫記載様式

第一 品種改良事業ノ經營組織ニ關スル事項

品種改良事業ノ經營組織ノ大要ヲ摘記シ且總作付面積ノ何割ニ對シ何箇年更新ノ方法ニ依リ奨励品種ノ種子ヲ配給スル計畫ナリヤヲ記載ノコト

第二 品種改良研究ニ關スル事項

- (一) 研究ニ供用スル圃場ノ面積
- (二) 主トシテ研究ニ從事スル技術員ノ官職、氏名

第三 原種圃ニ關スル事項

- (一) 原種圃ノ所在地別田畑別作付面積
- (二) 原種圃ノ品種別作付面積及生産種子ノ品種別並ニ有償、無償別配付豫定數量
- (三) 種子ノ配付其ノ他事業ノ施行ニ關スル規程アル場合ニ於テハ其ノ規程
- (四) 原種圃ノ經營ニ從事スル技術員ニシテ其ノ俸給費ニ對シ奨励金ノ交付ヲ受クベキ者ノ官職、氏名

第四 採種圃ニ關スル事項

- (一) 採種圃ノ經營主體、作付面積及生産種子ノ配付豫定數量竝ニ其ノ種子ニ依ル農家ノ作付豫定面積
- (二) 採種圃ニ關スル事業ノ指導督勵ニ關シ道府縣又ハ道府縣農會ニ於テ施行セムトスル事項ノ概要
- (三) 採種圃ノ經營助成其ノ他事業ノ施行ニ關スル規程アル場合ニ於テハ其ノ規程
- (四) 採種圃ノ經營若ハ指導監督ニ從事スル技術員ニシテ其ノ俸給費ニ對シ獎勵金ノ交付ヲ受クベキ者ノ官職、氏名

注意

- (一) 第一乃至第四ノ事項ハ總テ播種年度ニ依リ水稻、陸稻、大麥及稈麥別ニ記載ノコト
- (二) 規則第三條第二號又ハ第三號若ハ第四號ノ費用ノ内其ノ一ニ付獎勵金ノ交付ヲ申請セムトスル場合ニ在リテモ規則第四條ノ事業計畫書ニハ第一乃至第四ノ各號ノ事項ヲ記載ノコト
- (三) 第四一ノ事項ニ付テハ採種圃ガ二階級以上ニ分ルル場合ニ於テハ第一次採種圃、第二次採種圃等ノ名稱ヲ附シ其ノ階級別ニ之ヲ記載ノコト
- (四) 第三三及第四三ノ規程ニ付テハ既ニ提出シタルモノニ變更ナキトキハ之ガ記載ヲ省略スルコトヲ妨グズ

主要食糧農産物改良増殖獎勵事業成績記載様式

第一 規則第三條第一號ノ技術員ニ關スル事項

擔當セル事務

第二 原種圃ニ關スル事項

原種圃ノ作付面積竝ニ種子ノ生産及配付數量

品 種 名	作 付 面 積	生 産 數 量	配 付 數 量	
			採 種 圃	其 ノ 他
合 計	反 畝 步	升	升	升

第三 採種圃ニ關スル事項

- (一) 採種圃經營成績ノ概要
- (二) 採種圃ノ經營主體別作付面積及生産種子配付數量

經 營 主 體	第 一 次 採 種 圃		第 二 次 採 種 圃	
	作 付 面 積	配 付 數 量	作 付 面 積	配 付 數 量
道府縣又ハ道府縣農會	反	石	反	石

郡 農 會	
市 又 ハ 市 農 會	
町 村 又 ハ 町 村 農 會	
農 事 實 行 組 合 又 ハ 之 準 準 農 事 實 行 組 合 又 ハ 之 準 準	
其 他	
合 計	

(三) 採種圃ニ關スル事業ノ指導監督ニ關シ道府縣又ハ道府縣農會ニ於テ施行セル事項ノ概要
注意

(一) 原種圃及採種圃ニ關スル事項ハ播種年度ニ依リ水稻、陸稻、大麥及稈麥別ニ記載ノコト
(二) 規則第三條第二號又ハ第三號若ハ第四號ノ費用ノ内其ノ一ニ付獎勵金ノ交付ヲ受ケタル場合ニ在リテモ規則第二條ノ事業成績ニハ第二及第三ノ各號ノ事項ヲ記載ノコト

四 農事關係獎勵金交付取扱方ニ關スル件 (昭和四年五月二十日 農局第一六二六號農務局長通牒)

左記ノ獎勵規則ニ依ル關係通牒ニ於テ技術員ノ設置費ニ對スル獎勵金交付條件中農林技手又ハ產業技手トアルモノハ本年度以降地方官官制第二條ニ依リ地方費ニテ設置シタル技手ニ對シテモ右同様ノ取扱ヲ以テ獎勵金交付可相成候條御了知相成度尤モ地方官官制第二條ニ依ル職員ハ國費支辨ノモノト混

同スル虞有之候ニ付獎勵金交付申請書ニハ地方費負擔ノ職員ナル旨ヲ必ズ明示相成度此段及通牒候也

記

- 一 病蟲害豫防獎勵規則
- 一 主要食糧農產物改良増殖獎勵規則
- 一 優良農具普及獎勵規則

五 指定試驗並ニ委託試驗施行ニ關スル件

(一) **水稻新品種育成試驗** (昭和二年四月六日 農第五二二六號農務局長照會) (北海道、宮城、新潟、埼玉、岐阜、兵庫、鳥根、高知、熊本各地方長官宛)

國民ノ主要食糧タル米穀ノ改良増殖ヲ圖ル爲ニ人工交配ニ依ル優良新品種ノ育成ニ關シ系統的組織ノ下ニ研究ノ步ヲ進ムルハ最重要且急務トスル所ニシテ本年度ニ於テ新ニ右ニ關スル豫算ノ計上ヲ見ルニ至リ候就テハ別記獎勵金交付條件ニ依リ昭和二年度ニ於テ貴縣(道)ニ對シ水稻新品種育成ニ關スル試驗施行方指定相成之ニ要スル經費全額交付可相成見込ニ有之候條御希望ニ候ハ、至急獎勵金交付申請書提出相成度此段及照會候也

追テ事業計畫上ノ都合モ有之候ニ付御希望ノ有無不取敢御回示相成度尙本試驗ハ本省ニ於テ必要ト認ムル限リ豫算ノ許ス範圍内ニ於テ次年度以降ニ於テモ相當年間繼續施行可相成見込ニ候

條御含置相成度尙御異議無之節ハ試驗事項等打合セノ必要有之候ニ付四月十二、十三ノ兩日貴縣(道)農事試驗場長又ハ同場種藝主任技師ヲ出省セシメラレ協議方可然御取計相成度候

記

- 一 本試驗ニ於テハ人工交配ニ依リ優良ナル新品種育成ニ關スル研究ヲ爲スヲ目的トスルコト
- 二 試驗事項試驗設計及收支豫算等ニ關シテハ前年度一月末日迄ニ本省ニ打合セノ上獎勵金交付申請書ヲ提出スルコト但シ昭和二年度ハ其ノ年五月末日迄トス
- 三 前項中打合セ後ニ於テ變更ヲ爲サムトスルモノアル場合ニハ豫メ本省ニ協議スルコト
- 四 專任職員ノ任免ニ關シテハ其ノ都度豫メ本省ニ協議スルコト
- 五 本試驗ニ要スル經費ハ左記ニ依リ貴縣農事試驗場豫算(北海道ハ貴道地方費)中ニ「稻新品種育成試驗費」ナル名稱ヲ附シ特ニ一目ヲ設ケテ計上シ其ノ經費ハ他ノ費目ニ流用セザルコト
- 六 經費決算、試驗研究ノ經過及成績ハ翌年度六月三十日迄ニ報告シ相當成績ヲ得タルトキハ豫メ本省ニ協議ノ上詳細ナル成績ノ報告ヲ爲スコト
- 七 道、縣ハ其ノ交付ヲ受ケタル獎勵金ノ全部ヲ當該年度内ニ支出スルコト能ハザルトキハ其ノ殘額ヲ當該年度後ニ於テ同一ノ目的ノ爲ニ支出スル義務アルモノトス
- 八 前號ノ場合ニ於テ經費ノ殘額ヲ當該年度後ニ繰越ヲ爲ス場合ニ於テハ翌年度四月十五日迄ニ届出ヅルコト此ノ場合ニ於テハ翌年度獎勵金ヲ減額交付スルコトアルベシ

九 左ニ掲グル場合ニハ獎勵金ノ交付ヲ廢止シ減少シ又ハ既ニ交付シタル獎勵金ノ還付ヲ命ズル

コトアルベキコト

- (一) 本獎勵金交付條件ニ違反シタルトキ
- (二) 本事業施行方法ヲ不適當ト認メタルトキ
- (三) 支出額ガ豫算額ニ達セザルトキ

(二) 陸稻地方的試驗

(昭和四年四月三十日)
農第五九四三號農務局長照會

(秋田、茨城、三重、鳥取、
鹿兒島各地方長官宛)

陸稻ノ改良増殖ヲ圖ルハ國民ノ糧食充實上竝農村ノ振興上極メテ緊要ノコトニ屬スルヲ以テ之ガ優良新品種ノ育成及栽培法ノ改良ニ關スル研究ヲ行フハ最モ急務トスル所ニ有之候處本年度ニ於テ右ニ關スル豫算ノ計上ヲ見ルニ至リ候ニ就テハ貴縣ニ於テ之ニ關スル試驗ヲ施行セラル、場合ハ左記條件ニ依リ昭和四年度ニ於テ之ニ要スル經費ノ全額(七月以降九ヶ月分)ヲ交付可相成見込ニ候條御希望ニ候ハ、獎勵金交付申請書提出相成度此段及照會候也

追テ事業計畫上ノ都合モ有之候ニ付御希望ノ有無不取敢御回示相成度尙本試驗ハ當省豫算ノ許ス範圍内ニ於テ次年度以降ニ於テモ相當年間繼續施行可相成見込ニ候條御含置相成度候尙御異議無之候ハ、試驗事項等打合セノ必要有之候ニ付五月二十四日、二十五日ノ兩日貴縣農事試驗

場長ヲ出省セシメラレ協議方可然御取計相成度候

記

- 一 本試験ハ陸稻優良品種ノ育成並栽培法ノ改良等ニ關スル研究ヲ爲スヲ目的トスルコト
- 二 奨勵金交付申請書ニハ豫メ當省ニ打合セノ上作製セル試験設計書及收支豫算書ヲ添附シ本年六月三十日迄ニ之ヲ提出スルコト但シ昭和五年度以降ニ於テハ其ノ前年度一月三十一日迄ニ提出スルコト
- 三 前項ノ打合セ後ニ於テ試験設計及收支豫算ノ變更ヲ爲サムトスルトキハ豫メ當省ノ承認ヲ得ルコト
- 四 本試験ニ從事スル専任職員ノ任免ニ關シテハ豫メ農務局長ニ協議スルコト
- 五 本試験ニ要スル經費ハ別記ニ依リ貴縣農事試驗場豫算中ニ特ニ「陸稻試驗費」ナル一目ヲ設ケテ之ヲ計上シ其ノ經費ハ他ノ費目ニ流用セザルコト
- 六 毎年度ノ經費決算、試験研究ノ經過及成績ハ翌年度六月三十日迄ニ之ヲ報告シ完了シタル試験ノ成績ニ付テハ豫メ當省ニ協議ノ上詳細ナル成績報告書ヲ作製提出スルコト
- 七 本試験ニ依リ優良ナル新品種ヲ育成シ得タルトキハ豫メ當省ニ協議ノ上之ガ種子ヲ配付スルコト
- 八 交付ヲ受ケタル奨勵金ノ全部ヲ當該年度内ニ支出スルコト能ハザルトキハ其ノ殘額ヲ當該年度後ニ於テ同一ノ目的ノ爲ニ支出スル義務アルモノトス

- 九 前項ノ場合ニ於テ經費ノ殘額ヲ當該年度後ニ繰越ヲ爲ス場合ニ於テハ翌年度四月十五日迄ニ之ヲ報告スルコト此ノ場合ニ於テハ繰越年度ノ奨勵金ヲ減額交付スルコトアルベキコト
 - 十 左ニ掲グル場合ニハ奨勵金ノ交付ヲ廢止シ減少シ若ハ既ニ交付シタル奨勵金ノ全部又ハ一部ノ還付ヲ命ズルコトアルベキコト
- (一) 本奨勵金交付條件ニ違反シタルトキ
 - (二) 本事業施行ノ方法不適當ト認メタルトキ
- (別記省略)

(三) 馬鈴薯甘藷改良増殖試験

(大正八年四月八日
農第四三七七號農務局長照會)

(岩手縣知事宛)

昭和八年四月二十五日農第三二五六號改正

(前文省略)

奨勵金交付條件

- 一 本試験ニ於テハ雜穀及馬鈴薯等ノ改良増殖上必要ナル事項ニ付試験研究ヲ行フヲ目的トスルコト
- 二 試験事項及試験設計ノ變更並専任技術員ノ任免ニ關シテハ豫メ農務局長ニ協議スルコト
- 三 本經費ハ之ヲ他ノ經費ニ流用スルコトヲ得ズ但シ本豫算内費目間ノ流用ハ之ヲ妨グズ

- 四 經費決算ハ翌年度六月三十日迄ニ之ヲ本省ニ報告スルコト
- 五 試験ノ経過及成績ハ翌年度六月三十日迄ニ其ノ概要ヲ本省ニ報告シ試験終了セル場合ハ累年ノ成績ヲ綜合シ結論ヲ附シテ詳細ニ報告スルコト
- 六 本經費ノ全部ヲ本年度内ニ支出スルコト能ハザルトキハ本省ノ承認ヲ受ケ事業ト共ニ其ノ殘額ヲ翌年度ニ繰越シ之ヲ支出スルコトヲ得
- 七 左ニ掲グル場合ニ於テハ獎勵金ノ全部又ハ一部ノ還付ヲ命ズルコトアルベキコト
 - (一) 本條件ニ違反シタルトキ
 - (二) 事業施行ノ方法不適當ト認メタルトキ
 - (三) 支出額ガ豫算額ニ比シ著シク減少シタルトキ

(四) 甘藷生産改良増殖委託試験

(大正十五年六月三日 農第六七四三號農務局長照會)

(沖繩縣知事宛)

昭和二年三月二十二日農局第四三五號改正

甘藷ハ本邦ニ於ケル重要農産物ニシテ之ガ改良増殖ヲ圖ルハ國民ノ糧食充實上並農村振興上頗ル緊要ニシテ今後一層之ガ試験研究及増殖ニ努ムルノ必要有之候就テハ貴縣ハ氣候ノ關係上本邦内地ニ於テ甘藷ノ新品種育成ヲ行フ上ニ於テ最適當ノ地ト相認メ候ニ付左記ニ依リ大正十五年度ニ於テ貴縣ニ對シ甘藷ノ品種改良ニ關スル試験ヲ委託可相成見込ニ付御都合至急御回示相成度此段

依命及照會候也

追テ本事業ハ本省ニ於テ必要ト認ムル限リ豫算ノ許ス範圍内ニ於テ次年度以後ニ於テモ相當年間繼續施行可相成見込ニ候條御含置相成度候尙御異存無之候ハ、試験事項等ノ打合モ有之候ニ付七月中旬頃ニ貴縣農事試験場長ヲ出省セシメラレ協議方可然御取計相成度候

記

- 一 本事業ハ甘藷ノ優良品種ヲ選出シ之ガ改良増殖ヲ圖ルヲ目的トスルコト
- 二 試験事項、試験設計及支出豫算等ニ關シテハ前年度一月三十一日迄ニ本省ニ打合セテ爲スコト
- 三 前項中協定後ニ於テ變更更ヲ爲サムトスルモノアル場合ニハ豫メ本省ニ協議スルコト
- 四 専任職員ノ任免ニ關シテハ其ノ都度豫メ本省ニ協議スルコト
- 五 本事業ニ要スル經費ハ別記豫算ノ範圍内ニ於テ貴縣農事試験場豫算中ニ「甘藷生産改良増殖委託事業費」ナル一目ヲ特設シテ之ヲ計上スルコト
- 六 本事業委託費豫算ハ補助金ト性質ヲ異ニスル關係上會計規則ニ依リ前金拂又ハ概算拂等ノ方法ニ依ルコトヲ得ズ隨テ事前ニ於テ國庫金ヲ縣費豫算ニ前渡スルコト能ハザルヲ以テ本事業委託費(國庫金)ノ支出方ハ當省ヨリ貴官ニ委託スルモノトス
- 七 貴官ハ次項ノ經費交付方法ニ依リ本事業ニ要シタル縣費豫算ノ支出濟金額ノ精算拂ヲ爲スモノトス
- 八 經費交付方法 縣ハ當該年度内ヲ適當ノ期間ニ分チ其ノ期間ニ於ケル支出濟金額ノ交付方ヲ

- 九 貴官ニ請求スルモノトス
- 事業施行上必要ト認メタルトキハ本豫算内費目間ノ流用ハ之ヲ妨グズ
- 十 當該年度ノ支出濟金額ニ對スル國庫金交付額調書ハ翌年度五月三十一日迄ニ之ヲ本省ニ提出スルコト但シ調書ニハ別記豫算ト對比シ費目別ニ明示スルモノトス
- 十一 試驗研究ノ經過及成績ハ其ノ翌年度六月三十日迄ニ大要ヲ報告シ相當成績ヲ得タルトキハ豫メ本省ニ協議ノ上詳細ナル成績ノ報告ヲ爲スコト

(別記省略)

(五) 甘藷新品種育成試驗

(昭和八年四月五日)
(農局第七八二號農務局長照會)

(千葉、石川、高知、
長崎各地方長官宛)

甘藷新品種ノ育成ヲ行ヒ之ガ改良増殖ヲ圖ルハ國民糧食ノ充實並農家經濟ノ進展上頗ル緊要ノコトニ屬スルヲ以テ本省ニ於テハ曩ニ沖繩縣ニ試驗ヲ委託シテ甘藷新品種ノ育成ヲ行フト共ニ其ノ育成種ヲ岩手、埼玉等ノ諸縣ニ配付シ優良新品種育成ニ關スル試驗ヲ施行致居候處該事業ノ重要性ニ鑑ミ更ニ之ガ規模ヲ擴充スルコト、相成候ニ就テハ昭和八年度ニ於テ別記條件及別紙經費豫算ニ依リ右ニ關スル試驗ヲ貴縣ニ委託可相成見込ニ候條御差支ノ有無至急御回示相成度此段及照會候也

追テ本試驗ハ當省豫算ノ許ス範圍内ニ於テ次年度以降ニ於テモ相當年間繼續施行可相成見込ニ

付御了知相成度申添候

記

- 一 本試驗ハ甘藷ノ新品種育成ニ關スル試驗ヲ爲スヲ目的トスルコト
- 二 本試驗ハ貴縣立農事試驗場ニ於テ之ヲ行フコト
- 三 本試驗ニ要スル經費ハ別紙豫算ニ依リ其ノ支出方ヲ貴官ニ委任スルモノトス
- 四 本經費ハ之ヲ他ノ經費ニ流用スルコトヲ得ズ但シ本豫算内費目間ノ流用ハ之ヲ妨グズ
- 五 試驗設計ニ關シテハ昭和八年四月二十日迄ニ本省ニ打合セヲ爲スコト但シ昭和九年度以降ハ前年度一月三十一日迄トス
- 六 前項打合セ後ニ於テ重要ナル變更ヲ爲サムトスルトキハ豫メ本省ニ協議スルコト
- 七 本試驗ノ經過及成績報告書並經費精算書ヲ翌年度五月三十一日迄ニ本省ニ提出シ且ツ委託打切又ハ試驗終了ノ場合ニ於テハ累年ノ成績ヲ綜合シ詳細ナル報告ヲ爲スコト
- 八 本試驗ニ於テ優良ナル品種ヲ選抜又ハ育成シ得タル場合ハ豫メ本省ト協議ノ上之ヲ配付スルコト

(別紙省略)

六 水稻及陸稻育成種配付ニ關スル件

(一) 水稻育成種配付ニ關スル件 (昭和三年九月二十八日) (農務局長通牒) (北海道、宮城、新潟、埼玉、岐阜、島根、兵庫、高知、熊本各地方長官宛)

昭和五年十月十日農務第三〇五九號改正

當省指定水稻新品種育成試験ニ於テ育成セル新品種ノ配付方ニ關シテハ昭和三年九月二十八日附農務第二八三九號ヲ以テ通牒致置候處試験事業ノ進捗ニ伴ヒ未固定系統ノ配付ヲ希望スル府縣益々多キヲ加ヘ候ニ就テハ此際之レガ配付ノ手續キヲ可成簡易ナラシメ以テ本事業ノ目的達成ニ資シ度ト存候條爾今左記ニ依リ御處理相成度此段及通牒候也

記

- 一 本事業ニ依リ育成セラレタル種子ヲ他道府縣ニ配付スル場合ニ於テハ固定優良新品種ヲ以テスルヲ原則トス
- 二 固定優良新品種ヲ配付セムトスルキハ別記様式ニ依ル參考表ヲ添附シ配付方ニ付豫メ農林省ニ申出ルコト右ハ新ニ配付セムトスル場合ニ限ラズ配付先ヲ擴張セムトスル場合モ亦同ジ
- 三 固定シタル優良新品種配付方ノ申出アリタル場合ニ於テハ農林省ハ其ノ特性成績及配付先等ヲ考査シ「農林 號」ナル名稱ヲ附シ之ヲ配付スルモノトス
- 四 他道府縣農事試験場長ヨリ貴縣(道)農事試験場長ニ對シ未固定系統ノ配付方希望アリタル場合ハ特ニ優良ナルモノニ限リ左ノ趣旨ニ依ル條件ヲ附シテ之ヲ配付スルコトヲ得

- (一) 配付未固定系統ハ育種材料トシテ配付スルニ非ズシテ單ニ地方的適否豫察ノ目的ヲ以テ配付スルモノナルヲ以テ配付ヲ受ケタル道府縣農事試験場ニ於テ其ノ試験ヲ繼續スル限り毎年ノ成績ヲ翌年三月末日迄ニ當該農事試験場長ヨリ貴縣(道)農事試験場長宛通知セシムルコト

- (二) 配付ノ系統ヲ繼續試験セムトスル場合ハ翌年度以降ニ於テモ毎年之ガ種子ヲ貴縣(道)農事試験場ヨリ受ケシムルコト

- 五 配付未固定系統ノ名稱ハ育成縣(道)農事試験場ニ於テ之ヲ定ムルモノトシ未固定系統生産力檢定試験ニ供用シツ、アルモノニ在リテハ「

」系統育成中ノモノニ在リテハ「

」系統トスルコト

- 六 貴縣(道)ニ於テ本事業ニ依ル育成新品種ヲ獎勵品種トシテ採用セムトスル場合ニ於テハ農林省ニ其ノ旨申出ルコト
- 此ノ場合ニ於テハ農林省ハ之ニ新ナル品種名ヲ附スルコトアルベキコト

(施行注意)

- 五 「

」號「及」

系

號「ハ各左ノ通記入ノコト
- | | | | | | |
|--------|---|---|--------|---|---|
| 宮城縣(ハ) | 東 | 北 | 新潟縣(ハ) | 北 | 陸 |
| 埼玉縣(ハ) | 關 | 東 | 岐阜縣(ハ) | 東 | 山 |

兵庫縣へハ 近畿
 高知縣へハ 南海
 北海道へハ 北海
 島根縣へハ 山陰
 熊本縣へハ 西海

育成新品種配付ニ關スル參考表(道縣名)

- 一 配付セムトスル新品種ノ系統名(既定品種名ヲ有スルモノハ之ヲ記載シ然ラザルモノハ試驗中ノ系統名ヲ記載ノコト)
- 二 來歴(交配年度、兩親名、其ノ他ノ來歴概要ヲ記載ノコト)
- 三 特性(重要特性並實用的適應性ニ付記載ノコト)
- 四 成績(標準種ト共ニ其ノ累年及平均反當收量ヲ記載ノコト)
- 五 配付シ得ベキ種子ノ數量
- 六 適當ト認ムル配付先並其ノ理由(配付セムトスル地方ニ於ケル試驗成績アル場合ハ之ガ概要ヲ附記スルコト)

備考

- 一 各品種毎ニ別紙ニ記載ノコト
- 二 固定優良新品種ノ配付先ハ希望ノ有無ニ關セズ專ラ新品種ノ特性等ヨリ考查シテ之ヲ決定スルコト

(二) 陸稻育成種配付ニ關スル農務局長通牒

(昭和五年十月十日)
 農務局長通牒第三〇五九號

(秋田、茨城、三重、鳥取、鹿兒島各地方長官宛)

從來貴縣ニ經費ノ全額ヲ交付シテ實施相煩居候陸稻地方的試驗ニ關シテハ何レモ順調ニ進捗シ廳テ優良新品種ノ育成ヲ見ルコト、存候處本試驗ニ依リ育成セル新品種ノ配付方ニ關シテハ左記ニ依リ御處理相成度此段及通牒候也

記

記及參考表ノ様式ハ總テ前記「水稻育成種配付ニ關スル通牒」ト同一ナリ、但シ施行注意ハ左ノ如シ

(施行注意)

- 五「 號」及「 系 號」へハ各左ノ通記入ノコト
- | | | | |
|--------|-----|-------|-----|
| 秋田縣へハ | 東 北 | 茨城縣へハ | 關 東 |
| 三重縣へハ | 東 海 | 鳥取縣へハ | 山 陰 |
| 鹿兒島縣へハ | 西 海 | | |

第七 道府縣ニ於ケル主要食糧農産物改良増殖奨励事業關係技術員ノ官職氏名

一 農林省指定試験事業擔任技術員

道	縣	技	師	技	手	道	縣	技	師	技	手
水稻新品種育成試験						陸稻地方的試験					
北海道	北海	吉野	至德	小池	彌平	秋田	齋藤	周吉	田中	黑崎	美稔
宮城	杉田	孝一	山崎	利七	鹿兒	白石	代吉	菅野	野崎	元正	興也
新玉	繁直	親淳	田中	清香	鳥取	川真	三五	中里	川元	行正	興也
岐阜	中森	榮一	佐々木	六太郎	早川	國次	中西	里運	長市	一興	興也
兵庫	三宅	瑞穂	海野	佐太郎	島取	川國	次	小西	長市	一興	興也
島根	山田	宗孝	麻生	知次	鹿兒	川國	次	小西	長市	一興	興也
熊本	福島	信知	麻生	知次	鹿兒	川國	次	小西	長市	一興	興也

二 主要食糧農産物改良増殖奨励事業關係技術員 (昭和九年三月現在)

道府縣	品種改良研究ニ從事スル技術員	米、大麥、稗麥原種團擔任技術員	米、大麥、稗麥採種團ノ指導監督技術員	主要食糧農産物改良増殖奨励事務專任技術員
北海道	内田 重義	星野 武	小澤藤三郎	蛇名鏡一郎
青森	山内政五郎	佐藤 健吉	泉 互	鈴木 誠一
岩手	中村 高彦	氣田 信	玉井睦五郎	鈴木 誠一
宮城	浦川 清雄	鈴木健四郎	鎌田 信夫	玉手 棄陸
秋田	平田 義祐	小林 正美	西村 耕作	安達 寛
山形	佐藤富十郎	田中 武司	藤田 秋助	三井惣治郎
福島	丁主 一	天辰 克巳	鈴木 重雄	古賀 信義
茨城	森本 勇	廣江誠太郎	戸島 寛	深作雄太郎
栃木	新井 恒民	佐々木甚英	菊池 理一	谷口 惠一
群馬	尾形 覺三	白石 力	相樂 平壽	折原左手又
埼玉	石川 博	松岡 隆一	高澤 五郎	近藤 三衛
千葉	赤堀 香苗	毛利 虎雄	山田 澤治	田中 實
東京	武田 元温	中島 榮	浅井 實	松本 直一
神奈川	高井 彌一	櫻井 生三	生越 正平	信太 昌訓
新潟	小島 晴二	川上 桂作	伊藤 清一	森永 利義
富山	的場 慎一	羽根 佐七	堀 五一	安藤 安孝
石川	同	高士與三郎	堀 五一	安藤 安孝
				東 章
				森 茂
				川村 幹雄
				櫻井 仁平
				齋藤友之助
				長澤 誠一
				武田謙次郎

附
錄

一 本省、北海道及府縣立農事試驗場等ノ所在地

(昭和九年三月現在)

本省	北海道	農事試驗場	園藝試驗場	茶業試驗場	農事試驗場	農事試驗場	農事試驗場	農事試驗場	農事試驗場	農事試驗場		
東京市瀧野川區西ヶ原町	埼玉縣北足立郡鴻巣町	秋田縣仙北郡花館村	岩手縣岩手郡中野村	兵庫縣飾磨郡安室村	福岡縣八女郡羽犬塚村	静岡縣庵原郡興津町	静岡縣榛原郡金谷町	札幌郡琴似村	札幌郡大野村	上川郡永山村	河西郡帶廣町	常呂郡野付牛町
明治二十六年四月八日創立	大正十三年十二月二十日創立	明治二十九年七月六日創立ノ陸羽支場ヲ 大正十三年十二月二十日奥羽試驗地ト改稱	昭和七年十一月一日創立	昭和七年十二月一日創立	同	大正十年四月十四日創立	大正八年四月一日創立	明治三十四年創立				

根室支場	標津郡標津村中標津
琴似園藝地試驗場	札幌郡琴似村琴似
早來火山灰地試驗地	勇拂郡安平村早來
美唄泥炭地試驗地	空知郡美唄町開發
高丘地試驗地	河西郡大正村
市來知桑園	空知郡三笠山村市來知
檜山農事試作場	檜山郡厚澤部村俄虫村
俱知安農事試作場	虻田郡俱知安町
釧路農事試作場	厚岸郡太田村
美深農事試作場	中川郡美深町
美瑛農事試作場	上川郡美瑛村
天鹽農事試作場	天鹽郡天鹽町
瀬棚農事試作場	瀬棚郡利別村今金
日高農事試作場	靜内郡靜内町靜内
稚内農事試作場	宗谷郡稚内町聲問村
青森	
農事試驗場	南津輕郡中郷村黒石
五戸分場	三戸郡五戸町上新井田
蔬菜試驗地	南津輕郡光田寺村堂野前

明治三十三年三月三十一日創立
 明治四十五年四月一日創立

華果試驗場	南津輕郡山形村牡丹平
華果害蟲研究所	北津輕郡板柳町
岩手	
農事試驗場	岩手郡本宮村向中野
膽江分場	江刺郡愛宕村高寺
輕米農場	九戸郡輕米町
宮城	
農事試驗場	名取郡岩沼町
分	志田郡古川町
齊藤報恩農業館	遠田郡小牛田町
秋田	
農事試驗場	南秋田郡旭川村泉
陸稻試驗地	北秋田郡大館町東合
山形	
農事試驗場	山形市三日町長谷川
最上分場	最上郡豐里村
庄内分場	東田川郡藤島町藤島
置賜分場	東置賜郡宮内町宮内
福島	

昭和六年三月創立
 明治三十四年四月一日創立
 大正八年四月一日創立
 明治三十六年四月一日創立、大正三年三月三十一日限廢止、大正四年四月一日再設
 大正十年四月一日創立
 明治二十四年四月一日創立
 明治二十九年九月二十九日創立
 大正九年四月八日創立
 同
 同

農事試驗場	郡山市	明治二十九年四月八日創立
會津分場	河沼郡坂下町	大正十年六月三日創立
石城分場	石城郡神谷村鹽	大正十二年四月二十四日創立
茨城農事試驗場	東茨城郡上大野村細谷	明治三十三年四月一日創立
石岡試驗地	新治郡石岡町石岡	
原種圃	結城郡石下町	
栃木農事試驗場	宇都宮市今泉町	明治二十八年四月創立
堀米原種圃	安蘇郡堀米町	
群馬農事試驗場	前橋市前代田	明治二十八年四月一日創立
埼玉農事試驗場	北足立郡上尾町	明治三十三年四月六日創立
玉井種藝部	大里郡玉井村久保島	
越ヶ谷園藝部	南埼玉郡越ヶ谷町	昭和五年四月一日創立
入間川園藝部	入間郡入間川町	昭和三年四月一日創立
茶葉研究所	入間郡豐岡町	
千葉		

農事試驗場	千葉郡都村邊田	明治四十一年十月一日創立
安房分場	安房郡那古町	昭和八年四月創立
東京農事試驗場	北多摩郡立川町臺	明治三十三年四月五日創立
園藝探種場	江戸川區鹿骨町	
神奈川農事試驗場	鎌倉郡大船町	明治二十九年四月一日創立
園藝部	中郡吾妻村二宮	
新潟農事試驗場	長岡市今朝白町	明治二十八年四月一日創立
佐渡分場	佐渡郡金澤村中興	大正十二年四月一日創立
園藝部	中蒲原郡新津町大字七日町字池田	
富山農事試驗場	上新川郡堀川町太郎丸	明治二十二年四月一日創立
石川農事試驗場	石川郡三馬村米泉	明治三十五年四月二十六日創立
宇ノ氣園藝試驗地	河北郡宇ノ氣村宇ノ氣	
河南特設試驗地	江沼郡河南村河南	
富來特設試驗地	羽咋郡富來町領家	

福井	大屋特設試験地 鳳至郡大屋村水守	大正九年四月一日創立
山梨	農事試験場 吉田郡圓山西村幾久	
山梨	農事試験場 中巨摩郡貢川村	大正三十四年四月一日創立
山梨	農事試験場 南都留郡瑞穂村下吉田組	明治三十三年四月一日創立、大正二年三月三十一日限廢止、大正四年四月一日再設
山梨	農事試験場 中巨摩郡貢川村龍王下河原組	
山梨	農事試験場 西山梨郡里垣村東光寺組宇内西山地	
長野	農事試験場 長野市中御所	明治三十年七月二十一日創立
長野	農事試験場 下伊那郡市田村下市田	大正十五年四月一日創立
長野	農事試験場 高冷地利用畑作試験地	
長野	農事試験場 稻熱病試験地	
長野	農事試験場 果樹試験地	
岐阜	農事試験場 本巢郡七郷村又丸	明治三十四年四月一日創立
岐阜	農事試験場 吉城郡古川町二六町	大正十一年六月十五日創立
岐阜	農事試験場 惠那郡中津町駒場	
岐阜	農事試験場 南濃郡南杭瀬村割田 (圃場) 安八郡南杭瀬村割田 (駐在) 大垣市安八郡農會	

名和昆蟲研究所

岐阜市司町

財團法人

静岡

静岡市曲金

明治三十四年三月創立

農事試験場

小笠原河城村倉澤

茶業部

濱名郡芳川村都盛

蔬菜部

小笠原西郷村下西郷

米麥原種圃

富士郡富士町横割

梨病害蟲研究所

田方郡内浦村重須

柑橘病害蟲研究所

田方郡内浦村重須

愛知

碧海郡安城町安城

農事試験場

西春日井郡清洲町清洲

三

北設楽郡稻橋村

農事試験場

河藏郡白子町江島

伊賀原種圃分場

阿山郡小田村小田

南勢原種圃分場

多氣郡相可町相可

滋賀

栗太郡治田村澁川

明治二十八年四月一日創立

京都
農事試驗場
丹後分場
山城園藝場
茶業研究所
大阪
農事試驗場
富民協會 泉北試驗農場
同 三島試驗地
兵庫
農事試驗場
但馬分場
園藝試驗地
酒造米試驗地
蔬菜採種場
奈良
農事試驗場
茶業分場
和歌山

京都市左京區下鴨半木町
竹野郡深田村黒部
綴喜郡田邊町與戸
久世郡宇治町
堺市耳原町
泉北郡高石町
三島郡高槻町
明石市北王子町
朝來郡和田山町玉置
武庫郡良元村小林
加東郡福田村澤部
揖保郡旭陽村津市場
高市郡畝傍町四條
奈良市法蓮町常陸山

明治三十三年三月三十日創立
大正十三年九月一日創立
大正十四年三月十五日創立
大正八年四月十七日創立
昭和二年創立
財團法人富民協會經營
昭和六年創立
明治二十七年五月十日創立
大正九年六月二十六日創立
明治二十八年四月十日創立

農事試驗場
園藝分場
紀南分場
鳥取
農事試驗場
西伯分場
陸稻試驗地
島根
農事試驗場
園藝部
岡山
農事試驗場
園藝部
美作試驗地
稻熱病防除應用試驗地
米麥原種圃
大原農業研究所
廣島
農事試驗場

和歌山市太田町太田
有田郡田殿村大谷
東牟婁郡下里町下里
鳥取市吉成
西伯郡住吉村旗ヶ崎
東伯郡赤碓町
鏡川郡鹽冶村下鹽冶
八東郡津田村笠森
岡山市北方
上道郡財田村土田
久米郡久米村領家
同 右
吉備郡高松町原古才
倉敷市倉敷
賀茂郡西條町

明治四十年十二月九日創立
大正十四年創立
昭和三年四月一日創立
明治三十五年四月一日創立、大正二年三月三十一日廢止、大正四年四月一日再設
大正十五年四月十四日創立
明治二十九年創立
明治三十四年四月十日創立
大正十五年創立
財團法人
明治三十三年二月十三日創立

大正十四年五月十八日創立

己斐分場	廣島市己斐町
大長柑橋分場	豐田郡大長村
南部原種圃	蘆品郡常金丸村
北部原種圃	高田郡甲立町
向島園藝場	御調郡向島西村
東部園藝場	福山市野上町
千年蘭草原苗圃	沼隈郡千年村
蘭草指導地	沼隈郡金江村
山口農事試驗場	吉敷郡大内村御堀
富海出張所	佐波郡富海村富海
安岡蔬菜園藝指導地	豐浦郡安岡町横野
大島果樹園藝指導地	大島郡久賀町遠見
德島農事試驗場	名東郡加茂名町東名東
香川農事試驗場	香川郡佛生山町百相
果樹試驗地	綾歌郡端岡村西川西
オリーブ試驗地	小豆郡西村水木

明治二十九年四月一日創立
 明治三十六年四月一日創立
 明治三十二年四月創立

愛媛農事試驗場	温泉郡道後湯ノ町道後
園藝試驗地	温泉郡桑原村畑寺
米麥採種場	越智郡清水村
南豫柑橋分場	東宇和郡玉津村法花津
高知農事試驗場	長岡郡長岡村東崎
園藝部	土佐郡朝倉村城山
高岡原種圃	高岡郡高岡町藁島
入野原種圃	幡多郡入野村風深
山間部農作試驗地	長岡郡天坪村
福岡農事試驗場	福岡市春吉
豐前分場	京都郡泉村崎野
筑後分場	八女郡羽犬塚町和泉
佐賀農事試驗場	佐賀市神野町
長崎試驗地	佐賀郡春日村尼寺

明治三十三年四月創立
 昭和九年二月二十一日創立
 明治三十三年四月一日創立
 明治十二年四月一日創立
 大正十二年四月一日創立
 昭和二年四月三十日創立
 明治三十三年四月一日創立

農事試驗場	北高來郡 諫早町 永昌名	明治三十一年四月一日創立
茶業指導所	東彼杵郡 彼杵村 藏本郷	昭和六年五月二十四日創立
園藝指導所	北松浦郡 相ノ浦町	明治四十四年四月一日創立
熊本農事試驗場	熊本市 出水町 國府	
合鹽地試驗地	八代郡 文政村 縣營北新地	
豐岡試驗地	菊地郡 合志村 豐岡	
米麥原種圃	飽託郡 清水村 高平	
阿蘇寒冷地試驗地	阿蘇郡 宮地町	
大分農事試驗場	大分市 南大分 荏隈	大正十三年四月一日創立
高冷地試驗地	直入郡 久住町	
宮崎農事試驗場	宮崎市 京塚町	明治三十二年六月六日創立
川南分場	兒湯郡 川南村 字勝司ヶ別府	
都城原種圃	都城市 一萬城町	
延岡原種圃	東臼杵郡 恒富村 出北	
鹿兒島農事試驗場	鹿兒島郡 中郡 宇村 中高田	明治三十三年四月一日創立

大正十三年四月一日創立
 明治十四年五月二日創立、明治四十五年三月三十一日限廢止、大正八年四月二日再設昭和六年六月二十二日縣立糖業試驗場ヲ合併

鹿ノ屋分場	肝屬郡 鹿屋町 中名出口
知覽分場	川邊郡 知覽村 下郡木佐貫原
垂水柑橋分場	肝屬郡 垂水町
熊毛分場	熊毛郡 西之表町 西之表
大島米麥原種場	大島郡 三方村
糖業講習所	大島郡 名瀬町 金久
沖繩農事試驗場	島尻郡 眞和志村 與儀
小祿試驗地	同 郡 小祿村 字安次嶺
普天間試驗地	中頭郡 宜野灣村 字普天間
西原試驗地	同 郡 西原村 字我謝
名護試驗地	國頭郡 名護町
宮古苗圃	宮古郡 平良町

八年度		同九年度		同十年度	
臨時費	計	經常費	臨時費	經常費	臨時費
一四、五九七	(三六、二八) 八五、三三	六〇、九二	一、〇四五	六〇、一九一	
	三五、六九	三、八三		三、八三	
	二四、九二四	二一、八七四		二一、八七四	
六、六七〇	七四、六九六	六四、五七		六四、四三	
	八〇、〇四〇	九、五八		九、五八	
四、四〇五	九一、一五	八三、四〇		八三、四〇	
一一、五五〇	七、八四九	六四、三三		六四、一三七	
一四、〇三三	一〇〇、七〇九	八八、〇四		九、七三	
二、七〇〇	二六、五〇九	二八、五三		二九、七三	
二、一三〇	一三、八七五	一四、三三		二四、四八七	
三〇五、九五七	三、四九、八六三	三、一七、三〇	三、三三、六九	三、四九、〇〇九	
六、五〇九	七四、〇三九	六七、六三	六、六三	七四、二五六	

二 北海道及府縣立農事試驗場經費豫算額

道府縣	昭和五年度		同六年度		同七年度		同八年度		同九年度	
	經常費	臨時費	經常費	臨時費	經常費	臨時費	經常費	臨時費	經常費	臨時費
北海道	六,五七四	二,三七一	六,五〇一	二,〇〇〇	六,五〇一	二,〇〇〇	六,五〇一	二,〇〇〇	六,五〇一	二,〇〇〇
青森	六,五〇五	—	六,三三五	—	六,三三五	—	六,三三五	—	六,三三五	—
岩手	五,七四五	六,六七三	五,九八八	二,五〇〇	五,〇三二	三,六八八	五,〇三二	三,六八八	五,〇三二	三,六八八
宮城	四,七〇七	一,三〇〇	四,七〇七	—	四,七〇七	—	四,七〇七	—	四,七〇七	—
秋田	四,七〇八	一,三〇〇	四,七〇八	—	四,七〇八	—	四,七〇八	—	四,七〇八	—
山形	六,四三〇	—	六,四三〇	—	六,四三〇	—	六,四三〇	—	六,四三〇	—
福島	七,〇五三	四,一〇〇	七,〇五三	—	七,〇五三	—	七,〇五三	—	七,〇五三	—
茨城	五,一八二	二,〇〇〇	五,一八二	—	五,一八二	—	五,一八二	—	五,一八二	—
栃木	五,七八八	二,四〇〇	五,七八八	—	五,七八八	—	五,七八八	—	五,七八八	—
群馬	五,五七七	—	五,五七七	—	五,五七七	—	五,五七七	—	五,五七七	—
埼玉	一〇,三二七	四,二五三	一〇,三二七	—	一〇,三二七	—	一〇,三二七	—	一〇,三二七	—
千葉	七,五八八	—	七,五八八	—	七,五八八	—	七,五八八	—	七,五八八	—
東京	五,八四二	—	五,八四二	—	五,八四二	—	五,八四二	—	五,八四二	—
神奈川	七,九八五	—	七,九八五	—	七,九八五	—	七,九八五	—	七,九八五	—
新潟	九,八六二	—	九,八六二	—	九,八六二	—	九,八六二	—	九,八六二	—
富山	五,〇一五	—	五,〇一五	—	五,〇一五	—	五,〇一五	—	五,〇一五	—
石川	四,四二五	—	四,四二五	—	四,四二五	—	四,四二五	—	四,四二五	—
福井	四,三三〇	—	四,三三〇	—	四,三三〇	—	四,三三〇	—	四,三三〇	—
山梨	三,三三〇	—	三,三三〇	—	三,三三〇	—	三,三三〇	—	三,三三〇	—
長野	六,三七七	—	六,三七七	—	六,三七七	—	六,三七七	—	六,三七七	—
岐阜	六,四七九	—	六,四七九	—	六,四七九	—	六,四七九	—	六,四七九	—
靜岡	一〇,五三六	—	一〇,五三六	—	一〇,五三六	—	一〇,五三六	—	一〇,五三六	—
愛知	七,三六四	—	七,三六四	—	七,三六四	—	七,三六四	—	七,三六四	—
三重	八,七五三	—	八,七五三	—	八,七五三	—	八,七五三	—	八,七五三	—
滋賀	七,〇六〇	—	七,〇六〇	—	七,〇六〇	—	七,〇六〇	—	七,〇六〇	—
京都	五,八四五	—	五,八四五	—	五,八四五	—	五,八四五	—	五,八四五	—
大阪	四,七四七	—	四,七四七	—	四,七四七	—	四,七四七	—	四,七四七	—
兵庫	一五,七四七	—	一五,七四七	—	一五,七四七	—	一五,七四七	—	一五,七四七	—
奈良	四,一四七	—	四,一四七	—	四,一四七	—	四,一四七	—	四,一四七	—
和歌山	四,〇〇四	—	四,〇〇四	—	四,〇〇四	—	四,〇〇四	—	四,〇〇四	—
鳥取	四,九三三	—	四,九三三	—	四,九三三	—	四,九三三	—	四,九三三	—
島根	四,〇七	—	四,〇七	—	四,〇七	—	四,〇七	—	四,〇七	—
岡山	八,一七五	—	八,一七五	—	八,一七五	—	八,一七五	—	八,一七五	—
広島	七,八五五	—	七,八五五	—	七,八五五	—	七,八五五	—	七,八五五	—
山口	六,一四六	—	六,一四六	—	六,一四六	—	六,一四六	—	六,一四六	—
徳島	三,七六四	—	三,七六四	—	三,七六四	—	三,七六四	—	三,七六四	—
香川	五,一五	—	五,一五	—	五,一五	—	五,一五	—	五,一五	—
愛媛	五,七七七	—	五,七七七	—	五,七七七	—	五,七七七	—	五,七七七	—
高知	六,〇九五	—	六,〇九五	—	六,〇九五	—	六,〇九五	—	六,〇九五	—
福岡	一五,四三三	—	一五,四三三	—	一五,四三三	—	一五,四三三	—	一五,四三三	—
佐賀	四,九三三	—	四,九三三	—	四,九三三	—	四,九三三	—	四,九三三	—
長崎	八,〇三〇	—	八,〇三〇	—	八,〇三〇	—	八,〇三〇	—	八,〇三〇	—
熊本	七,九〇三	—	七,九〇三	—	七,九〇三	—	七,九〇三	—	七,九〇三	—
大分	六,三〇〇	—	六,三〇〇	—	六,三〇〇	—	六,三〇〇	—	六,三〇〇	—
宮崎	七,五七九	—	七,五七九	—	七,五七九	—	七,五七九	—	七,五七九	—
鹿兒島	一〇,八六八	—	一〇,八六八	—	一〇,八六八	—	一〇,八六八	—	一〇,八六八	—
沖縄	三,五八五	—	三,五八五	—	三,五八五	—	三,五八五	—	三,五八五	—
平均	三,五八五	—	三,五八五	—	三,五八五	—	三,五八五	—	三,五八五	—
平計	六,七〇三	—	六,七〇三	—	六,七〇三	—	六,七〇三	—	六,七〇三	—

備考 一、本表ハ各地方廳ノ報告ニ依ル
二、北海道ノ經費ハ經常臨時共ニ地方費ニシテ括弧内ノ数字ハ別途國費支辨ノ經費豫算額ナリ

第四五	噴霧器=關スル試験成績	昭和七年 三 月
第四六	紫雲英ノ菌核病ト其ノ防除	同 七 月
第四七	稻熱病=關スル研究 (第二報)	同 十 月
第四八	小麥其他麥類ノ菌核病(雪腐)ト其ノ防除	同
第四九	小麥ノ増殖獎勵=ツイテ	同
第五〇	農産課關係法規	同
第五一	小麥ノ銹病ト其ノ防除	昭和八年 一 月
第五二	螟蟲=關スル研究	同 三 月
第五三	苧麻ノ増殖獎勵=就イテ	同 一 月
第五四	茶樹耕種梗概	同 三 月
第五五	昭和六年輸移出入植物検査統計 (第八號) 附輸移出入植物病菌害蟲調査研究事業概要	同
第五六	主要食糧農産物改良増殖獎勵事業要覽	同
第五七	動力精米機比較審査成績	同
第五八	世界ニ於ケル小麥事情	同
第五九	穀物検査事業要覽 (第九號)	同
第六〇	園藝要覽	同
第六一	小麥要覽	同
第六二	農産物検査概要	同
第六三	穀物要覽	同
第六四	稻熱病ノ防除=關スル試験研究成績 (第三報)	同
第六五	工藝農産物要覽	同
第六六	稻熱病ノ防除=關スル試験研究成績 (第四報)	同 六 月
第六七	貯藏小麥ノ主ナル害蟲ト其ノ防除法	同 七 月
第六八	一、日本産介殼蟲科デアスピ亞科=關スル研究 二、日本産介殼蟲科デアスピ亞科屬検索表 三、日本産介殼蟲科デアスピ亞科=屬スル種ノ索引	同 八 月
第六九	蔬菜及果樹ノ品種改良=關スル調査	同 十 月
第七〇	最近ニ於ケル歐羅巴諸國ノ穀物貿易制限策	同 十二月
第七一	優良農用器具機械=關スル調査	昭和九年 二 月
第七二	農産物検査概要	同 三 月
第七三	農産物検査事業要覽 (第十號)	同
第七四	小麥増殖獎勵協議會要錄	同
第七五	昭和七年輸移出入植物検査統計 附輸移出入植物病菌害蟲調査研究事業概要	同
第七六	穀物要覽	同
第七七	柑橘選果機=關スル試験成績	同
第七八	植物検査官會議要錄 (昭和八年十一月開催)	同
第七九	螟蟲ノ防除=關スル試験研究成績 (第一報)	同
第八〇	園藝農産物改良獎勵=關スル協議會要錄	同
第八一	園藝=關スル研究報告	同
第八二	昭和七年度自給肥料改良増産獎勵事業成績概要	同
第八三	穀物火力乾燥装置ノ概要	同
第八四	小麥栽培過程別時期=關スル調査	同
第八五	小麥栽培ニ於ケル慣行施肥量及施肥期=關スル調査	同
第八六	動力製粉機比較審査成績	同
第八七	小麥増産=關スル試験成績ノ概要	同
第八八	農業用器具機械並共同作業場普及狀況調査	同
第八九	主要食糧農産物改良増殖獎勵事業要覽	同

農事改良資料目錄

番 號	書 名	刊 行 年 月
第 一	優良農用器具機械=關スル調査	昭和四年 四 月
第 二	種藝=關スル協議會要錄	同 六 月
第 三	穀物検査事業要覽 (第六號)	同 八 月
第 四	穀物火力乾燥装置ノ概要	同 十 月
第 五	道府縣農事試験場=於ケル陸稻=關スル試験成績概要	同 十二 月
第 六	主要食糧農産物改良増殖獎勵事業要覽	昭和五年 三 月
第 七	昭和二年度農具共同利用=關スル調査	同
第 八	肥料要覽	同
第 九	病菌害蟲驅除豫防協議會要錄 (昭和四年四月開催)	同
第一〇	昭和三年輸移出入植物検査統計	同
第一一	麥其他穀物要覽	同
第一二	本邦内地=於ケル麥酒用大麥及麥酒=關スル調査	同
第一三	豆類要覽	同
第一四	桃葉蜂=關スル研究	同
第一五	動力糶摺選別機比較審査成績	同
第一六	工藝農産物要覽	同
第一七	水稻栽培過程別時期=關スル調査	同
第一八	農産主任技術官會議要錄	同 十 月
第一九	穀物検査事業要覽 (第七號)	昭和六年 三 月
第二〇	稻熱病ノ防除=關スル試験研究成績	同
第二一	茶業要覽	同
第二二	農業用小型發動機審査成績	同
第二三	昭和四年輸移出入植物検査統計 第六號 附輸移出入植物病菌害蟲調査研究事業概要	同
第二四	優良農用器具機械=關スル調査	同
第二五	主要食糧農産物改良増殖獎勵事業要覽	同
第二六	道府縣=於ケル農産物改良増殖獎勵事業調	同
第二七	道府縣=於ケル小麥=關スル試験成績概要	同
第二八	園藝要覽	同
第二九	Japanese Coccidae : I. The Genus Phenacaspis II. The Genus Kermes in Japan	同
第三〇	稻熱病=關スル研究	同
第三一	水稻栽培=於ケル慣行施肥量及施肥期=關スル調査	同 四 月
第三二	稻熱病防除ノ方法トシテ種糶ノ消毒及藁處分	同 五 月
第三三	植物検査官會議要錄	同 十二 月
第三四	豆類要覽	昭和七年 三 月
第三五	麥其他穀物要覽	同 二 月
第三六	穀物検査事業要覽 (第八號)	同 三 月
第三七	道府縣農事試験場=於ケル大豆=關スル試験成績概要	同
第三八	主要食糧農産物改良増殖獎勵事業要覽	同
第三九	農業用器具機械並共同作業場普及調査	同
第四〇	昭和五年輸移出入植物検査統計 (第七號) 附輸移出入植物病菌害蟲調査研究事業概要	同
第四一	優良農用器具機械=關スル調査	同
第四二	蜜柑刺粉蝨ノ天敵「シルベストリ」小蜂=關スル研究 (第一報)	同
第四三	稻熱病ノ防除=關スル試験研究成績 (第二報)	同
第四四	綠肥作物栽培分布圖	同

14.2
717

昭和九年三月廿七日印刷
昭和九年三月三十日發行

農林省農務局

東京市京橋區入舟町二丁目九番地ノ二
印刷人 小 藥 政 吉
東京市京橋區入舟町二丁目九番地ノ二
印刷所 小 藥 印 刷 所
電話京橋五六七六番

終

